

【SX2 遺物包含層】

(1) 堆積状況と分布範囲 (図版 4-120 ~ 4-121)

丘陵北東部の北斜面、11-3 区に位置し、南南東から北北西に向かって下る浅い谷地形に形成された幅 23.5m、奥行き 18.5m の遺物包含層である。包含層は大きく 1 ~ 3 層に分けられるが、最下層の 3b 層は包含層形成以前の旧表土 (III 層対応) と考えられる。1 ~ 2 層の厚さはもっとも厚いところで約 80cm である。

[1 層]

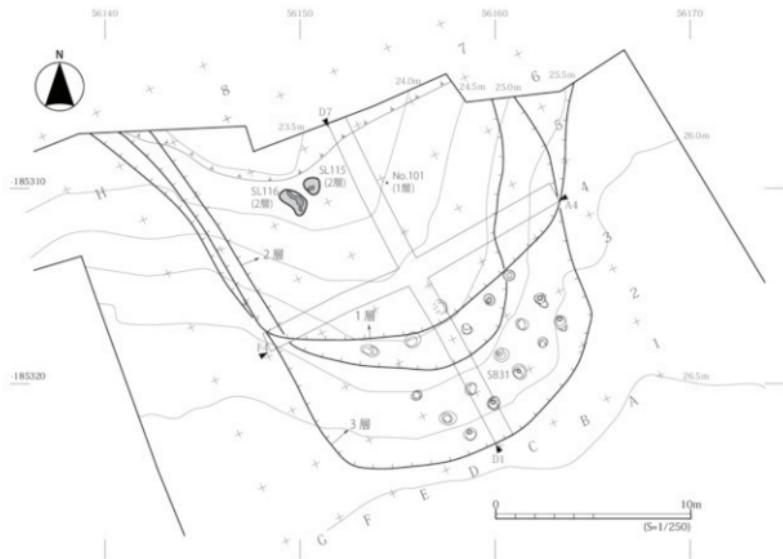
斜面中央から下方にかけて $21 \times 15\text{m}$ の範囲に最大 50cm の厚さで分布する。褐色ないしにぶい黄褐色土で、炭化物、焼土粒をわずかに含む。

[2 層]

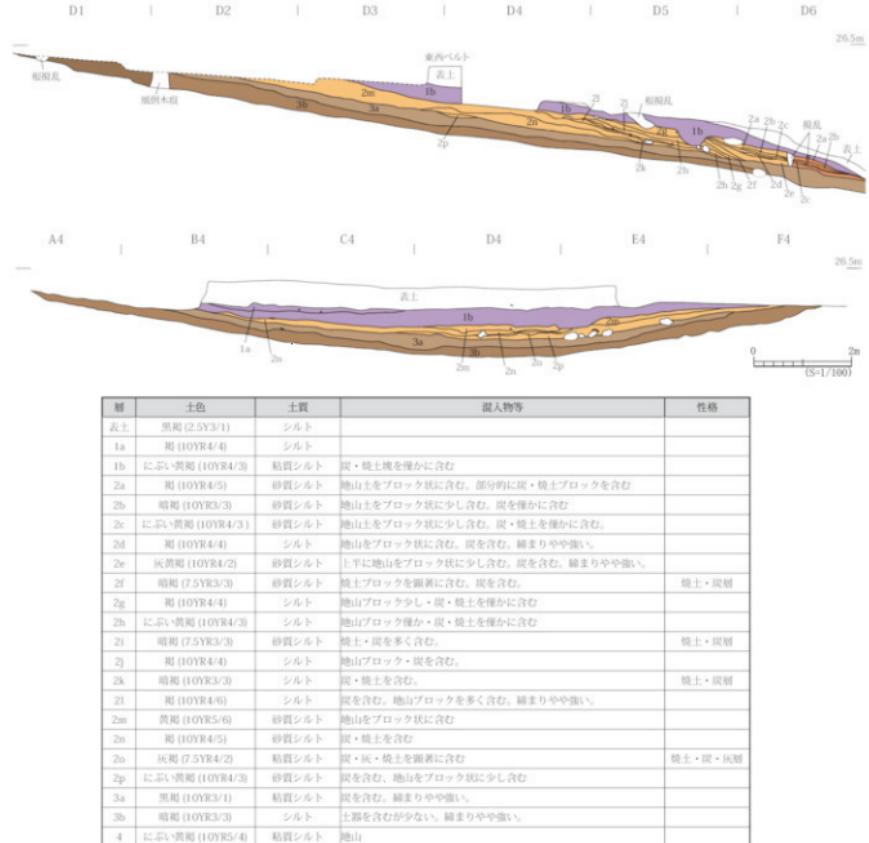
斜面中央から下方にかけて $16 \times 17\text{m}$ の範囲に最大 40cm の厚さで分布する。地山ブロックを含む褐色土層や焼土や炭を含む暗褐色土層などが互層をなす層群で、16 層に細分される。暗褐色土層の 2b 層・21 層には、C4・D4 ~ 6・E5 において炭・焼土の密度が極めて高い箇所が認められる。2c 層上面では SL115・116 烧跡が検出されている。2 層最下部 /3a 層上面からは縄文土器がまとまって出土する状況が見られた。

[3 層]

包含層基底となる層で、包含層範囲全体に最大 50cm の厚さで分布する。上部の 3a 層は黒褐色土で炭化物や遺物を含む。3b 層は暗褐色土で遺物をほとんど含まない。



図版 4-120 SX2 遺物包含層平面図



図版 4-121 SX2 遺物包含層断面図

(2) SX2 出土土器

〔表土・検出〕(図版 4-122、図版 4-136、写真図版 97)

検討対象土器は 110 点で、2 点を掲載した。図版 4-122-1 は、横位刺突列と附加条を伴う斜行縄文が施される。

[1 層] (図版 4-122 ~ 4-123、図版 4-136、写真図版 97 ~ 98)

検討対象土器は 322 点で、13 点を掲載した。

図版 4-122-2 は加飾のない粘土紐貼付文、図版 4-122-3 は押圧の加えられた貼付文、短沈線、刺突列、図版 4-122-4 は刻目の加えられた貼付文が施されている。

図版 4-122-5、6、4-123-1、3 は末端ループ文、図版 4-123-2、4～6 は非結束羽状縄文が施され、さらに図版 4-123-1 には横位沈線文、図版 4-123-2 には横位撫糸圧痕文が加えられる。

[2 層] (図版 4-124～4-132、図版 4-137～図版 4-139、写真図版 98～105)

検討対象土器は 1129 点で、46 点を掲載した。

器種は深鉢を主体とし、少量の鉢 (図版 4-132-1、4-128-3)、浅鉢 (図版 4-132-2) を伴う。

深鉢の器形は、体部から口縁部にかけて直立気味に立ち上がるもの (図版 4-124-3)、体部が緩やかに開きながら立ち上がり、くびれて口縁部が外反するもの (図版 4-126-2 等)、体部が膨らみ、くびれて口縁部が外反するもの (図版 4-127-1 等)、体部から口縁部にかけて緩やかに内彎しながら立ち上がるもの (図版 4-130-1)、体部が緩やかに開きながら立ち上がり、口縁部が内彎するもの (図版 4-125-1)、体部が緩やかに開きながら立ち上がり、くびれて口縁部が内彎して開くもの (図版 4-125-2 等) などが見られる。鉢は、体部から口縁部にかけて外傾するもの (図版 4-132-1)、底部から体部が直立し、強くくびれて口縁部が内彎するもの (図版 4-128-3) がある。浅鉢は体部から口縁部が外反する (図版 4-132-2)。口縁部形態は平縁と波状口縁があり、小さな突起を伴うものも少なくない。底部形態は、平底 (図版 4-127-1 等)、上底 (図版 4-130-1 等) がある。

文様は、沈線文、刺突文が見られるが、その数は少なく、回転沈文の縄文のみの土器が多い。

縄文は、斜行縄文 (図版 4-131-2 等)、非結束羽状縄文 (図版 4-124-7 等)、末端ループ文 (図版 4-127-3 等) が主で、他に結束第 1 種羽状縄文 (図版 4-127-4 等)、側面ループ文 (図版 4-138-1) 等がある。末端ループ文は、ループの部分だけを重層施文するものがほとんどである。縄文は底面にも施文される (図版 4-130-1 等)。

縄文以外の文様は、横位沈線文 (図版 4-124-3、4)、円形竹管の刺突文 (図版 4-124-8 等)、刺突列がめぐるもの (図版 4-124-7、9 等) 等がある。

これらの全ての土器の胎土に纖維が含まれる。

上記と異なる特徴を持つ土器として、図版 4-124-1 は、口縁部が無文で、口唇部に粘土紐が貼付される。図版 4-124-2 は、横位刺突列と盲孔が見られる。図版 4-132-3 は、刻目と刺突列が施される。

[3 層] (図版 4-132～図版 4-135、図版 4-139～4-140、写真図版 105～107)

検討対象土器は 889 点で、41 点を掲載した。

器種はほとんど深鉢であるが、鉢が 1 点出土している (図版 4-135-2)。

深鉢の器形は、体部から口縁部にかけて直立気味に立ち上がるもの (図版 4-133-4 等)、直線的に外傾するもの (図版 4-133-1 等)、体部が開き、口縁部が内彎するもの (図版 4-133-2 等) 等が見られる。鉢は、体部から口縁部にかけて直線的に外傾する (図版 4-135-2)。口縁部形態は平縁が多いが、波状口縁 (図版 4-134-1 等) もある。底部形態は平底と見られるもの (図版 4-135-2)、丸底 (図版 4-135-4) が出土している。

文様は、撫糸圧痕文、刻目、刺突、貼付文等が見られる。撫糸圧痕の文様は、口縁部から体部上半にかけて渦巻状、蔽手状、横線、斜線等の撫糸圧痕を組み合わせ、間に刻目を加える構成を取るもの (図版 4-133-1 等) が最も多い。横線と刻目のみの比較的簡素なもの (図版 4-133-6 等) もある。他

に撚糸圧痕に横位貼付文が伴うもの（図版 4-134-3）がある。

外面はほぼ縄文のみで、外縁部や口唇部に刻目や刺突が施されるもの（図版 4-134-6、7 等）が見られる。口縁下に横位貼付文がめぐるもの（図版 4-134-4）もある。回転施文の縄文だけの土器（図版 4-134-9 等）があり、掲載資料は多くないが、実際の出土量は最も多い。

縄文は、斜行縄文、非結束羽状縄文が多く、他に撚糸文（図版 4-135-3）等が見られる。底面にも縄文が施される（図版 4-135-4 等）。

〔その他〕（図版 4-135、写真図版 108）

上記以外に、SX2 出土で出土層を詳細に捉えられない土器を補足資料として 3 点掲載した。カクラン、層不明の土器がある。

（3） SX2 出土土製品（図版 4-141、写真図版 108）

土製品と見られる 2 点すべてを掲載した。図版 4-141-1、2 は、いずれも円盤状土製品である。また、図版 4-141-3 は焼土塊（焼成粘土塊）である。中沢遺跡調査区全域からまとまった量が出土しているが、当包含層からの出土量が最も多く、遺物収納箱で 4 箱分の出土量がある。

（4） SX2 出土石器・石製品

SX2 では、石器・石製品が 1243 点出土している。器種別の点数は、石鏃 67 点、尖頭器 11 点、石錐 4 点、石匙 23 点、鎧状石器 5 点、打製石斧 6 点、礫器 2 点、磨製石斧 1 点、板状石器 1 点、楔形石器 10 点、不定形石器 55 点、磨石・敲石類 294 点、砥石 1 点、石皿・台石類 35 点、その他の礫石器 1 点、剥片 668 点、石核 46 点、円盤状石製品 1 点、石錘 4 点、男根状石製品 1 点、石棒・石剣類 3 点、線刻礫 2 点、その他の石製品 2 点である。

〔表土・検出〕

表土・検出からは 50 点出土し、不定形石器 2 点、磨石・敲石類 27 点、石皿・台石類 1 点、剥片 14 点、石核 4 点、男根状石製品 1 点、石棒・石剣類 1 点である。

〔1 層〕（図版 4-142、写真図版 177）

1 層からは 302 点出土し、石鏃 19 点、尖頭器 2 点、石錐 1 点、石匙 3 点、鎧状石器 2 点、打製石斧 1 点、楔形石器 3 点、不定形石器 16 点、磨石・敲石類 37 点、石皿・台石類 11 点、その他の礫石器 1 点、剥片 196 点、石核 9 点、石錘 1 点である。

石鏃は、基部の形態が凹基で抉りが浅いもの（図版 4-142-1、図版 4-142-2）が主体的にみられる。図版 4-142-3 の石匙は、つまみ部に対して先端部が緩型のものである。鎧状石器は左右対称で刃部がやや開くもの（図版 4-142-4）と楕円形の平面形状を呈するものがみられる。磨石・敲石類は円礫・楕円礫を素材とし、磨面や敲打痕、凹痕、剥落痕を持つもの（図版 4-142-5）が主体を占めている。図版 4-142-6 の石錘は、両縁辺の対になるか所に主に剥離が施されている。

[2層] (図版4-142～4-145、写真図版177～178)

2層からは512点出土し、石鎌28点、尖頭器7点、石錐2点、石匙14点、籠状石器2点、打製石斧1点、礫器1点、楔形石器2点、不定形石器18点、磨石・敲石類152点、砥石1点、石皿・台石類12点、剥片257点、石核11点、石錐2点、線刻礫1点、その他の石製品1点である。

石鎌は、基部の形態が凹基のものが最も多く、そのなかで抉りが深いもの(図版4-142-7)と抉りが浅いもの(図版4-142-8、図版4-142-9)がみられる。尖頭器は、基部が突出するもの(図版4-143-1)とつまみ部が作出されているもので柳葉形を呈するもの(図版4-143-2、図版4-143-3)がみられる。石錐は、両端に尖頭部を有するものである(図版4-143-7)。石匙は、つまみ部に対して先端部が縦型のもの(図版4-143-4)が最も多くみられる。それ以外に、図版4-143-5のような先端部がつまみ部に対して斜方向に長いものもみられる。また、図版4-143-6のような未成品もみられる。図版4-143-8の籠状石器は、左右対称で全体の形状が梢円形を呈するものである。不定形石器は、剥片等の縁辺に二次加工を施すものが主体であり、図版4-143-9は縁辺の大半に連続的な二次加工が施されている。それ以外に、写真図版178-3のように、両面に面的な加工が施されているが、片面は素材面を大きく残すものがみられる。磨石・敲石類は、円礫・梢円礫を素材とし、磨面や敲打痕、凹痕、剥落痕を複合的に持つもの(図版4-143-10、図版4-144-2～4、図版4-145-1、2)が主体であるが、70mm以下の小形の礫を素材とし、磨面をもつもの(図版4-143-11)も多くみられる。また、それらよりは少ないが側面稜部に幅の狭い磨面を有するもの(図版4-144-1)も確認できる。

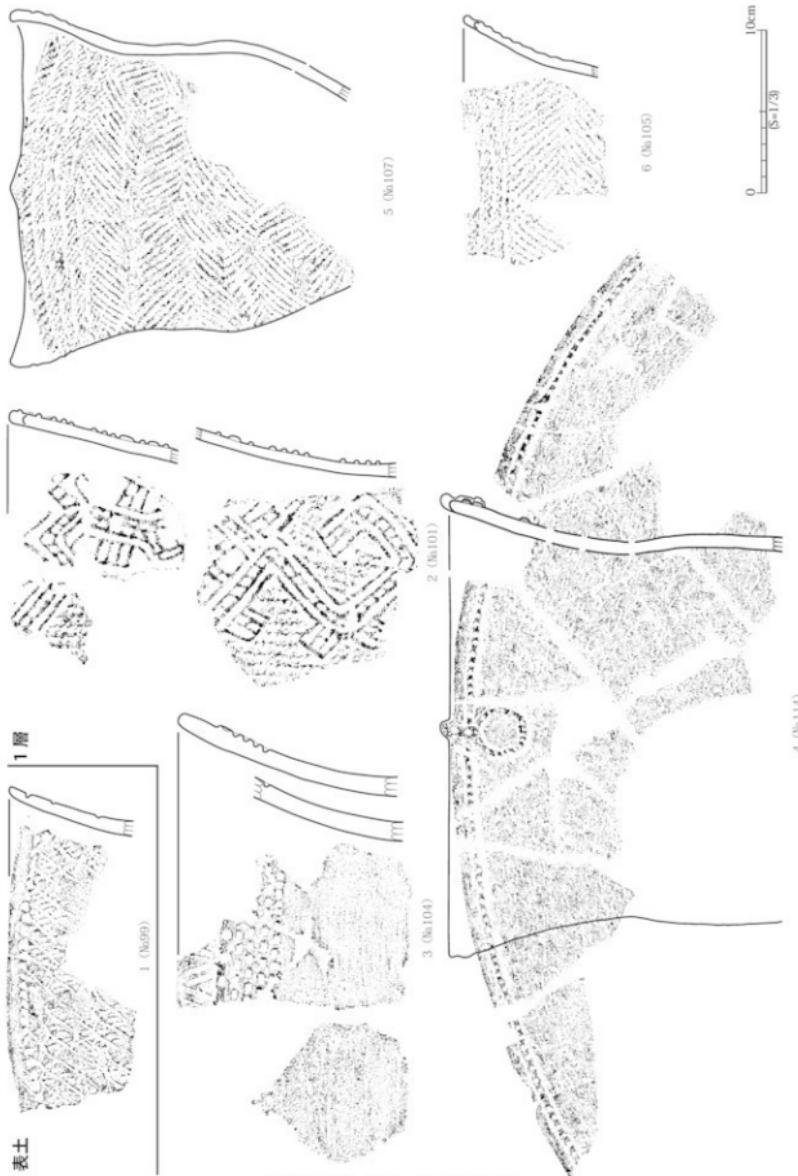
[3層] (図版4-145～4-146、写真図版178～179)

3層からは325点出土し、石鎌14点、尖頭器1点、石錐1点、石匙5点、籠状石器1点、打製石斧3点、礫器1点、磨製石斧1点、板状石器1点、楔形石器5点、不定形石器17点、磨石・敲石類66点、石皿・台石類9点、剥片182点、石核13点、石錐1点、石棒・石剣類2点、線刻礫1点、その他の石製品1点である。

石鎌は、基部の形態が平基のもの(図版4-145-5、6、写真図版-178-15)が最も多く、次いで抉りが浅い凹基のもの(図版4-145-3、4)がみられる。石匙は、つまみ部に対して先端部が縦型のもの(図版4-145-7、8)が主体を占める。打製石斧は、刃部がやや聞くもの(図版4-146-1)と全体の形状が梢円形を呈するものがみられる。写真図版179-2の礫器は、長軸端部の片側のみに二次加工が施されているものである。磨石・敲石類は、円礫・梢円礫を素材とし、磨面や敲打痕、凹痕、剥落痕を持つものが主体であり、図版4-146-2は剥落痕のみがみられるものである。石皿・台石類は、無縁のものが主体を占め、断面形は平坦なもの(図版4-146-3)と内湾するものがみられる。図版4-146-4の石棒・石剣類は、敲打と研磨により成形されているが、研磨は一部のみに限られているものである。

[層不明・攢乱]

層不明・攢乱からは37点出土し、石鎌3点、尖頭器1点、石匙1点、不定形石器1点、磨石・敲石類11点、石皿・台石類2点、剥片10点、石核8点である。

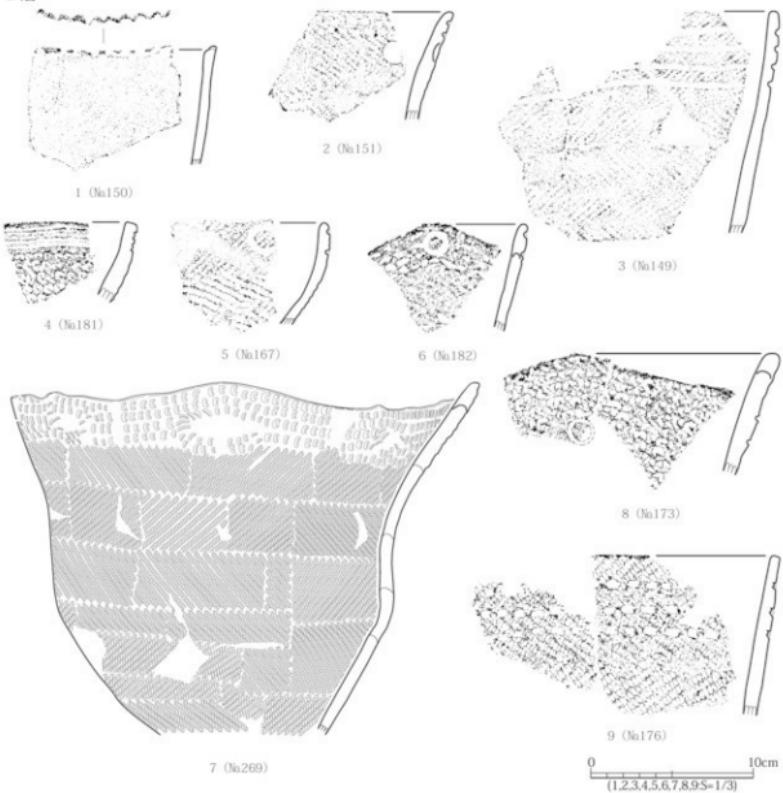


図版 4-122 SX2 出土土器 (1)



図版 4-123 SX2 出土土器 (2)

2層



図版 4-124 SX2 出土土器 (3)

2 层



図版 4-125 SX2 出土土器 (4)

2層



1 (No185)



図版 4-126 SX2 出土土器 (5)

10cm

S=1/3

2層



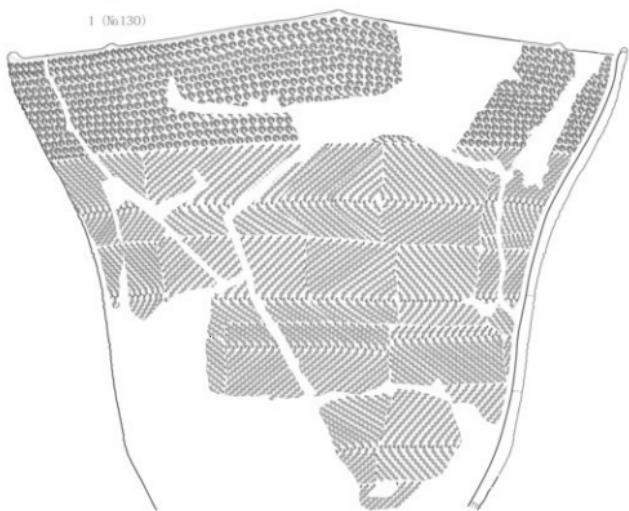
1 (No.130)



2 (No.135)



3 (No.271)



4 (No.165)

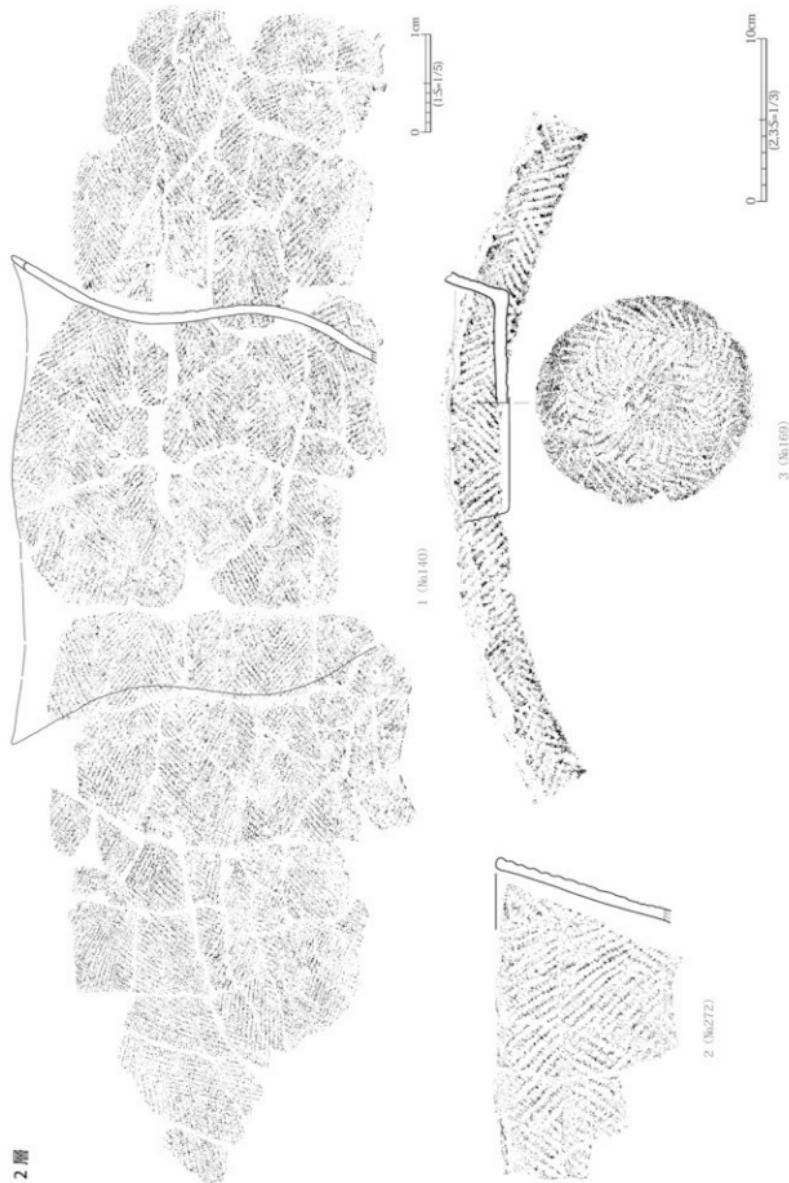
図版 4-127 SX2 出土土器 (6)

0 10cm
(S=1/3)



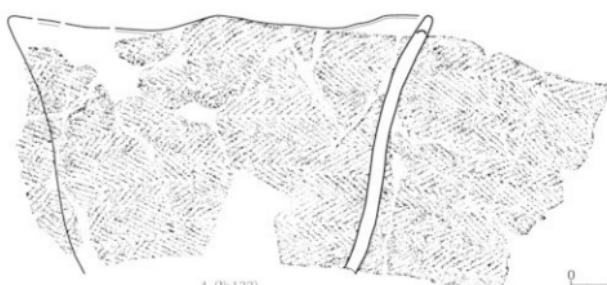
図版 4-128 SX2 出土土器 (7)

2層



図版 4-129 SX2 出土土器 (8)

2層



0
10cm
(S=1/3)

図版 4-130 SX2 出土土器 (9)

2層



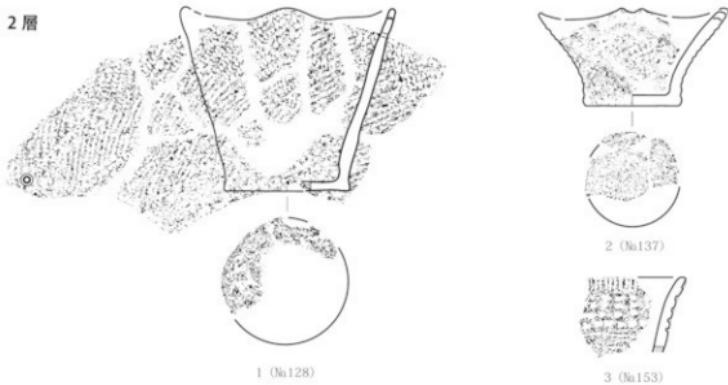
1 (No164)



2 (No171)



図版 4-131 SX2 出土器 (10)

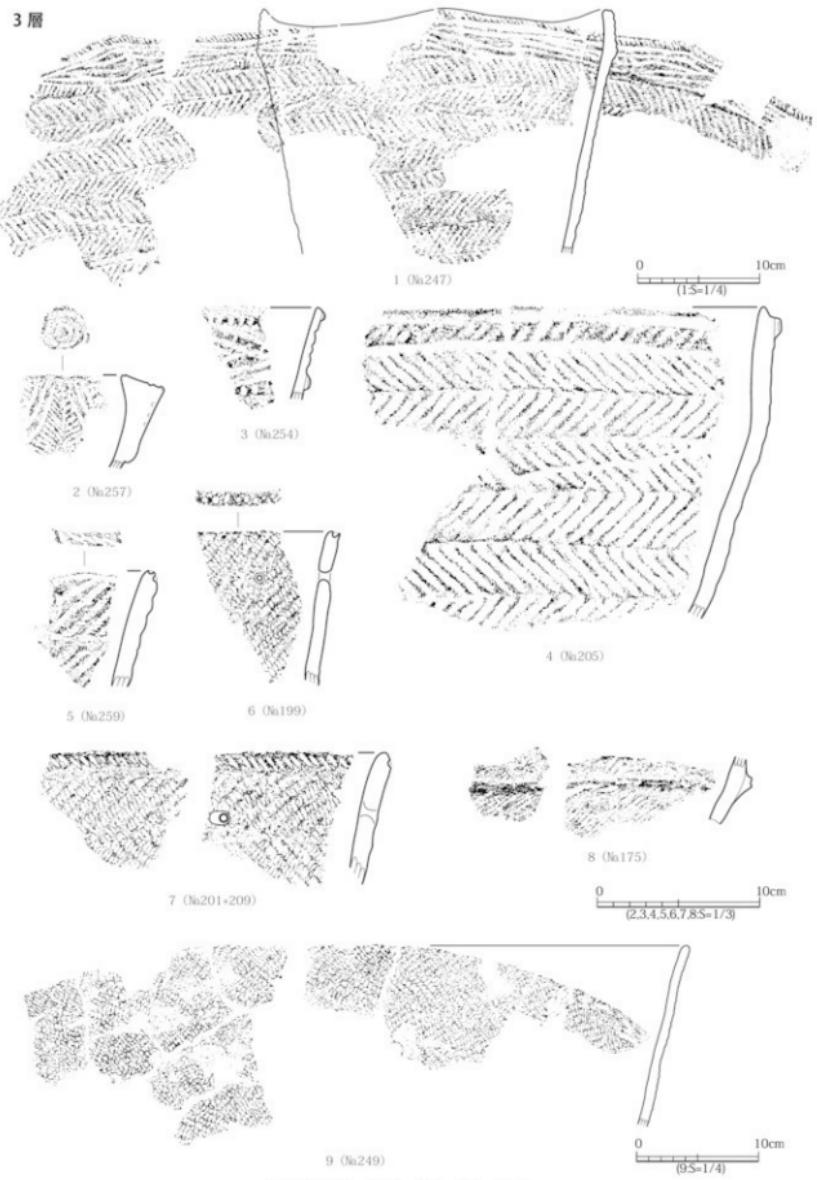


図版4-132 SX2 出土土器 (11)

3層



図版 4-133 5X2 出土土器 (12)



図版 4-134 SX2 出土土器 (13)

3層



1 (No.233)



2 (No.264)



3 (No.244)

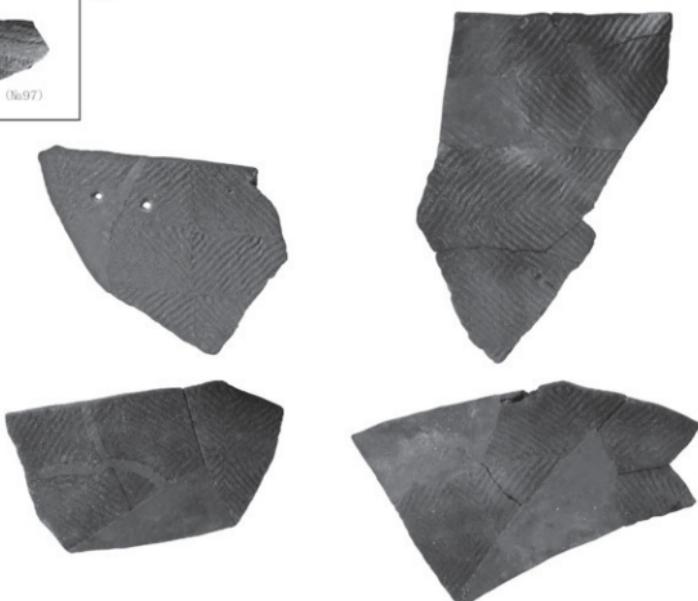
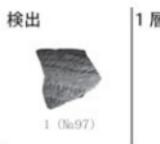
層不明



5 (No.284)

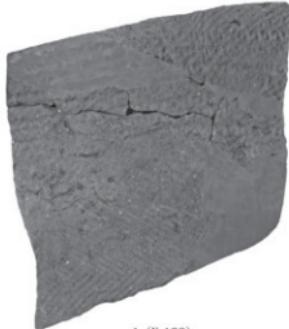


図版 4-135 SX2 出土土器 (14)



図版 4-136 SX2 出土土器 (15)

2層



1 (No.138)



2 (No.144)



3 (No.166)



4 (No.155)

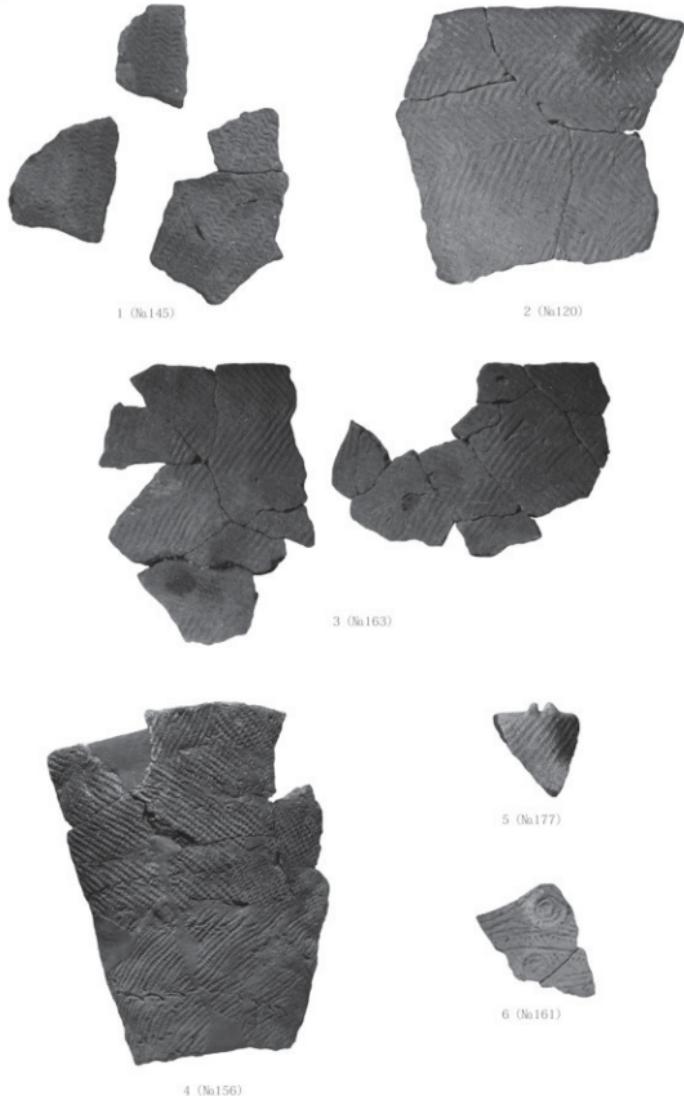


5 (No.154)



図版 4-137 SX2 出土土器 (16)

2層



図版 4-138 SX2 出土土器 (17)

2層



3層



図版 4-139 SX2 出土土器 (18)

3層



攪亂

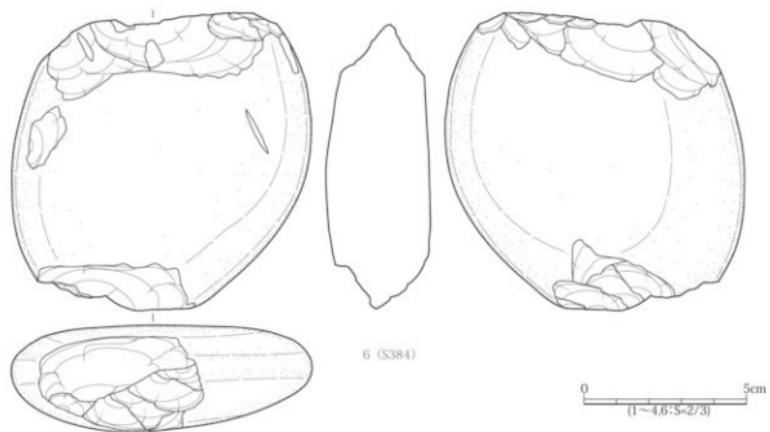
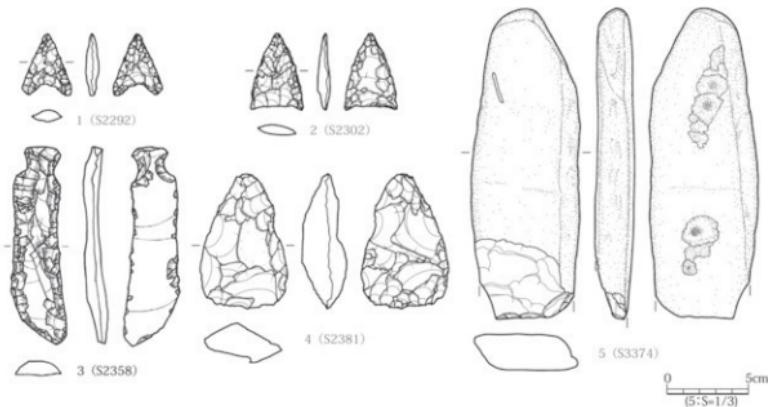


図版 4-140 SX2 出土土器 (19)

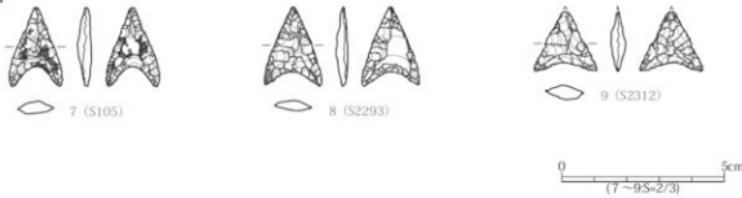


図版 4-141 SX2 出土土製品

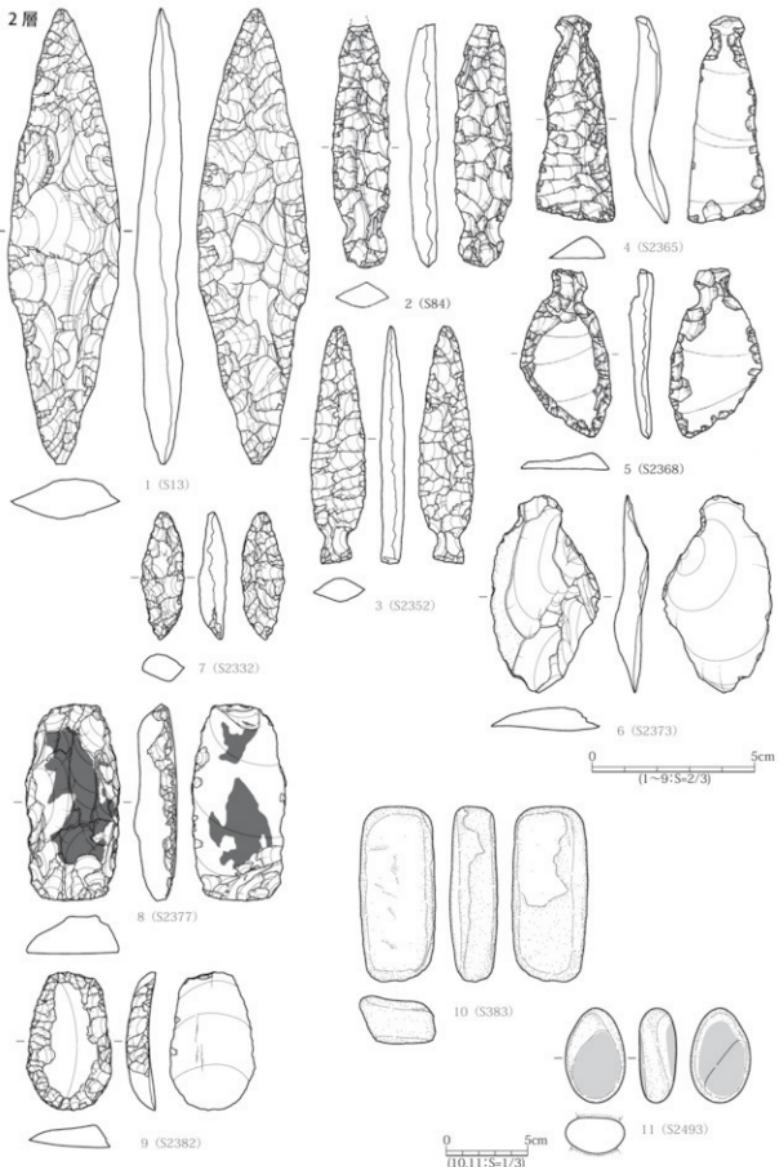
1層



2層

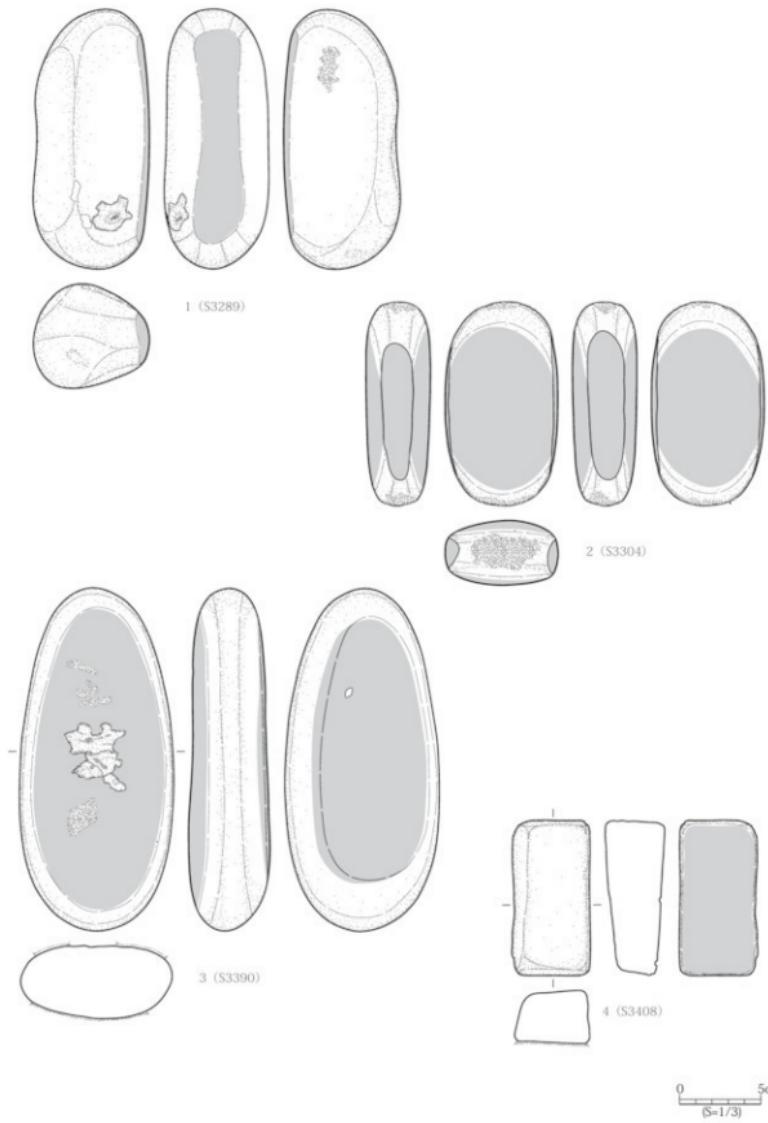


図版 4-142 SX2 出土石器・石製品 (1)



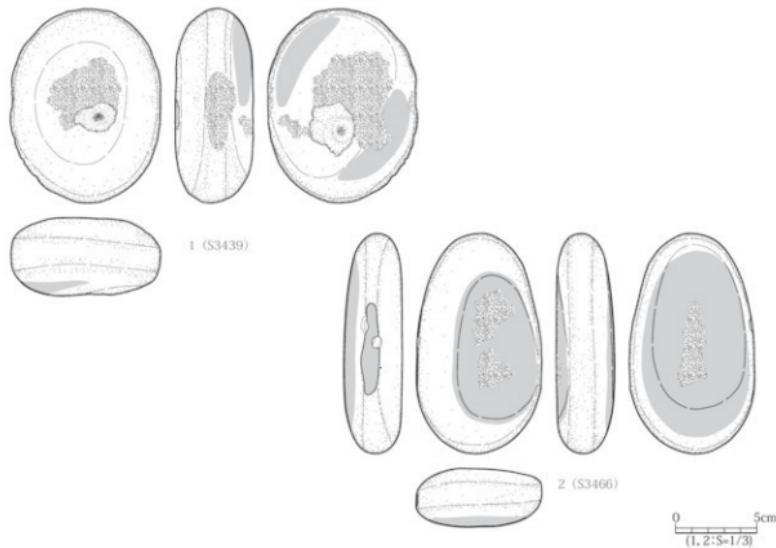
図版 4-143 SX2 出土石器・石製品 (2)

2層

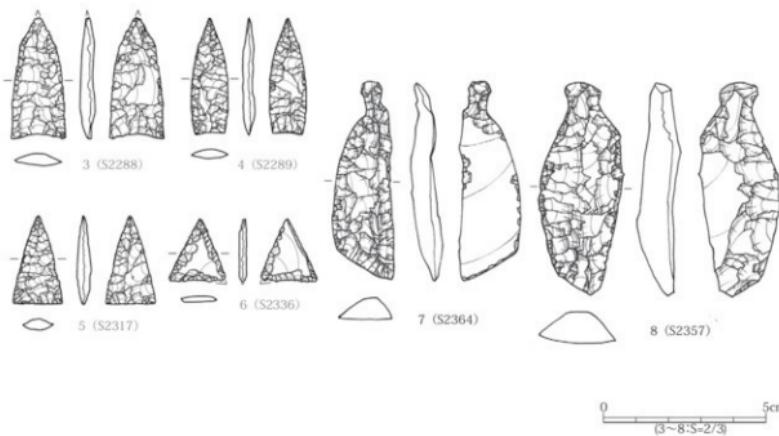


図版 4-144 SX2 出土石器・石製品 (3)

2 層

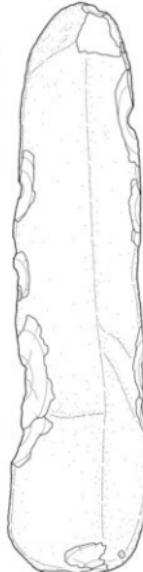


3 層



図版 4-145 SX2 出土石器・石製品 (4)

3層



1 (S2389)



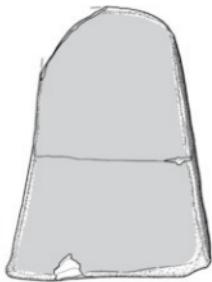
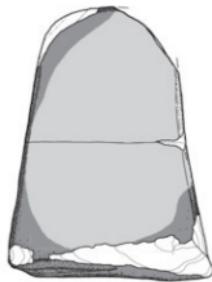
2 (S2536)



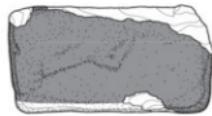
4 (S2397)

0 5cm
(1.4:S=2/3)

0 5cm
(2:S=1/3)



3 (S3496)



0 10cm
(3:S=1/6)

図版 4-146 SX2 出土石器・石製品 (5)

〈SX2 出土土器觀察表〉

図	登録年	コード	部位	基準範囲	装飾類型	装飾類型	部位	形態(法線)	装飾・調整	織機	写真
122-1	99	北	表土	深鉢	角-VG1	口縫部	平縫	【外側】 横位刺繡列、平行縫合(直)、+明和糸(×)		含	97.1
122-2	101	C-5	表土	深鉢	角-VG2	口縫部・体部	平縫+突起	【外側】 極細刺繡文、縫合(直)、明和糸(×)		含	97.3
122-3	104	D-6	1層	深鉢 B	角-VI	口縫部・体部上半	平縫	【外側】 裁位別複縫横、縫合付文+押縫、極細刺繡列、縮版	含	97.2	
122-4	114	E-6	1層	深鉢 B	VI-VI A	口縫部・体部下半	平縫(直) [幅30mm]	【内側】 横位、縮版(付文+斜糸)、5字状縫織地文(×段)	含	97.4	
122-5	107	D-6	1層	深鉢 C	J II	口縫部・体部下半	平縫(直) [幅15mm]	【内側】 縦位、縮版(付文+斜糸)、5字状縫織地文(×段)	含	97.5	
122-6	105	D-6 レン	1層	深鉢 B	J III	口縫部・体部下半	平縫(直) [幅7mm]	【外側】 重刷木端ループ文(直)、井筋束東引絞文(直, RL)	含	97.6	
123-1	102	CD-1 ~ 3	1層	深鉢	B C	口縫部	平縫	【外側】 重刷木端ループ文(直)、井筋束東引絞文(直, RL)	含	97.7	
123-2	109	B-5	1層	深鉢	B I	口縫部	平縫+突起	【外側】 横位刺繡文、重刷木端ループ文(直)	含	97.8	
123-3	116	F-6	1層	深鉢 BZ	B JII	口縫部・体部上半	平縫(直) [幅12mm]	【外側】 重刷木端ループ文(直)、井筋束東引絞文(直, RL)、【その他の】	含	97.9	
123-4	117	F-6	1層	深鉢 B	J JS	口縫部・体部下半	平縫+突起	【外側】 井筋束東引絞文(直, RL)	含	98.1	
123-5	106	D-6 レン	1層	跡 A	J JS	口縫部・底縫	平縫(直) [幅15mm]	【外側】 井筋束東引絞文(直, RL)、【底面】 斜行縫文(直)	含	98.2	
123-6	113	D-6	1層	深鉢 B	V JS	口縫部・体部上半	平縫(直) [幅27mm]	【外側】 井筋束東引絞文(直, RL)	含	98.3	
124-1	150	F-4	2層	深鉢	口縫部・底縫	平縫+斜付糸	【内側】 浅刷木端文 [直]、縫合(直)	【外側】 浅刷木端文 [直]、縫合(直)	含	98.4	
124-2	151	G-7	2層	深鉢	VI-VI G	口縫部	平縫	【外側】 積位刺繡列、齊糸、斜付糸(直)	含	98.5	
124-3	149	F-5	2層	深鉢 AII	B C	口縫部・体部上半	平縫	【外側】 細刷木端文、井筋束東引絞文(直, RL)	含	98.7	
124-4	181	G-5	2層	深鉢	B C	口縫部	平縫	【外側】 細刷木端文、重刷木端ループ文(直)	含	99.1	
124-5	167	E-5	2層	深鉢 C	B C	口縫部	平縫	【外側】 細刷木端文、井筋束東引絞文(直, RL)	含	99.2	
124-6	182	C-5	2層	深鉢	B G	口縫部	平縫	【外側】 刺突文、井筋束東引絞文(直)	含	99.3	
124-7	269	B-6	2層	深鉢 BZ	B G	口縫部・体部下半	平縫(直) [幅32mm]	【外側】 横位・張糸刺突(直)、斜行刺繡(直)、井筋束東引絞文(直, RL)	含	98.6	
124-8	173	E-6	2層	深鉢	B G	口縫部	平縫	【外側】 刺突文(直)、井筋束東引絞文(直)	含	99.4	
124-9	176	E-6	2層	深鉢	B G	口縫部	平縫	【外側】 刺突文(直)、井筋束東引絞文(直)	含	99.5	
124-10	152	F-6	2層	深鉢 BZ	J JS	口縫部・体部下半	平縫(直) [幅30mm]	【外側】 重刷木端ループ文(直)、井筋束東引絞文(直, RL)、【底面】 線織	含	99.6	
125-1	184	D-5	2層	深鉢 C	J JS	口縫部・体部上半	平縫(直) [幅33mm]	【外側】 重刷木端ループ文(直)、井筋束東引絞文(直, RL)	含	99.7	
125-2	170 - 172 - 174	E-5	2層	深鉢 C	J JS	口縫部・体部上半	平縫+突起	【外側】 重刷木端ループ文(直)、斜行刺繡(直)、井筋束東引絞文(直, RL)	含	100.1	
126-1	185	E-6	2層	深鉢 C	J JS	口縫部・体部下半	平縫+突起(直) [幅11cm]	【外側】 重刷木端ループ文(直)、井筋束東引絞文(直, RL)	含	101.1	
126-2	270 - 273	E-6	2層	深鉢 BZ	J J	口縫部	平縫	【外側】 刺突文(直)、特織、井筋束東引絞文(直, RL)	含	100.2	
127-1	130	D-3	2層	深鉢 BZ	J JS	口縫部・底縫	平縫(直) [幅26mm]	【外側】 重刷木端ループ文(直)、井筋束東引絞文(直, RL)、【底面】	含	101.2	
127-2	135	D-4	2層	深鉢 C	J JS	口縫部・体部	平縫(直) [幅26mm]	【外側】 重刷木端ループ文(直)、井筋束東引絞文(直, RL) (羽目)	含	101.3	
127-3	271	E-6	2層	深鉢	J JS	口縫部	平縫	【外側】 重刷木端ループ文(直)、井筋束東引絞文(直, RL)	含	101.4	
127-4	165	E-5	2層	深鉢 C	J JS	口縫部・体部下半	平縫(直) [幅38mm]	【外側】 重刷木端ループ文(直)、井筋束東引絞文(直, RL) (羽目)	含	102.4	
128-1	131	D-4	2層	深鉢 BZ	J JS	口縫部・体部下半	平縫(直) [幅42mm]	【外側】 重刷木端ループ文(直)、井筋束東引絞文(直, RL)、【底面】	含	102.2	
128-2	129	D-3	2層	深鉢 BZ	J JS	口縫部・底縫	平縫(直) [幅44mm]	【外側】 重刷木端ループ文(直)、井筋束東引絞文(直, RL)、【底面】	含	102.3	
128-3	126 CD-1 ~ 3 レン	B-5	2層	跡 D	J JS	口縫部・底縫	平縫+突起(直) [幅7.4mm]	【外側】 重刷木端ループ文(直)、斜行縫文(直)	含	102.4	
128-4	162	E-5	2層	跡 D or	J JS	口縫部・体部上半	平縫	【外側】 重刷木端ループ文(直)、井筋束東引絞文(直, RL, RL)	含	102.5	
129-1	140	B-5, E-6	2層	深鉢 BZ	J JS	口縫部・体部下半	平縫(直) [幅45mm]	【外側】 重刷木端ループ文(直, RL)	含	103.1	
129-2	272	E-6	2層	深鉢	J JS	口縫部	平縫	【外側】 重刷木端ループ文(直, RL)	含	103.2	
129-3	169	E-5	2層	深鉢	J JS	体部下半・底縫	上縫(直) [幅136mm]	【外側】 重刷木端ループ文(直)、斜行縫文(直)、【底面】	含	103.3	
130-1	143	B-6	2層	深鉢 C	J JS	口縫部・底縫	平縫+突起(直) [幅12mm]	【外側】 重刷木端ループ文(直)、斜行縫文(直)、【底面】	含	103.4	
130-2	142	D-6	2層	深鉢 B	J JS	口縫部・体部下半	平縫	【外側】 重刷木端ループ文(直)、斜行縫文(直)	含	103.5	
130-3	186	F-5	2層	深鉢 BZ	J JS	口縫部・体部下半	平縫+突起(直) [幅12mm]	【外側】 重刷木端ループ文(直, RL)	含	104.1	
130-4	122	C-4	2層	深鉢 BZ	J JS	口縫部・体部下半	平縫(直) [幅25mm]	【外側】 重刷木端ループ文(直, RL)	含	104.2	
131-1	164	E-4, F-4	2層	深鉢 BZ	J JS	口縫部・体部下半	平縫(直) [幅43mm]	【外側】 第1種羽伏綱文(直, RL)	含	104.3	
131-2	171	E-6	2層	深鉢 C	J Jia	口縫部・体部	平縫+突起(直) [幅12.8cm]	【外側】 斜行縫文(直)、【内部】 油脂痕斑【その他の】補織糸	含	104.4	
132-1	128	D-4 レン	2層	跡 A	J Jia	口縫部・底縫	平縫+突起(直) [幅12.8cm], 平縫	【外側】 斜行縫文(直)、【内部】 油脂痕斑【その他の】補織糸	含	105-1	
132-2	137	D-5	2層	浅鉢 B	J Jia	口縫部・底縫	平縫(直) [幅10.8cm], 平縫(直) [幅6mm]	【外側】 斜行縫文(直)、【内部】 ナデ	含	105-2	
132-3	153	C-3	2層	深鉢	I GI	口縫部	平縫	【外側】 縦位刺繡列、横位刺繡列、縫合(原糸)	含	105-3	
132-4	234 + 103 - 124	D-4, I-3	3層	深鉢	J Jia	口縫部・体部上半	平縫+突起	【外側】 横位刺繡文、斜行刺繡、縫合、縫合糸(角移行)、重刷木端ループ文(直), 井筋束東引絞文(直, RL)	含	105-4 ~ 6	
132-5	234 + 103 - 124	D-4, I-3	3層	深鉢	J Jia	口縫部・体部上半	平縫+突起	【外側】 横位刺繡文、斜行刺繡、縫合、縫合糸(角移行)、重刷木端ループ文(直), 井筋束東引絞文(直, RL)	含	105-4 ~ 6	
132-7	191	B-5	3層	深鉢	J JS	口縫部	平縫+突起	【外側】 重刷木端ループ文(直)、井筋束東引絞文(直, RL)	含	105-7	
132-8	213	B-5	3層	深鉢 AII	I Iib	口縫部	平縫	【外側】 縦位刺繡列、斜行・調節横縫合(直) + 明和糸、井筋束東引絞文(直)	含	105-9	
132-9	230 + 231	C-5	3層	深鉢	I Iib	口縫部	平縫	【外側】 縦位刺繡文、斜行・調節横縫合(直) + 明和糸、井筋束東引絞文(直)	含	105-10	
133-1	206	D-3	3層	深鉢 AII	I Iib	口縫部・体部上半	平縫(直) [幅37mm]	【外側】 縦位刺繡列、斜行・調節横縫合(直)、井筋束東引絞文(直, RL)	含	105-8	

図	登録No	グリッド	部位	器種類型	形状類型	部位	形態(法線)	装飾・調整	識別	写真 No.
133-2	216・ 223	E-4トレン チ	3層	深鉢 C	I I Ib	口縁部	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。井粘束羽状繩文(RL, RL)	合	106-1
133-3	253	E-3	3層	深鉢 A2	I I Ib	口縁部	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。井粘束羽状繩文(RL, RL)	合	106-2
133-4	204	D-3	3層	深鉢 A1	I I Ib	口縁部	平縁(「横」口縁)4cm×外高さ1cm	横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。井粘束羽状繩文(RL, RL)	合	106-3
133-5	240	C-5	3層	深鉢	I I Ib	口縁部	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。井粘束羽状繩文(RL, RL)	合	106-6
133-6	207	E-2	3層	深鉢 C2	I I Ib	口縁部	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。井粘束羽状繩文(RL, RL)	合	106-7
133-7・ 8	232・ 261	E-6	3層	深鉢	I I Ib	口縁部	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL)	合	106-4・5
134-1	247	D-5	3層	深鉢 C2	I I Ib	口縁部	波状縁(幅29cm)	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。井粘束羽状繩文(RL, RL)	合	106-8
134-2	257	E-2	3層	深鉢	I I Ib	口縁部	波状縁(突起)	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	106-9
134-3	254	E-3	3層	深鉢	I I Ia	口縁部	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL)	合	106-
134-4	205	C-3	3層	深鉢 A	I A2	口縁部	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	107-1
134-5	259	E-4	3層	深鉢	I F2	口縁部	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	107-2
134-6	199	C-4	3層	深鉢	I G2	口縁部	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	107-3
134-7	201・ 209	E-3	3層	深鉢	I F2	口縁部	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	107-4
134-8	175	B-3	3層	深鉢	I A	体部		【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL)	合	107-5
134-9	249	D-3	3層	深鉢 A2	I J5	口縁部	波状縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	107-6
135-1	233	B-5	3層	深鉢 A1	I J5	口縁部	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	107-7
135-2	264	F-6	3層	鉢 A	I J5	口縁部～底部	平縁(「横」口縁1.4cm), 平底(「横」底縁1.4cm)	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	107-
135-3	244	C-3	3層	深鉢 B	I J11	口縁部	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL)	合	107-8
135-4	222	E-4	3層	深鉢	I J5	底部	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	107-9
135-5	284	粗不明	深鉢	I I Ib	休部			【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	108-1
136-1	97	9	柄付	深鉢	I A	C縁部	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL)	合	-
136-2	111	D-6	1層	深鉢	I J5	口縁部～休部上半	波状縫	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
136-3	115	E-1	1層	深鉢	I J5	口縁部～休部下半	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
137-1	138	D-4	2層	深鉢	I J5	口縁部～休部上半	波状縫	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
137-2	144	E-6	2層	深鉢	I J5	口縁部～休部上半	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
137-3	166	E-5	2層	深鉢	I J5	口縁部～休部上半	波状縫	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
137-4	155	B-6	2層	深鉢	I J5	休部上～下半	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
137-5	154	C-5	2層	深鉢	I J5b	口縁部～休部上半	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
138-1	145	E-6	2層	深鉢	I J5	口縁部～休部上	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL)	合	-
138-2	120	C-3	2層	深鉢	I J5	口縁部～休部上半	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
138-3	163	E-5	2層	深鉢	I J5	口縁部～休部上半	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
138-4	156	C-6	2層	深鉢	I J5	口縁部～休部上半	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
138-5	177	E-6	2層	深鉢	I J5	口縁部	平縁+空起	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
138-6	161	D-3	2層	深鉢	I I	口縁部	波状縫	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL)	合	-
139-1	136	D-5	2層	深鉢	I J1	口縁部～休部	平縁+空起	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL)	合	-
139-2	265	F-6	3層	深鉢	I J3c	休部		【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL)	合	-
139-3	190	D-3	3層	深鉢	I I	口縁部	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL)	合	-
139-4	202	D-2	3層	深鉢	I I	口縁部	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
139-5	197	D-3	3層	深鉢	I I	口縁部	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
139-6	212	D-4	3層	深鉢	I I	口縁部～休部上半	波状縫	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
139-7	220	E-2	3層	深鉢	I I	口縁部	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL)	合	-
139-8・ 9	224・ 198	E-4	3層	深鉢	I I	口縁部～休部上半	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
140-1	226	E-3	3層	深鉢	I I	口縁部	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
140-2	225	E-3	3層	深鉢	I I	休部		【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
140-3	227	E-4	3層	深鉢	I I	休部		【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
140-4	203	D-3	3層	深鉢	I I	口縁部	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL)	合	-
140-5	241	C-3	3層	深鉢	I I	口縁部	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
140-6	211	D-4	3層	深鉢	I F	口縁部	平縁	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
140-7	215	F-4	3層	深鉢	I I	口縁部	小波状縫	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
140-8	192	B-5	3層	深鉢	I J5	休部下～底部	上底(底径7.4cm) 中底(底径6.9cm)	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
140-9	187	D-2	3層	深鉢	I J5	休部下～底部	底底(底径6.9cm)	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
140-10	258	E-4	3層	深鉢	I J5	休部下～底部	平底	【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
140-11	100	粗不明	深鉢	I V~VI G	口縁部			【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-
140-12	276	粗不明	深鉢	I A	口縁部			【外】横位・斜位・横脊直筋系の瓶文(縦+斜)。斜行縄文(RL, RL)	合	-

(SX2 土出土製品観察表)

図	登録No	グリッド	部位	部類	法線		装飾・調整	識別	写真 No.
141-1	4002	D-4	内腹孔	鉢足	前大27cm、幅26cm、厚さ0.7cm		【表面】斜行縄文(縦+斜)【縁辺】打ち欠き	合	108-3
141-2	4004	E-2	内腹孔	鉢足	前大36cm、幅33cm、厚さ1cm		【表面】斜行縄文(縦+斜)【縁辺】打ち欠き、磨削	合	108-4
141-3	4003	C-5	内腹孔	鉢足	前大45cm、幅34cm、厚さ2.1cm		なし(不規則)	合	-

(SX2 出土石器観察表)

No.	登録No.	グリップ	順位	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	被熱	自然面	残存	備考	写真回数
142-1	S2292	C5	1	石器	I b2A	珪化凍灰岩	18.7	14.9	4.0	0.6	0	0	完形		177-1
142-2	S2302	1	石器	I b1B	珪化凍灰岩	23.8	16.1	3.6	1.3	0	0	完形		177-2	
142-3	S2358	B3	1	石器	I b5	珪質頁岩	59.9	16.4	6.8	5.2	0	0	ほぼ完形		177-3
142-4	S2381	D6	1	塊状右器	I a1	珪化凍灰岩	41.3	26.9	12.9	12.6	0	1	完形		177-4
142-5	S3374	1	磨石・敲石類	I 1	結晶片剝	190.0	63.4	21.5	414.5	0	1	ほぼ完形		177-5	
142-6	S384	D6	1	石器	I	玄武岩質安山岩	89.8	91.7	32.9	377.0	0	1	完形		177-6
142-7	S105	B4	2	石器	I a2A	頁岩	24.3	16.1	3.9	1.0	0	0	完形		177-7
142-8	S2293	C3	2	石器	I b2B	珪質頁岩	24.0	17.6	3.5	1.0	0	0	完形		177-8
142-9	S2312	2	石器	I b2A	珪質頁岩	18.4	18.9	4.4	0.8	0	0	完形		177-9	
143-1	S13	2	尖頭器	I b1	珪質頁岩	139.7	34.2	14.9	50.9	0	0	完形	胸部下に付着物	177-10	
143-2	S84	C5	2	尖頭器	II b2	珪質頁岩	74.1	17.1	9.4	11.7	0	0	ほぼ完形		177-11
143-3	S2352	E5	2	尖頭器	II b1	珪質頁岩	72.8	16.8	7.5	8.1	0	0	完形	先端に種伏剥離痕	177-12
143-4	S2365	S132	2	石器	I d3	珪質頁岩	63.6	24.4	9.7	9.0	0	0	完形		177-13
143-5	S2368	F6	2	石器	III b5	珪質頁岩	50.5	27.6	6.4	6.7	0	0	完形		177-14
143-6	S2373	2	石器	未成品	頁岩	60.6	33.5	8.7	12.8	0	1	完形		177-16	
143-7	S2332	2	石器	I b	珪質頁岩	39.2	13.2	8.1	3.9	0	0	完形		177-13	
143-8	S2377	E5	2	塊状右器	I b2	珪質頁岩	60.1	29.3	12.8	27.8	0	0	完形		178-1
143-9	S2382	D4	2	不定形右器	III c	珪質頁岩	41.9	26.0	8.0	9.0	0	0	完形		178-2
-	S2403	E6	2	不定形右器	II b	珪質頁岩	26.0	26.5	10.4	7.5	0	1	完形		178-3
143-10	S383	C4	2	磨石・敲石類	I a	鶴見岩	107.3	47.5	28.8	233.0	0	1	完形		178-5
143-11	S2493	Po106	2	磨石・敲石類	III	玄武岩質安山岩	57.8	36.1	22.7	69.8	0	1	完形		178-4
144-1	S3289	F6	2	磨石・敲石類	II a	鶴見岩	155.0	69.7	68.8	1216.0	0	1	完形		178-7
144-2	S3304	E3	2	磨石・敲石類	I b	玄武岩質安山岩	124.1	69.1	39.8	552.0	0	1	完形		178-6
144-3	S3390	C5	2	磨石・敲石類	I f	玄武岩質安山岩	210.0	93.0	49.6	1482.5	0	1	完形		178-8
144-4	S3408	2	磨石・敲石類	I a	鶴見岩	94.7	46.7	37.0	335.5	0	1	完形		178-9	
145-1	S3439	E6	2	磨石・敲石類	I e	砂岩	118.2	92.2	47.3	756.0	0	1	完形		178-11
145-2	S3466	2	磨石・敲石類	I f	玄武岩質安山岩	134.7	76.5	34.8	555.0	0	1	完形		178-10	
145-3	S2288	C1	3	石器	I a3A	珪質頁岩	37.1	16.4	4.4	2.7	0	0	完形		178-12
145-4	S2289	E4	3	石器	I b3A	珪質頁岩	35.5	11.3	3.6	1.4	0	0	完形		178-13
145-5	S2317	D6	3	石器	II 2A	珪質頁岩	27.1	14.8	4.0	1.2	1	0	完形		178-14
-	S2318	D3	3	石器	II 4A	珪質頁岩	24.6	14.0	3.7	1.0	0	0	完形		178-15
145-6	S2336	E3	3	石器	II 2C	珪質頁岩	19.2	16.9	2.0	0.7	0	0	完形		178-16
145-7	S2364	C3	3	石器	I b3	珪質頁岩	59.9	18.4	8.0	7.7	0	0	完形		178-18
145-8	S2357	C2	3	石器	I b4	珪質頁岩	64.8	25.9	11.6	18.1	0	0	完形		178-17
146-1	S2380	F6	3	打削右器	I a1	鶴見岩	82.6	40.6	19.2	78.8	0	1	完形		179-1
-	S2392	C4	3	砾器	I a1	玄武岩質安山岩	125.2	67.7	27.5	316.5	0	1	完形	磨石・凹石から転用	179-2
146-2	S2536	B3	3	磨石・敲石類	I n	玄武岩質安山岩	123.9	38.9	16.0	128.8	0	1	完形		179-3
146-3	S3496	C3	3	石器	I b	細粒閃綠岩	325.0	255.0	130.0	15100.0	1	1	完形		179-4
146-4	S2397	C6	3	石棒・石削類	III b	板岩	174.0	44.1	14.0	139.0	0	1	完形		179-5

【SX3 遺物包含層】

(1) 堆積状況と分布範囲

15-1 区の丘陵北東斜面に位置し、南西から北東に向かって下る浅い谷地形に形成されている（図版 4-147）。包含層は大きく 1～5 層に分かれ、斜面下端では低湿化する。6 層は基本層 III 層（包含層堆積前の旧表土）にあたり、谷地形を全体的に覆う。斜面下方は最終的に計画範囲外となつたため、トレンチ調査のみで包含層の広がりを確認した。遺物は 1～2 層、3～4 層、5～6 層のまとまりで取り上げている。

[1 層]

中央部から斜面下方にかけて 12 × 17m の範囲に最大 85cm の厚さで分布する。黒褐色基調の層と黄褐色基調の層の互層をなす層群である。砂質シルトを基調とし、一部粘質シルト層が見られる。斜面上方においては炭化物を含む。

[2 層]

斜面下方、奥行き 12m 以上に渡って最大 20cm の厚さで分布する。オリーブ褐色を呈する砂質シルト層で火山灰を多く含み、火山灰の二次堆積層と考えられる。東西トレンチの東側延長部において検出し、さらにトレンチ外に伸びる。D8 において火山灰サンプルを採取した。

[3 層]

斜面下半の 12 × 21m の範囲に最大 30cm の厚さで分布する。黄褐色の粘質土を基調とし、炭化物や焼土ブロックを含む層群である。含有物の多寡などにより細分され、それぞれ明黄褐色～黒褐色を呈する。斜面下端の低湿化した 3c 層中では獸骨等が残存しており、E9 グリッドにおいて周囲の土壤のサンプルを採取した。また、C6 グリッド周辺の 3 層下部の土壤サンプルからは、剝片・チップが 7806g 検出された。

[4 層]

中央部から斜面下方にかけて 18 × 17m の範囲に最大 40cm の厚さで分布する。赤褐色シルトを基調とし、炭・焼土を多く含む層と、黄褐色シルトを基調とする層の互層からなる層群である。含有物の多寡などにより 12 層に細分され、焼土を極めて多量に含む層や、地山上主体の層が見られる。下部からは SL125 が跡が検出されている。

[5 層]

斜面全体的に分布するが、特に斜面上方で厚く最大 40cm を測る。暗褐色土で、色調は 6 層に近いが、炭・焼土・遺物を含む。

(2) SX3 内の地割れ痕跡

E～F・5～7 グリッドにおいて検出した。面的に検出したのは、4 × 1.5m の範囲に平行して伸びる 2 条で、4 层下部で検出した。上幅は最大 70cm で、溝堆積土上部には 3 層ないし 4 層から落ち込んだと見られる土器が、下部には小礫が多く含まれる。またこれらの北側延長に当たる南北トレンチ断面において、4～6 層が V 字状に落ち込む状況が認められた。1 層に覆われ 4 層上面からの

深さは70cmで地山上部へ達する。これらは一連のものと考えられ、土層断面から4層より新しく1層より古いものと捉えられる。堆積土中から縄文土器深鉢（図版4-169）が出土している。

(3) SX3出土土器

〔表土・検出〕（図版4-149～4-150、図版4-170、写真図版109）

検討対象土器は445点で、20点を掲載した。

図版4-149-2は、角張った箇所のある土器であるが、全体の形状は不明である。図版4-149-3は、体部が膨らみ、頸部でくびれ、短い口縁部が外反する波状口縁の深鉢で、半截竹管による沈線文が施される。図版4-149-4・5は、撚糸文を地文とし、細い粘土紐貼付文に刺突が加えられる。他に、粘土紐貼付文や沈線文等の土器が出土している。

〔1～2層〕（図版4-150～4-152、図版4-170、写真図版110～111）

検討対象土器は721点で、22点を掲載した。図版4-150-3、5は、口縁部外面と口唇部に粘土紐貼付文が施される。図版4-150-4は、撚糸文が縦に回転施文される。図版4-151-2は粘土紐貼付文と短沈線文、図版4-151-1は沈線文、図版4-150-6は半截竹管の沈線文が施される。図版4-150-7、8、図版4-151-3、4は、加飾のある粘土紐貼付文を主とする文様が施される。図版4-151-5は結束第1種羽状縄文、図版4-152-1は末端ループ文と非結束羽状縄文が施される。

〔3～4層〕（図版4-152～4-167、図版4-171～4-173、写真図版111～121）

検討対象土器は3725点で、85点を掲載した。3～4層出土土器は、各グリッドで上下関係により区分して取り上げられたが、層の区分に厳密に対応するものではない。このため、グリッドごとに取り上げられた3～4層出土土器に断面での層の区分を反映させ、7列を3～4層上部、5～6列を3～4層上部～下部、2～4列を3～4層下部とし、さらに3～4層の底部で取り上げられたものを4層出土と見なして扱うこととした。以下、これらの区分に従って記述する。

《3～4層上部出土土器》

図版4-152-2は、体部から口縁部が直立する小型の深鉢で、口縁部に指頭押圧が加えられた横位貼付文、体部に斜格子状の沈線文が施される。

《3～4層上部～下部出土土器》

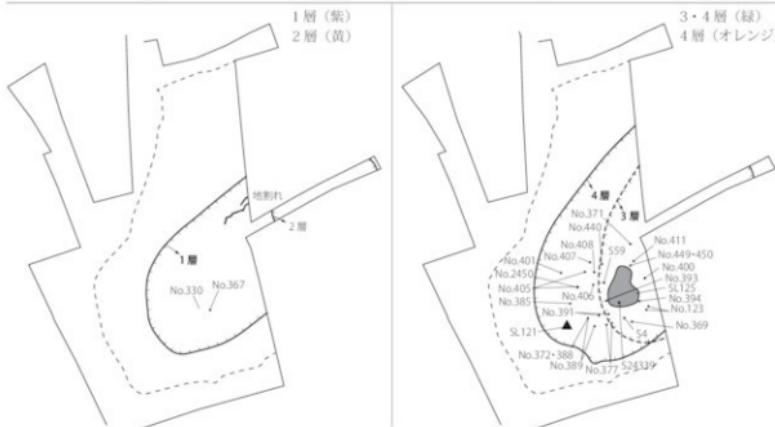
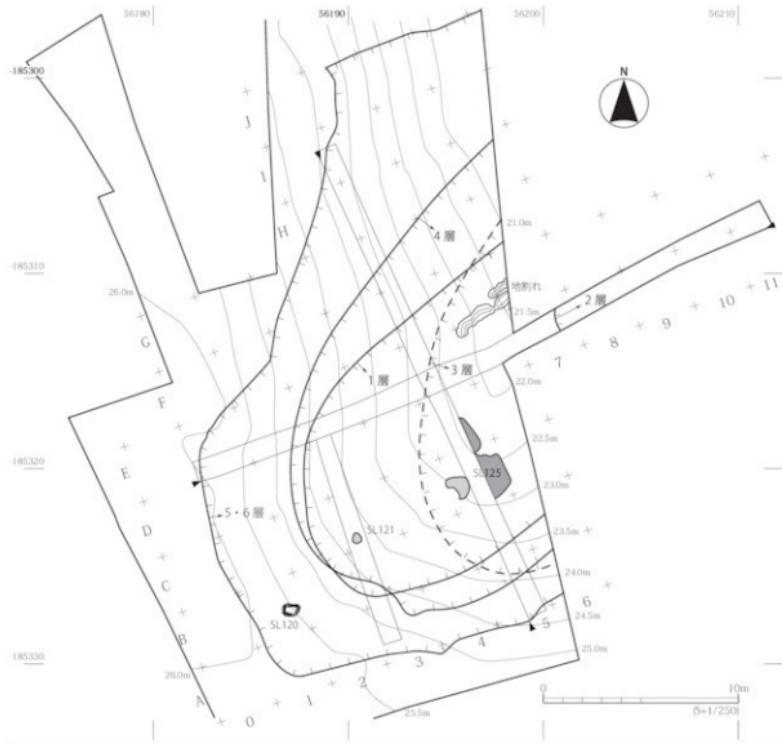
器種はほとんど深鉢で、少量の鉢（図版4-157-1）が出土している。

文様は多様で、加飾のある粘土紐貼付文（図版4-152-3、4-154-1等）、棒状工具の沈線文（図版4-153-1）、半截竹管の沈線文（図版4-152-4、4-153-2）、半截竹管の沈線に刺突を加えるもの（図版4-153-5、4-155-1）、末端ループ文（図版4-155-6）、横位刺突列とコンバス文（図版4-155-5）、非結束羽状縄文（図版4-156-1）等がある。図版4-155-4は、口縁部に末端ループ文が重層施文されているが、縦位刺突列によって区切られ、その右側は羽状縄文となっている。

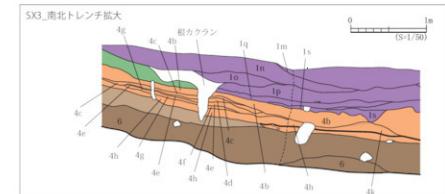
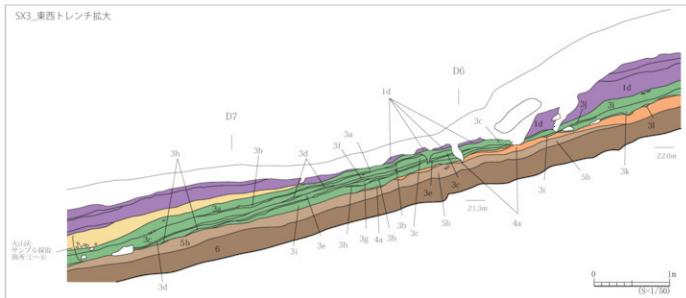
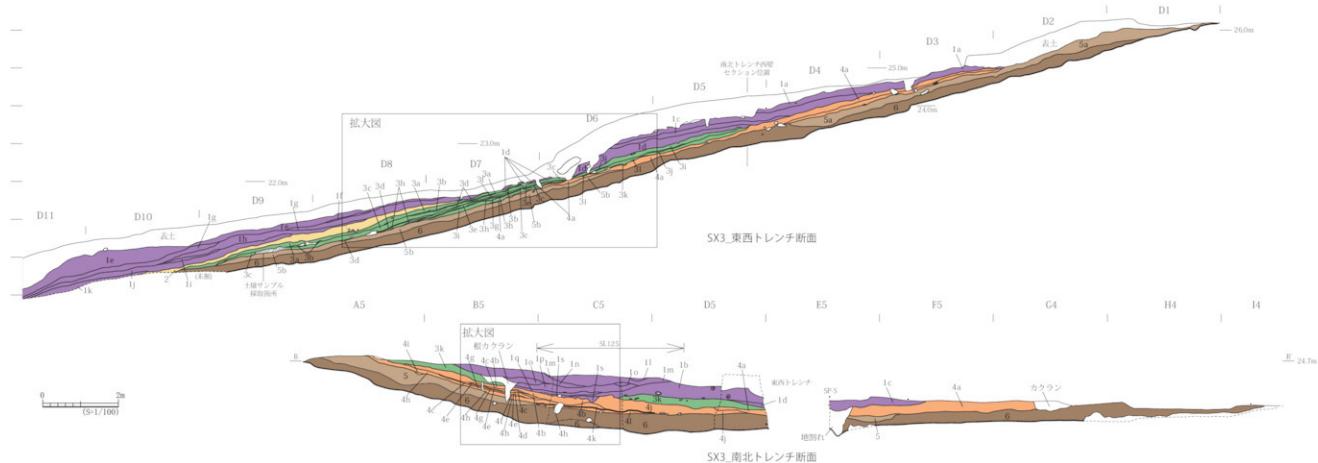
《3～4層下部出土土器》

器種は深鉢を主体とし、少量の鉢（図版4-163-5）を作う。

深鉢の器形は、体部が緩やかに開きながら立ち上がり、くびれて口縁部が外反するもの（図版



図版 4-147 SX3 遺物包含層平面図



層入物等		層入物等		層入物等	
1a	二にじ貝類(10Y8/4/1)	砂利シルト	4e	黒岩(7SY4/1)	粘土を多く含む。植生プロックを含む。
1b	灰岩類(10Y8/4/2)	砂利シルト	4f	黄岩(2SY3/4)	粘土を多く含む。植生プロックを含む。
1c	黒岩(10Y8/3/2)	砂利シルト	4g	灰岩類(3SY3/6)	粘土を多く含む。植生プロックを含む。
1d	灰岩類(10Y8/3/7)	砂利シルト	4h	黒岩類(10Y3/2)	粘土を多く含む。植生プロックを含む。
1e	灰岩類(10Y8/4/2)	砂利シルト	4i	二にじ貝類(2SY4/3)	粘土を多く含む。植生プロックを含む。
1f	陶風鉢(2SY4/2)	砂利シルト	4j	黒岩類(3SY4/3)	粘土を多く含む。植生プロックを含む。
1g	陶風鉢(2SY4/4)	砂利シルト	4k	黒岩類(7SY3/2)	粘土を多く含む。植生プロックを含む。
1h	陶風鉢(2SY4/4)	砂利シルト	4l	二にじ貝類(2SY4/3)	粘土を多く含む。植生プロックを含む。
1i	二にじ貝類(2SY4/4)	砂利シルト	4m	明治期(10Y8/3/6)	シルト。炭・植生を多く含む。
1j	二にじ貝類(10Y8/3/4)	砂利シルト	4n	明治期(10Y8/3/6)	シルト。炭・植生を多く含む。
1k	黒岩(10Y8/3/6)	砂利シルト	4o	明治期(10Y8/3/6)	シルト。炭・植生を多く含む。
1l	二にじ貝類(10Y8/3/7)	砂利シルト	4p	明治期(10Y8/3/6)	シルト。炭・植生を多く含む。
1m	二にじ貝類(10Y8/4/1)	砂利シルト	4q	明治期(10Y8/3/6)	シルト。炭・植生を多く含む。
1n	二にじ貝類(10Y8/4/2)	砂利シルト	4r	明治期(10Y8/3/6)	シルト。炭・植生を多く含む。
1o	黒岩(10Y8/3/6)	砂利シルト	4s	明治期(10Y8/3/6)	シルト。炭・植生を多く含む。
1p	明治期(10Y8/3/6)	砂利シルト	4t	明治期(10Y8/3/6)	シルト。炭・植生を多く含む。
1q	二にじ貝類(10Y8/3/7)	砂利シルト	4u	明治期(10Y8/3/6)	シルト。炭・植生を多く含む。
1r	黒岩(10Y8/2/2)	シルト	4v	明治期(10Y8/3/6)	シルト。炭・植生を多く含む。
1s	明治期(10Y8/3/6)	砂利シルト	4w	明治期(10Y8/3/6)	シルト。炭・植生を多く含む。
1t	二にじ貝類(10Y8/4/1)	砂利シルト	4x	明治期(10Y8/3/6)	シルト。炭・植生を多く含む。
1u	陶風鉢(2SY4/2)	砂利シルト	4y	明治期(10Y8/3/6)	シルト。炭・植生を多く含む。
1v	明治期(10Y8/3/2)	砂利シルト	4z	明治期(10Y8/3/6)	シルト。炭・植生を多く含む。
1w	明治期(10Y8/3/2)	砂利シルト	5a	明治期(10Y8/3/6)	シルト。炭・植生を多く含む。
1x	明治期(10Y8/3/2)	砂利シルト	5b	明治期(10Y8/3/6)	シルト。炭・植生を多く含む。
1y	明治期(10Y8/3/2)	砂利シルト	5c	明治期(10Y8/3/6)	シルト。炭・植生を多く含む。
1z	明治期(10Y8/3/2)	砂利シルト	5d	明治期(10Y8/3/6)	シルト。炭・植生を多く含む。

図版 4-148 SX3 遺物包含層断面図

4-160-2 等)、体部が膨らみ、くびれて口縁部が外反するもの(図版 4-159-1 等)、体部が緩やかに開きながら立ち上がり、くびれて口縁部が内彎して聞くもの(図版 4-160-1)、体部が膨らみ、くびれて口縁部が内彎するもの(図版 4-158-1 等)などが見られる。鉢は、体部から口縁部にかけて外傾する(図版 4-163-5)。口縁部は平縁と波状口縁があり、小さな突起を伴うものもある。底部形態は、上底(図版 4-159-1)が確認される。

文様は、粘土品貼付文、沈線文、刺突文、押引文が見られ、多様であるが、数としては回転施文の繩文のみの土器が多い。

繩文は、斜行繩文(図版 4-163-5 等)、非結束羽状繩文(図版 4-164-1 等)、末端ループ文(図版 4-159-2 等)が主である。末端ループ文は、ループの部分だけを重層施文するものがほとんどで、中には無文部を残して異なる方向に施文し、幾何学的な意匠を構成するもの(図版 4-159-1)もある。繩文は底面にも施文される(図版 4-159-1 等)。

繩文以外の文様は、縦位貼付文と沈線文(図版 4-158-1)、沈線文と刺突文(図版 4-158-2)、半截竹管の沈線文と円形竹管の刺突文(図版 4-157-5・6)、半截竹管の押引文(図版 4-159-3・4)等がある。

これらの全ての土器の胎土に纖維が含まれる。

上記と異なる特徴を持つ土器として、図版 4-157-2 は加飾のない貼付文、図版 4-157-3 は半截竹管の沈線文、図版 4-157-4 は口縁部外面が無文となる。図版 4-164-2、3 には横位貼付文が施され、後者には撫糸圧痕文が展開する。

《4 層出土土器》

形態、文様とも、3 ~ 4 層下部出土土器と共に通点が多い。器種は深鉢が主体で、少量の鉢(図版 4-166-1、4、4-167-2)が伴う。図版 4-166-1 は底部から体部が直立し、強くくびれて外に開き、口縁部が内彎する鉢である。回転施文の繩文は、斜行繩文(図版 4-166-4 等)、非結束羽状繩文(図版 4-166-2 等)、末端ループ文(図版 4-165-3 等)がある。末端ループ文の中には、異方向施文が見られる(図版 4-165-1)。

これらの全ての土器の胎土に纖維が含まれる。

上記と異なる特徴を持つ土器として、図版 4-164-4 は指頭押圧を加えられた貼付文と斜位短沈線が施される。

〔5 ~ 6 層〕(図版 4-167 ~ 4-168、図版 4-173、写真図版 122)

検討対象土器は 822 点で、8 点を掲載した。器種はすべて深鉢である。図版 4-167-3、4 は、撫糸圧痕文間に刻目が加えられる。図版 4-167-5 は、横位貼付文がめぐり、口縁部に撫糸圧痕文が施される。図版 4-167-6 は、非結束羽状繩文が施される。図版 4-168-1 は、縦位絡条体圧痕文が施される。いずれも胎土に纖維が含まれる。

〔その他〕(図版 4-168、写真図版 122 ~ 123)

上記以外に、SX3 出土で出土層を詳細に捉えられない土器を補足資料として 7 点掲載した。1 ~ 4 層、3 ~ 6 層、層不明の土器がある。図版 4-168-3 は、溝巻状の貼付文、櫛歯状工具の押引文、半截竹管の沈線文が施される。図版 4-168-6 は、結束第 1 種羽状繩文が施され、口縁部に刻目を加え

られた貼付文と刺突列がめぐる。

〔地割れ〕(図版 4-169、写真図版 123)

検討対象土器は 58 点で、4 点を掲載した。図版 4-169-1 は、S 字状連鎖撚糸文が施され、口縁部に刻目が加えられた横位貼付文がめぐる。図版 4-169-2 は、S 字状連鎖撚糸文が施される。

(4) SX3 出土土製品(図版 4-174、写真図版 123)

土製品と見られる 6 点をすべて掲載した。土偶と見られるものと円盤状土製品がある。図版 4-174-5 は、板状土偶の一部と見られ、沈線による区画内に刺突が加えられる。図版 4-174-1～4、6 は、土器片を加工した円盤状土製品で、図版 4-174-1、2、6 は最大長が 10cm を超える大型品である。

(5) SX3 出土石器・石製品

SX3 では、石器・石製品が 4100 点出土している。器種別の点数は、石鏃 113 点、尖頭器 28 点、石錐 114、石匙 45 点、鎌状石器 17 点、打製石斧 9 点、礫器 6 点、磨製石斧 16 点、楔形石器 14 点、不定形石器 123 点、磨石・敲石類 372 点、砥石 8 点、石皿・台石類 66 点、剥片 3158 点、石核 75 点、円盤状石製品 5 点、石錘 1 点、块状耳飾 3 点、扁平円形状石製品 3 点、有孔石製品 1 点、ヘラ状石製品 1 点、男根状石製品 3 点、石棒・石剣類 12 点、線刻礫 2 点、異形石器 2 点、その他の石製品 1 点である。

〔表土・検出〕(図版 4-175、写真図版 180)

表土・検出からは、170 点出土し、石鏃 4 点、尖頭器 3 点、石匙 4 点、打製石斧 1 点、磨製石斧 1 点、不定形石器 5 点、磨石・敲石類 53 点、石皿・台石類 12 点、剥片 74 点、石核 6 点、块状耳飾 1 点、扁平円形状石製品 2 点、石棒・石剣類 3 点、線刻礫 1 点である。

石鏃は、基部の形態が抉りが浅い凹基のもの(図版 4-175-1、2)である。石匙は、つまみ部に対して先端部が錐型のもの(図版 4-175-3)と斜方向に長いもの(図版 4-175-4)である。磨石・敲石類は、円礫・楕円礫を素材とし、磨面や敲打痕、凹痕、剥落痕を持つもの(図版 4-175-5、6)やそれらを複合的にもつものが主体である。図版 4-175-7 の块状耳飾は、平面形が円形で断面形が扁平なものである。

〔1～2層〕(図版 4-176～4-177、写真図版 180～181)

1～2層からは 1023 点出土し、石鏃 35 点、尖頭器 1 点、石錐 5 点、石匙 12 点、鎌状石器 6 点、打製石斧 2 点、礫器 1 点、磨製石斧 3 点、不定形石器 22 点、磨石・敲石類 58 点、砥石 3 点、石皿・台石類 14 点、剥片 839 点、石核 18 点、石錘 1 点、男根状石製品 1 点、石棒・石剣類 2 点である。

石鏃は、抉りの深い凹基のもの(図版 4-176-1)が主体を占めている。石錐は、一端に錐部を有するものが主体であり、図版 4-176-2 の石錐は剥片の一端を加工して錐部を作出しているものである。石匙は、つまみ部に対して先端部が錐型のもの(図版 4-176-3)が主体的にみられ、それ以外に斜方向に長いもの(図版 4-176-4)や横型のものがみられる。図版 4-176-5 の打製石斧は、左右対称で、平面形が楕円形を呈するものである。写真図版 181-1 の礫器は、長軸端部以外の周縁の一部で、片

側のみに二次加工が施されるものである。砥石は多数の溝がみられるもので、図版4-177-1と図版4-177-2は片面のみにみられ、ともに石皿・台石類から転用したものである。図版4-177-3の男根状石製品は、平面形が二等辺三角形状を呈しており、断面は楕円形である。丸みを帯びた頭部が作出されており、その頭頂部には切り込みが入れられている。全面は、研磨により丁寧に加工されている。胸部に比べて頭部は非常に小さく作り出されている。

[3～4層] (図版4-178～4-182、写真図版182～184)

3～4層からは1891点出土し、石鏃55点、尖頭器17点、石錐4点、石匙22点、鎧状石器8点、礫器3点、磨製石斧9点、楔形石器9点、不定形石器68点、磨石・敲石類136点、砥石4点、石皿・台石類18点、剥片1499点、石核25点、円盤状石製品3点、块状耳飾1点、有孔石製品1点、ヘラ状石製品1点、男根状石製品2点、石棒・石劍類4点、異形石器1点、その他の石製品1点である。

石鏃は、基部の形態が凹基のものと平基のもの(図版4-178-2、5)が同程度みられる。凹基のものには、抉りが浅いもの(図版4-178-1、4)が主体を占めるが、抉りが深いもの(図版4-178-3)もみられる。尖頭器は、つまみ部を有するものが多くみられ、その中でつまみ部に対して幅広なもの(図版4-178-9)と同程度の幅のもの(図版4-178-6、8)がある。それ以外には基部が突出するもの(図版4-178-7)や未成品(図版4-179-1)もみられる。石匙は、つまみ部に対して先端部が縦型のもの(図版4-179-3～9)が主体を占め、それ以外には斜方向に長いもの(図版4-179-2、10)や未成品もみられる。鎧状石器は、左右対称で刃部がやや開くもの(図版4-179-12、13)と全体の形状が楕円形を呈するもの(図版4-179-11)が同程度みられる。楔形石器は、対になる2辺1組に両極剥離痕が観察されるもの(図版4-180-1)が主体を示す。磨石・敲石類は、円盤・楕円盤を素材とし、磨面や敲打痕、凹痕、剥落痕を持つもの(図版4-180-2～4、図版4-181-1、2)が主体であるが、側面稜部に幅の狭い磨面を有するもの(図版4-180-5)も多くみられる。また、それよりも点数は少ないが70mm以下の小形の礫を素材とし、磨面を有するもの(図版4-180-6)もみられる。図版4-181-3の砥石は細粒閃緑岩製で、中心に1条の溝がみられる。円盤状石製品は、縁辺を主に敲打により成形しているもの(図版4-181-4)である。図版4-181-5の块状耳飾は、未成品である。図版4-182-1の有孔石製品は全面が研磨され、中心に貫通孔がみられる。図版4-182-2のヘラ状石製品は、棒状の礫を素材とし、一端に穿孔途中と考えられる孔がみられる。図版4-182-4の男根状石製品は、楕円形の礫を素材とし、全体に研磨を施し、丸みを帯びた頭部を作出している。胸部は頭部に向かうにつれて細くなるように加工されている。全体的に被熱を受けている。図版4-182-5の男根状石製品は、全面に研磨を施し、断面が楕円形の棒状に加工しており、丸みを帯びた楕円形状の頭部が作出されている。胸部は頭部に向かって徐々に幅が狭くなっている。胸部が欠損している。図版4-182-3の異形石器は、両側辺に抉りを入れて作出したつまみ部を有するもので、つまみに対して先端部が横方向に長く、先端部が内湾し、2個の突起状に加工されているものである。

[5～6層] (図版4-183～4-186、写真図版184～186)

5～6層からは397点出土し、石鏃12点、尖頭器5点、石錐2点、石匙6点、鎧状石器3点、打製石斧6点、磨製石斧3点、楔形石器2点、不定形石器15点、磨石・敲石類90点、砥石1点、

石皿・台石類 14 点、剥片 216 点、石核 14 点、円盤状石製品 2 点、块状耳飾 1 点、扁平円形状石製品 1 点、石棒・石剣類 1 点、線刻蹠 1 点、異形石器 1 点、石器模造品 1 点である。

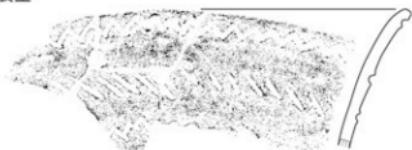
尖頭器は、基部が突出するもの（図版 4-183-2）、つまみ部を有し柳葉形を呈するもの（図版 4-183-1）、基部を半円形に調整しているもの（図版 4-183-3）がみられる。石匙は、つまみ部に対して先端部が縦型のもの（図版 4-183-4～6）が主体を占める。鎧状石器は、左右対称で全体が橢円形を呈するもの（図版 4-184-1、2）と左右非対称のものがみられる。打製石斧は、左右対称で刃部がやや開くもの（図版 4-184-4）と全体の形状が橢円形を呈するもの（図版 4-184-3）がみられる。楔形石器は、対になる 2 辺 1 組と 2 辺 2 組（図版 4-185-1）に両極剥離痕がみられるものがみられる。磨石・敲石類は、円礫・橢円礫を素材とし、磨面や敲打痕、凹痕、剥落痕を持つもの（図版 4-185-3）が主体であるが、側面稜部に幅の狭い磨面を有するもの（図版 4-185-2）も多くみられる。また、280mm 以上の大形の蹠を素材としているもの（図版 4-185-4）もみられる。石皿・台石類は、無縁のものであり、図版 4-186-1 は断面形が平坦を呈している。図版 4-186-2 の块状耳飾は、未成品である。図版 4-186-3 の異形石器は、両側辺に抉りを入れて作出したつまみ部を有するものである。つまみ部の形状は 2 個の突起状に加工されている。片面には面的な加工を施しているが、その逆面は、つまみ部と先端部を中心に加工がみられるのみである。

〔層不明・攪乱〕（図版 4-186、写真図版 186）

層不明・攪乱からは 155 点出土し、石鏃 3 点、尖頭器 2 点、石錐 1 点、石匙 1 点、蹠器 2 点、不定形石器 8 点、磨石・敲石類 25 点、剥片 104 点、石核 6 点、石棒・石剣類 2 点、石器模造品 1 点である。

石鏃は、基部の形態が平基のもの（図版 4-186-4）と凹基のものがみられる。尖頭器は、基部に両側から抉りを入れてつまみ部を作出しているもの（図版 4-186-5）と基部を直線的に調整しているもの（図版 4-186-6）がみられる。

表土



1 (No.286)



検出



2 (No.293)

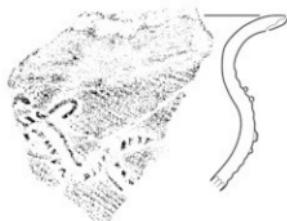


5 (No.320)

3 (No.314)

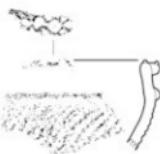


4 (No.242)

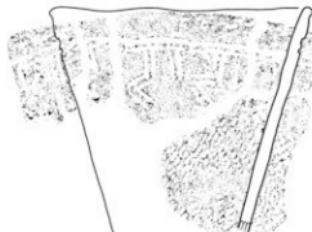


7 (No.316)

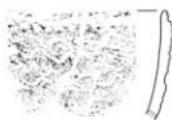
6 (No.299)



8 (No.306)



10 (No.294)

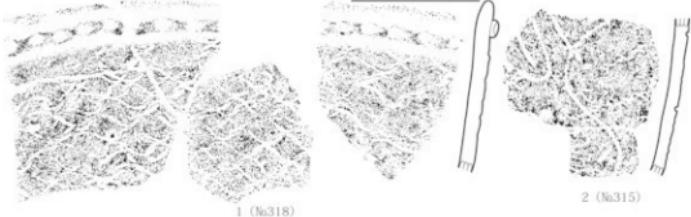


9 (No.317)

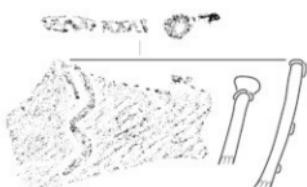


図版 4-149 SX3 出土土器 (1)

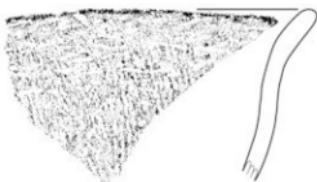
検出



1~2層



3 (No.341)



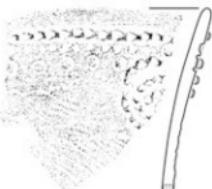
4 (No.365)



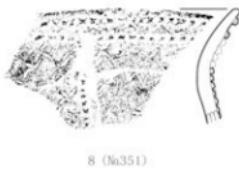
5 (No.333)



6 (No.336)



7 (No.334)



8 (No.351)



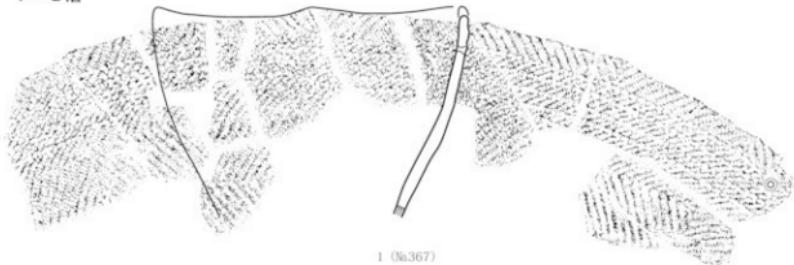
図版 4-150 SX3 出土土器 (2)

1~2層



図版 4-151 SX3 出出土器 (3)

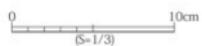
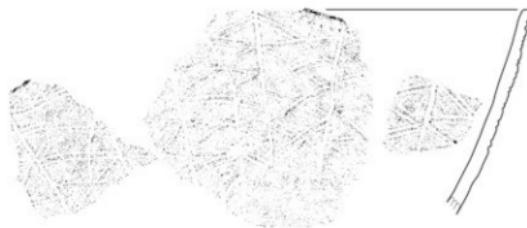
1 ~ 2 層



3 ~ 4 層上部

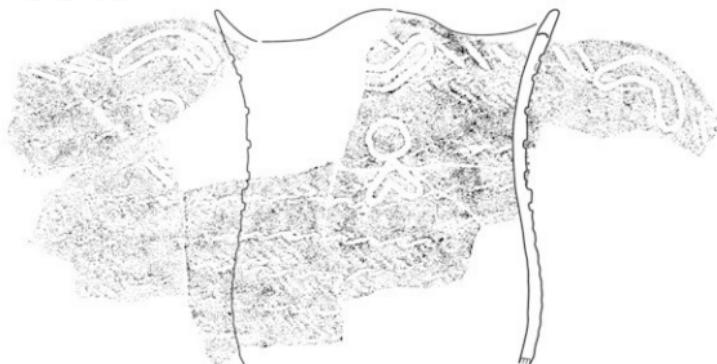


3 ~ 4 層上部～下部



図版 4-152 SX3 出土土器 (4)

3～4層上部～下部



1 (No.362+422)



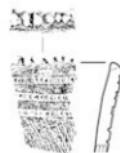
2 (No.411)



3 (No.413)



4 (No.471)



5 (No.350)



図版 4-153 SX3 出土土器 (5)



図版 4-154 SX3 出土土器 (6)

3 ~ 4 層上部 ~ 下部

3～4層上部～下部



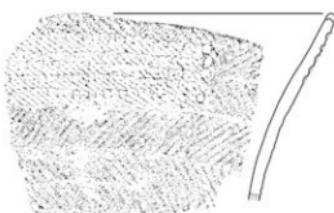
1 (No.420)



2 (No.421)



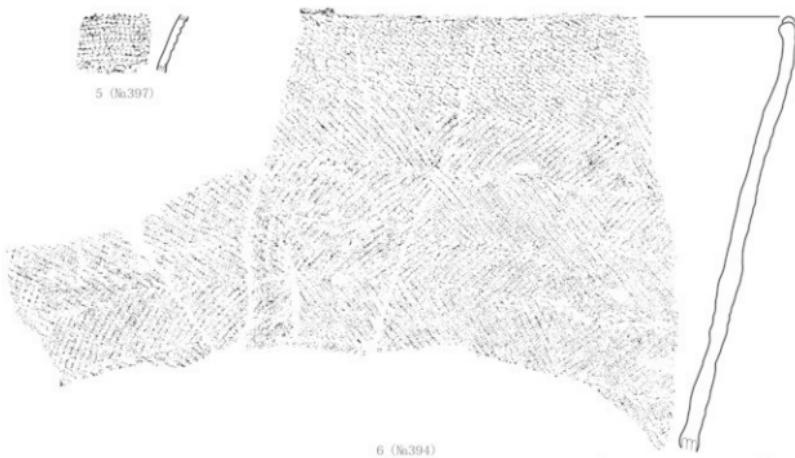
3 (No.470+474)



4 (No.396)



5 (No.397)



6 (No.394)

0 10cm
(S=1/3)

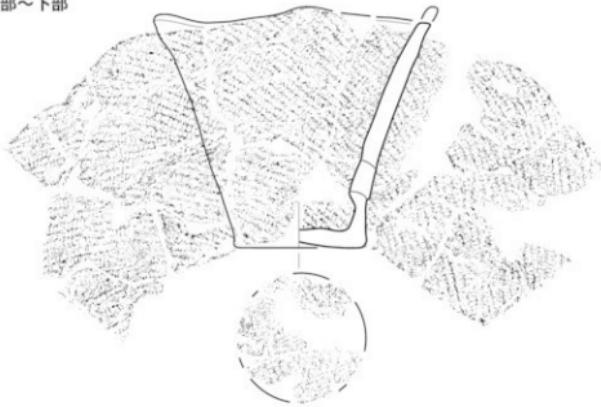
図版 4-155 SX3 出土土器 (7)

3～4層上部～下部



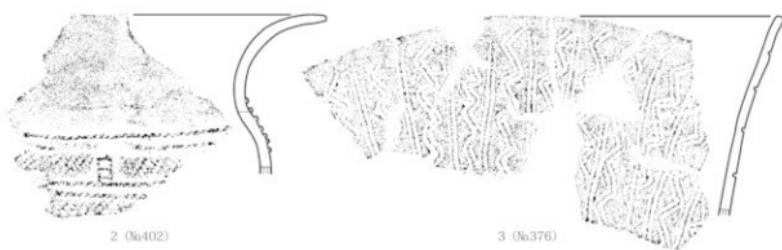
図版 4-156 SX3 出土土器 (8)

3～4層上部～下部



1 (No.369)

3～4層下部



2 (No.402)

3 (No.376)



4 (No.373)

0 10cm
(4.5×1/4)



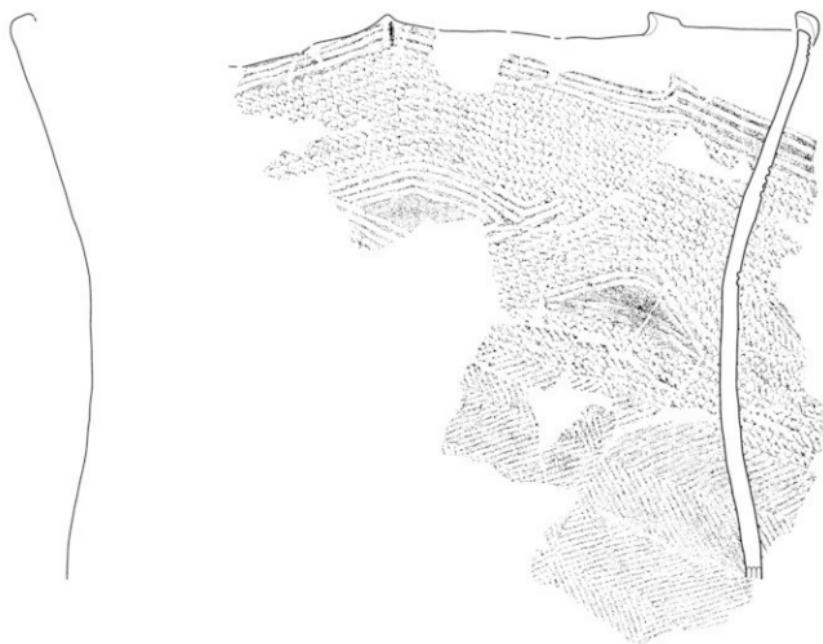
5 (No.423)



6 (No.392) 0 10cm
(1.2.3.5.6.S=1/3)

図版 4-157 SX3 出土土器 (9)

3 ~ 4 層下部



1 (No.388)



2 (No.406)



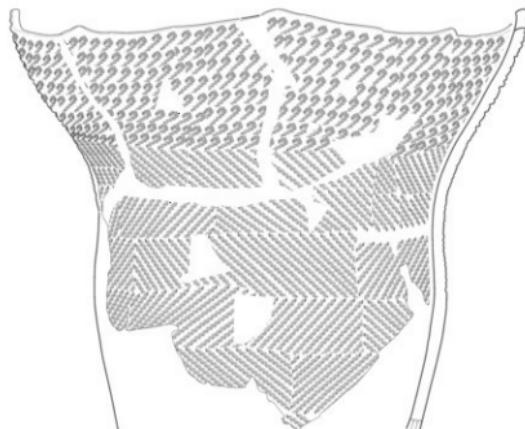
図版 4-158 SX3 出土土器 (10)

3～4層下部

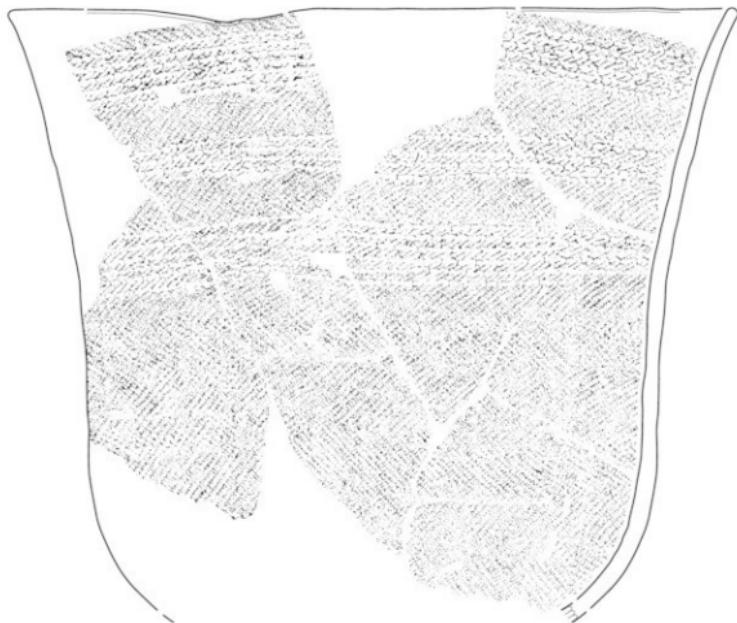


図版 4-159 SX3 出土土器 (11)

3～4層下部



1 (No.372)



2 (No.377)



図版 4-160 SX3 出土土器 (12)

3～4層下部



1 (No.385)

0
(S=1/3) 10cm

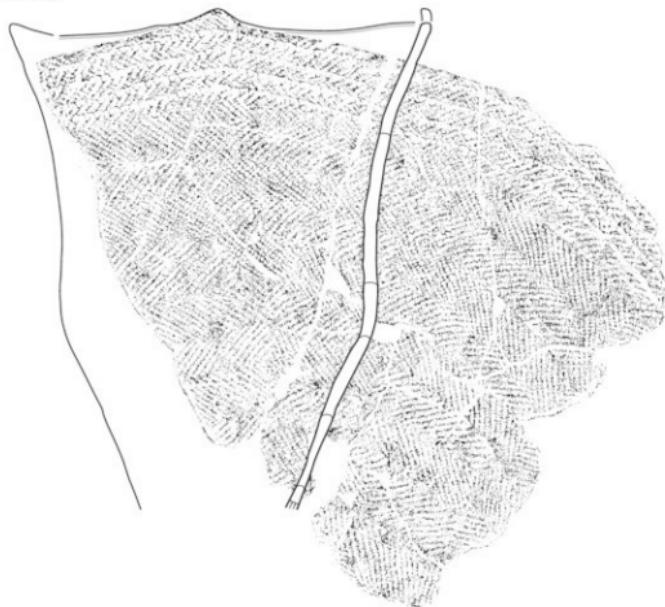


2 (No.389)

0
(S=1/4) 10cm

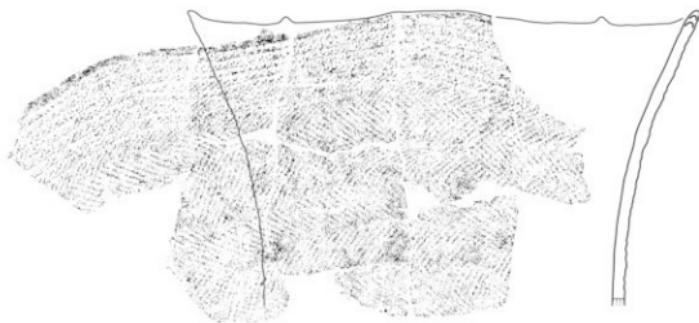
図版 4-161 SX3 出土土器 (13)

3 ~ 4 層下部



1 (No.408)

0 10cm
(S=1/3)



2 (No.405)

0 10cm
(S=1/4)

図版 4-162 SX3 出土土器 (14)

3～4層下部



図版 4-163 SX3 出土土器 (15)

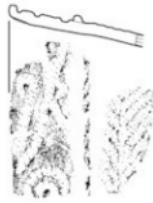
3 ~ 4 層下部



1 (No.391)

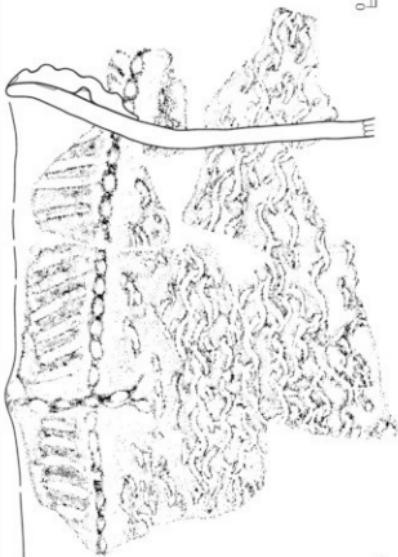


2 (No.451)



3 (No.428)

4 層



4 (No.46-426)



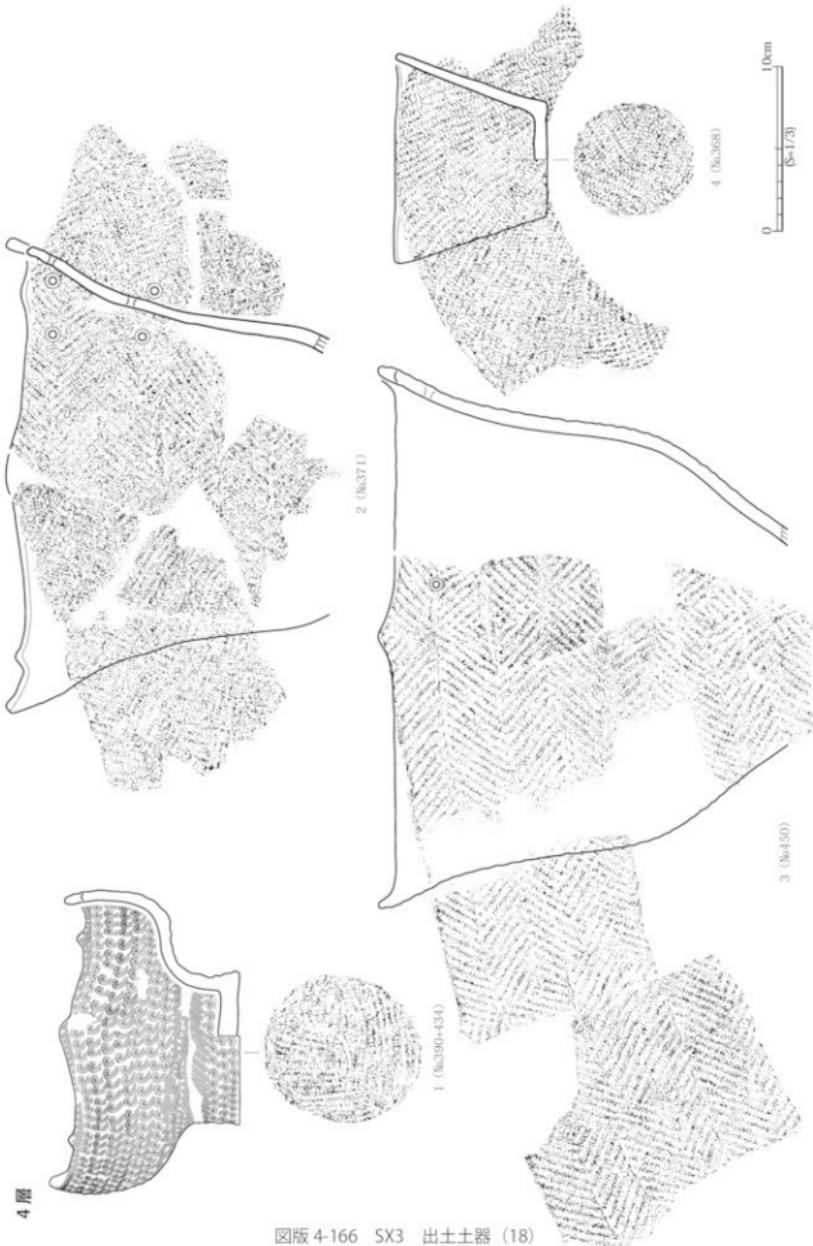
図版 4-164 SX3 出土土器 (16)

0
10cm
δ=1/3

4層



図版 4-165 SX3 出土土器 (17)

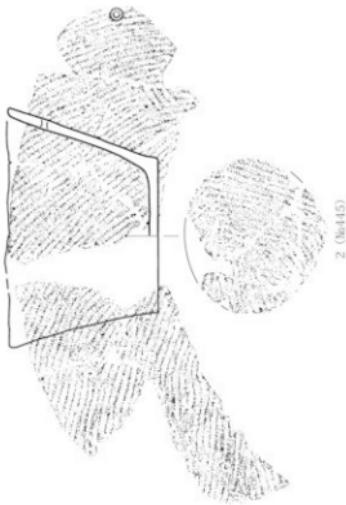


図版 4-166 SX3 出土土器 (18)

4層



1 (No.431)



2 (No.445)

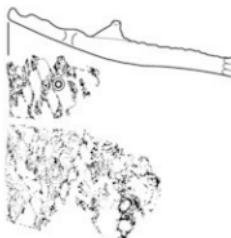
5~6層



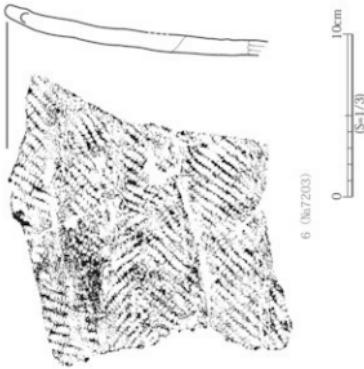
3 (No.448)



4 (No.7204)



5 (No.454)



6 (No.7203)

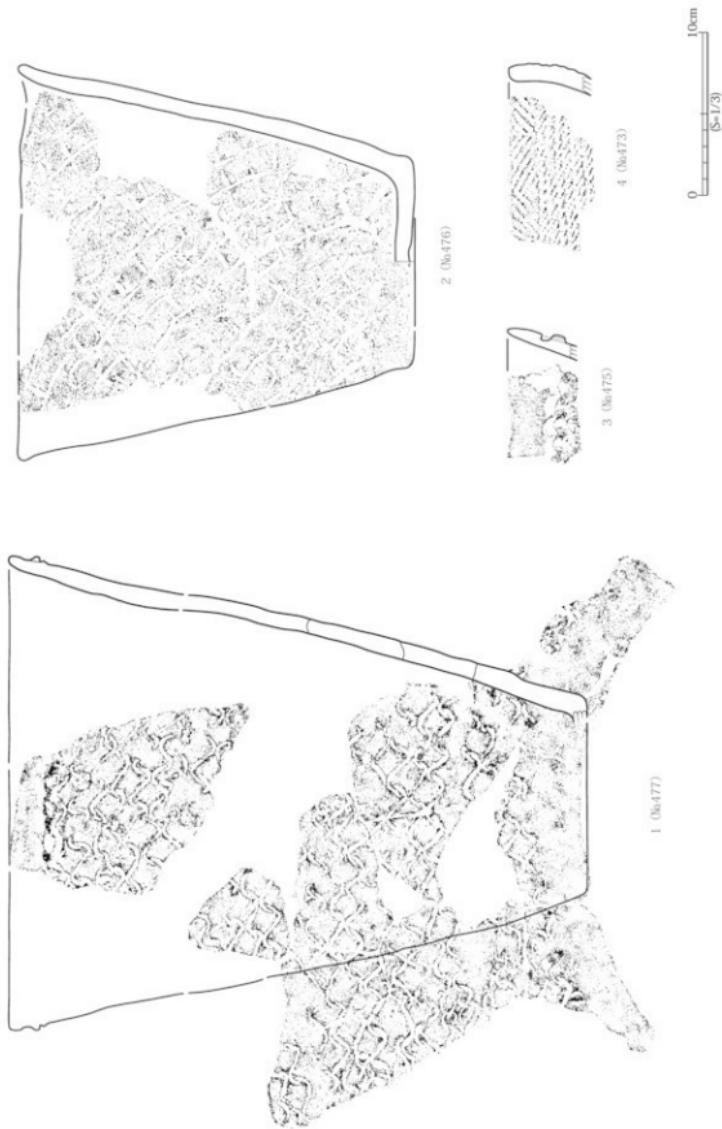


図版 4-167 SX3 出土土器 (19)



図版 4-168 SX3 出土土器 (20)

地割れ (NC128)



図版 4-169 SX3 出土土器 (21)

表土



1 (No.289)



2 (No.288)

検出



3 (No.319)



4 (No.300)



5 (No.311)



6 (No.305)



7 (No.308)



8 (No.307)



9 (No.296)



10 (No.301)

1～2層



11 (No.7205)



12 (No.332)



13 (No.338)



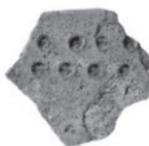
14 (No.348)



15 (No.345)



16 (No.354)



17 (No.344)



18 (No.355)



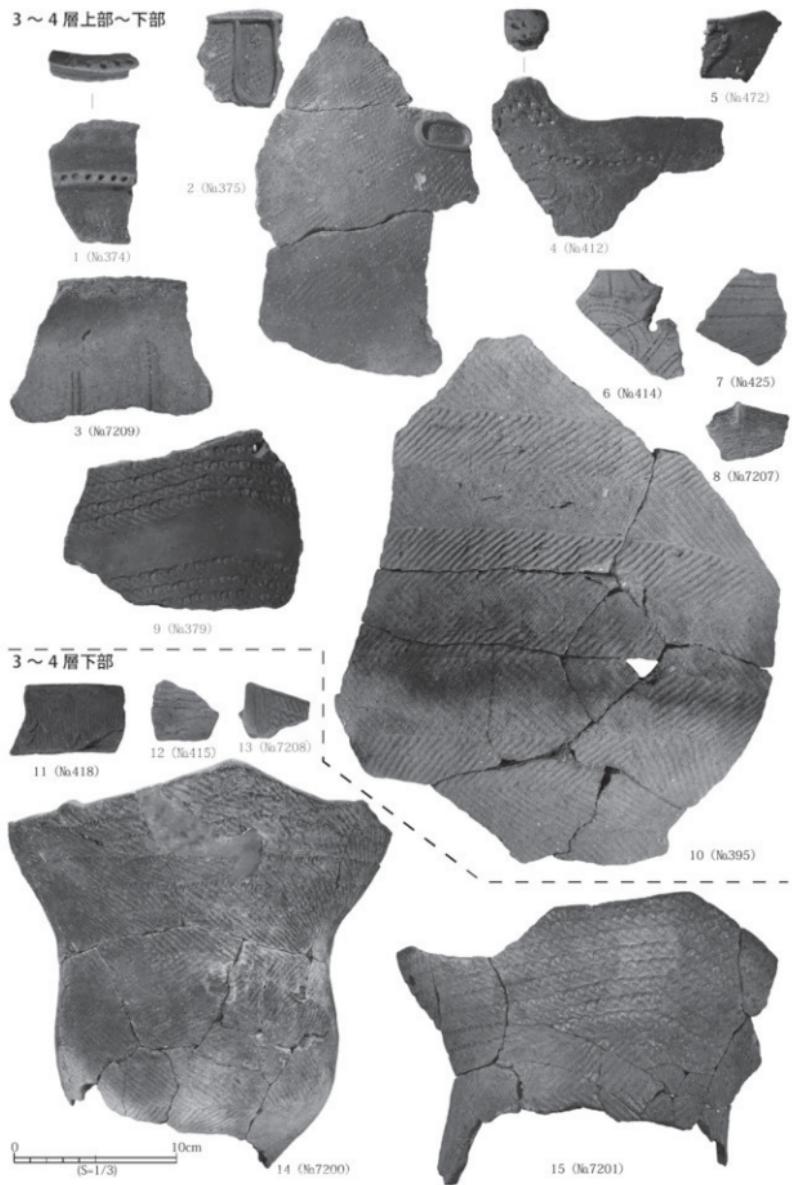
19 (No.323)



20 (No.340)

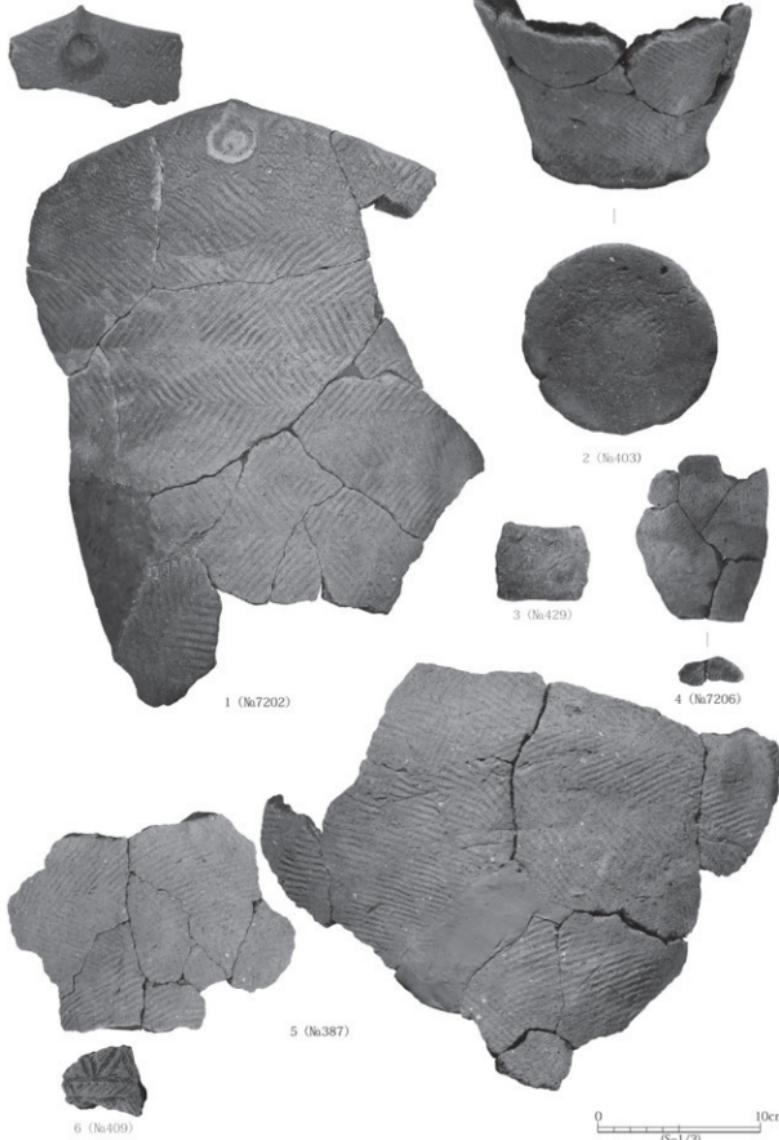
0
10cm
(S=1/3)

図版4-170 SX3 出土土器 (22)



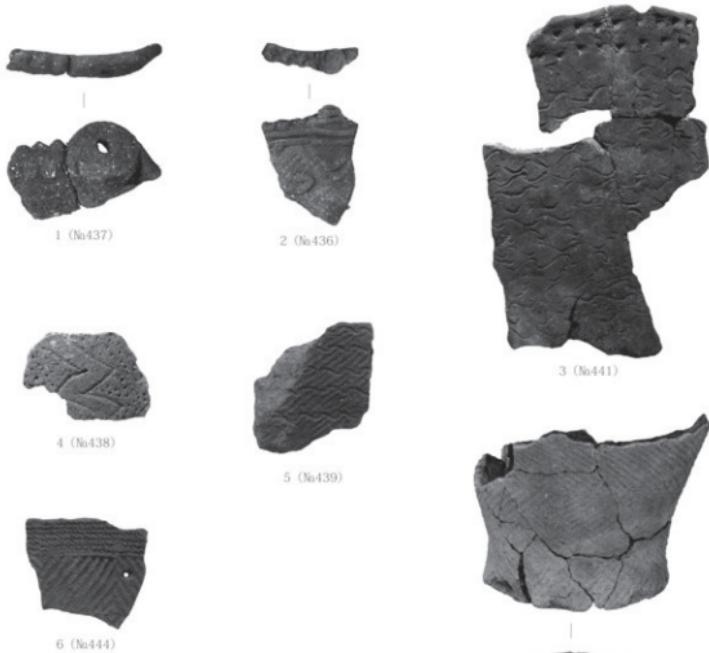
図版4-171 SX3 出土土器 (23)

3～4層下部



図版4-172 SX3 出土土器 (24)

4層

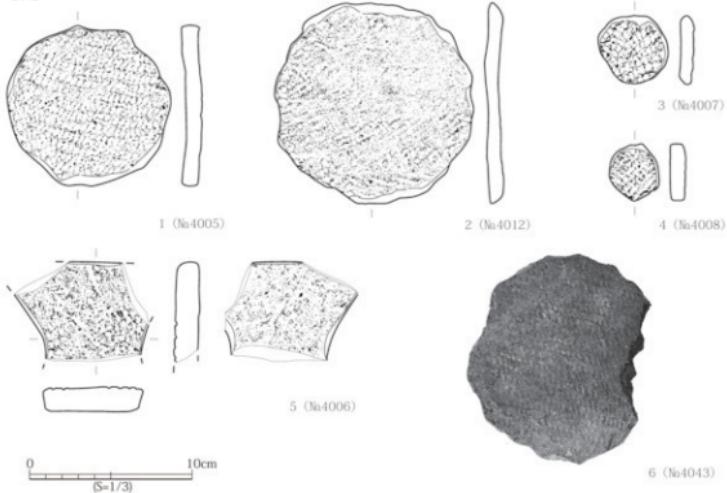


5～6層



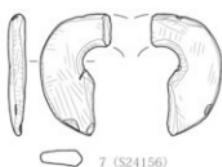
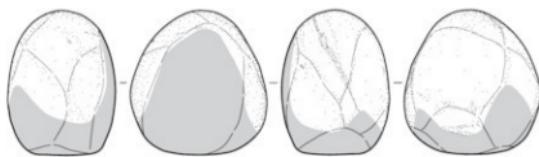
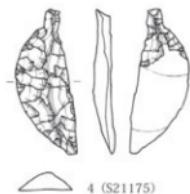
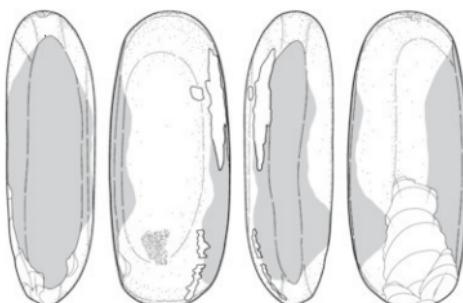
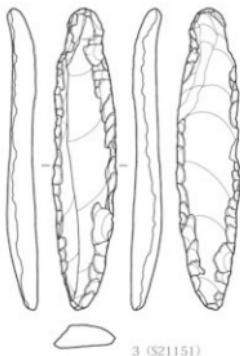
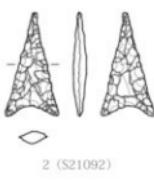
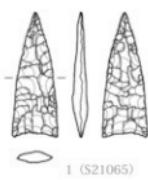
図版4-173 SX3 出土土器 (25)

SX3



図版 4-174 SX3 出土土製品

表土・検出

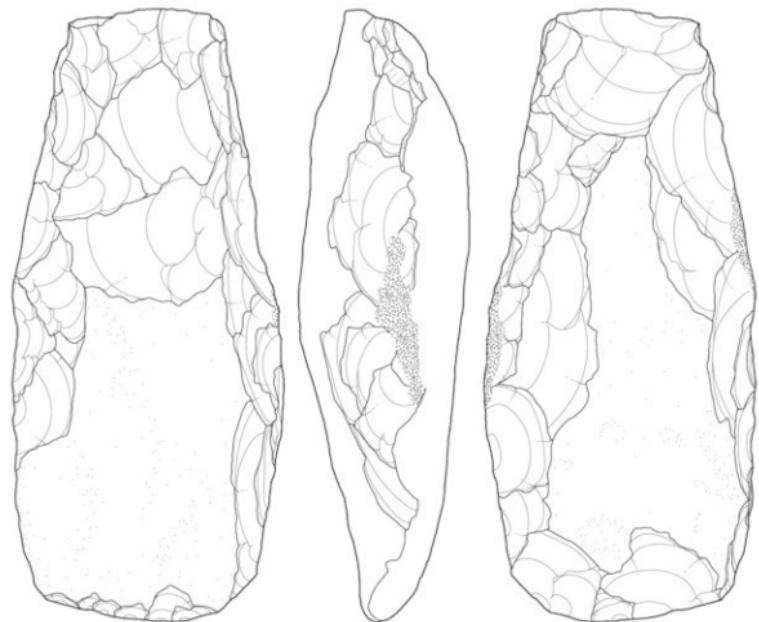
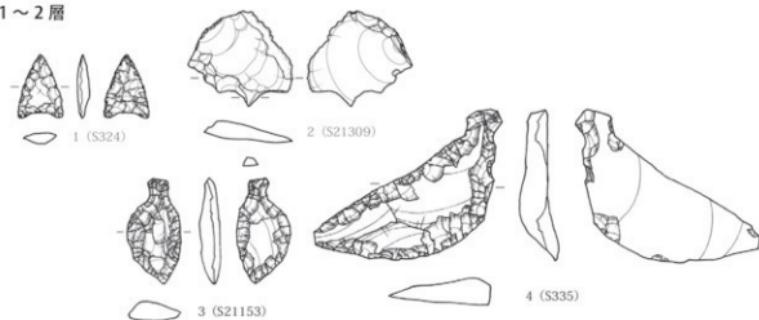


0 5cm
(5, 6:S=1/3)

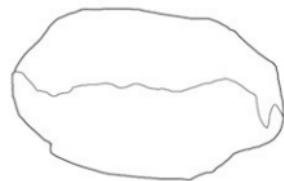
0 5cm
(1~4, 7:S=2/3)

図版 4-175 SX3 出土石器・石製品 (1)

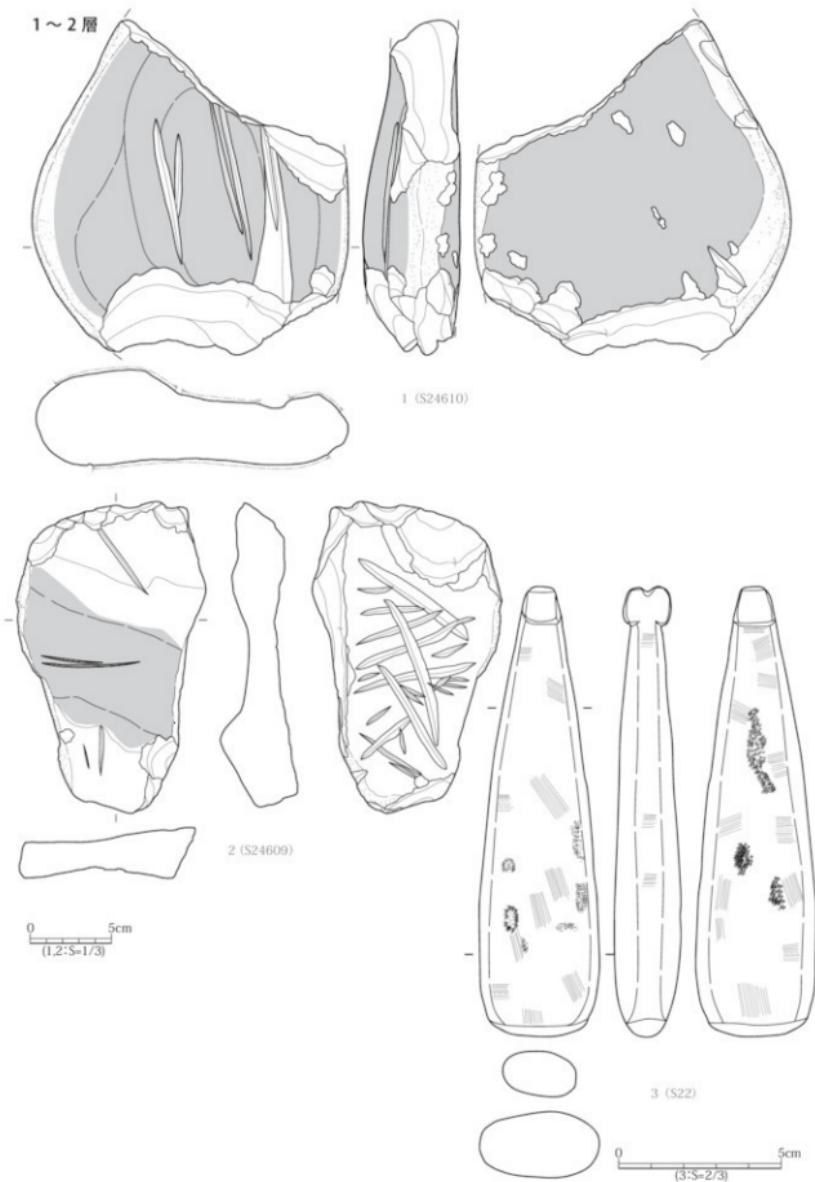
1 ~ 2 層



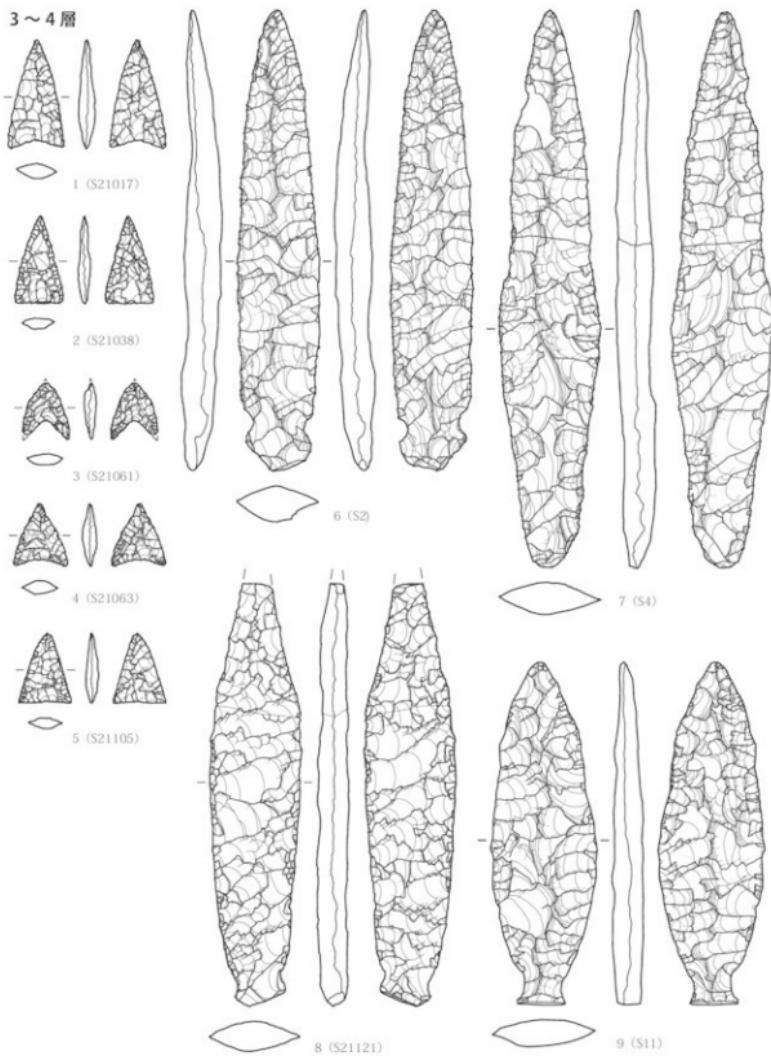
5 (S24139)



図版 4-176 SX3 出土石器・石製品 (2)



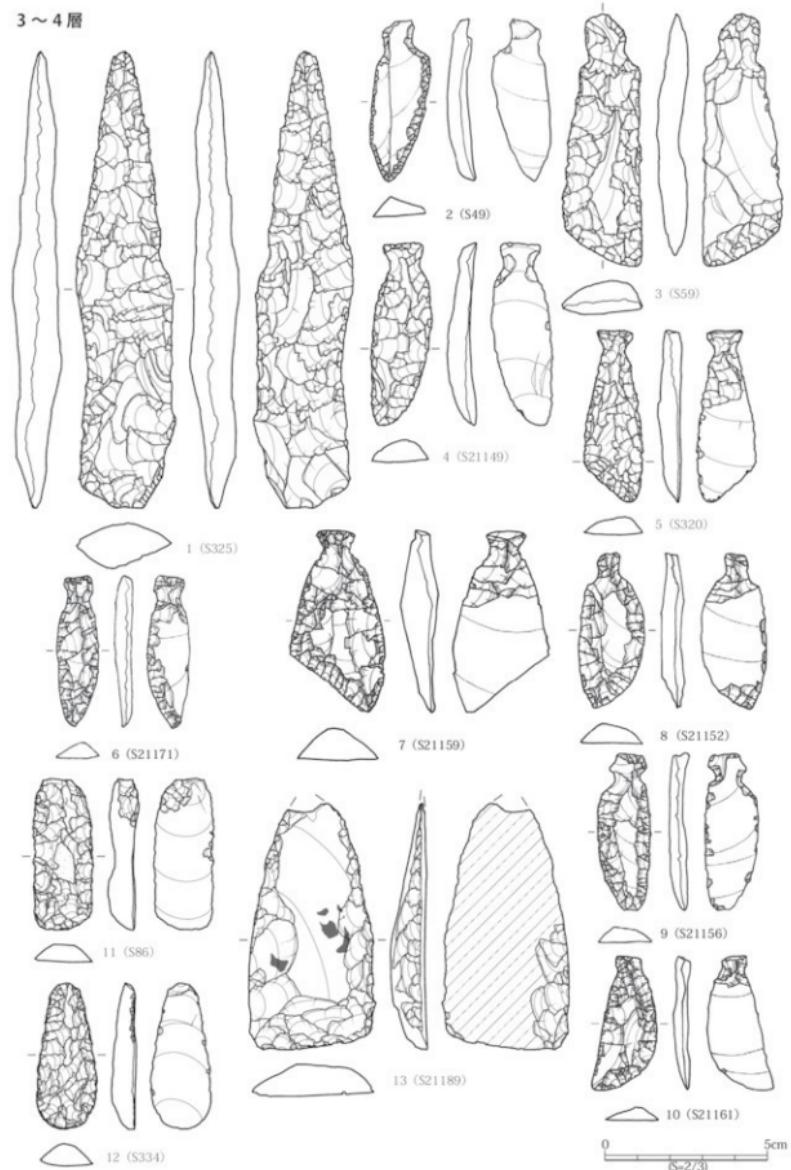
図版 4-177 SX3 出土石器・石製品 (3)



0 5cm
(S=2/3)

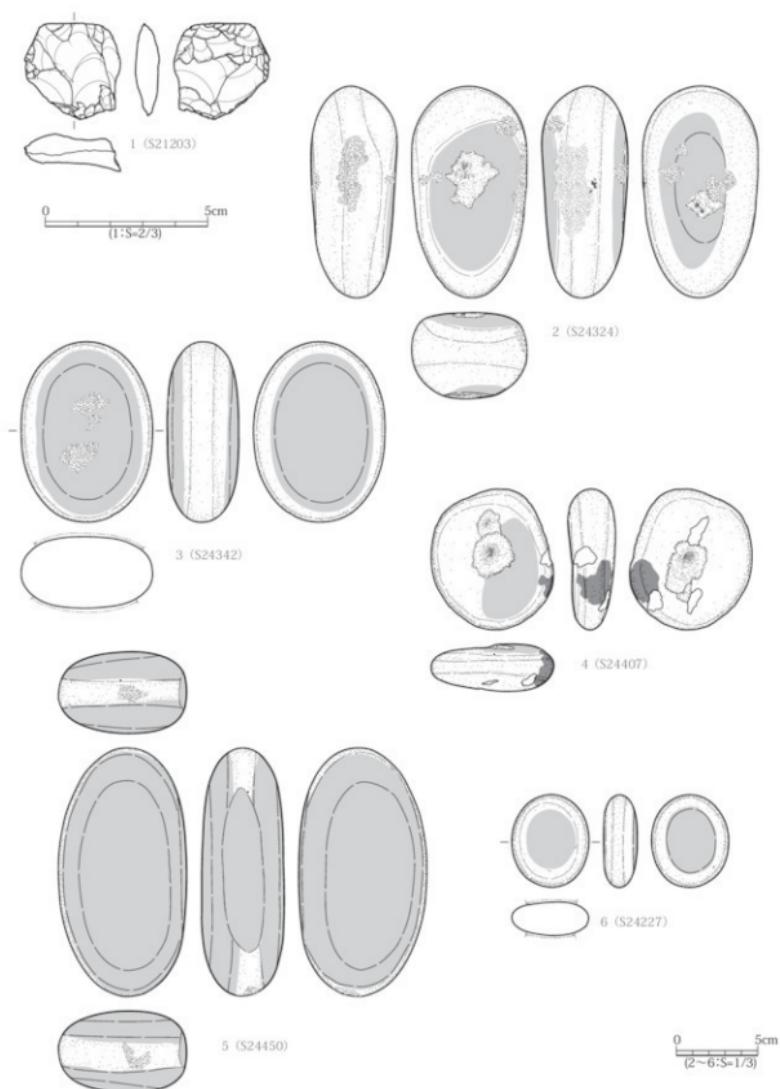
図版 4-178 SX3 出土石器・石製品 (4)

3～4層



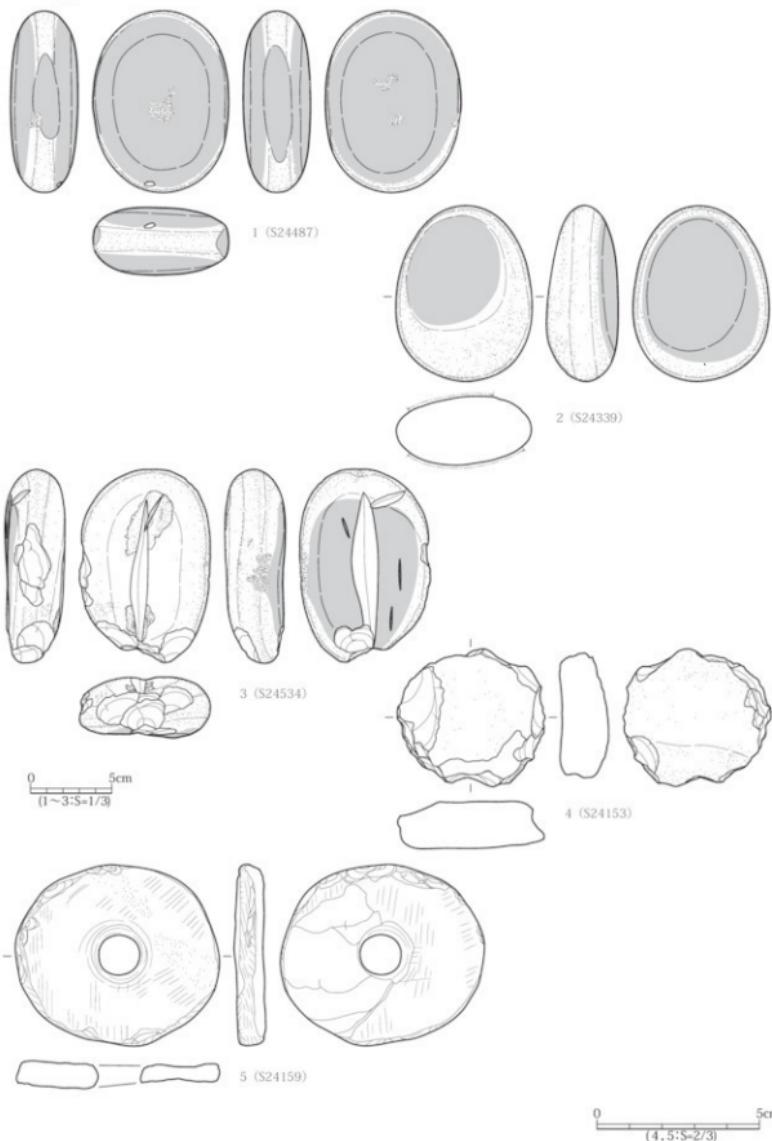
図版 4-179 SX3 出土石器・石製品 (5)

3 ~ 4 層



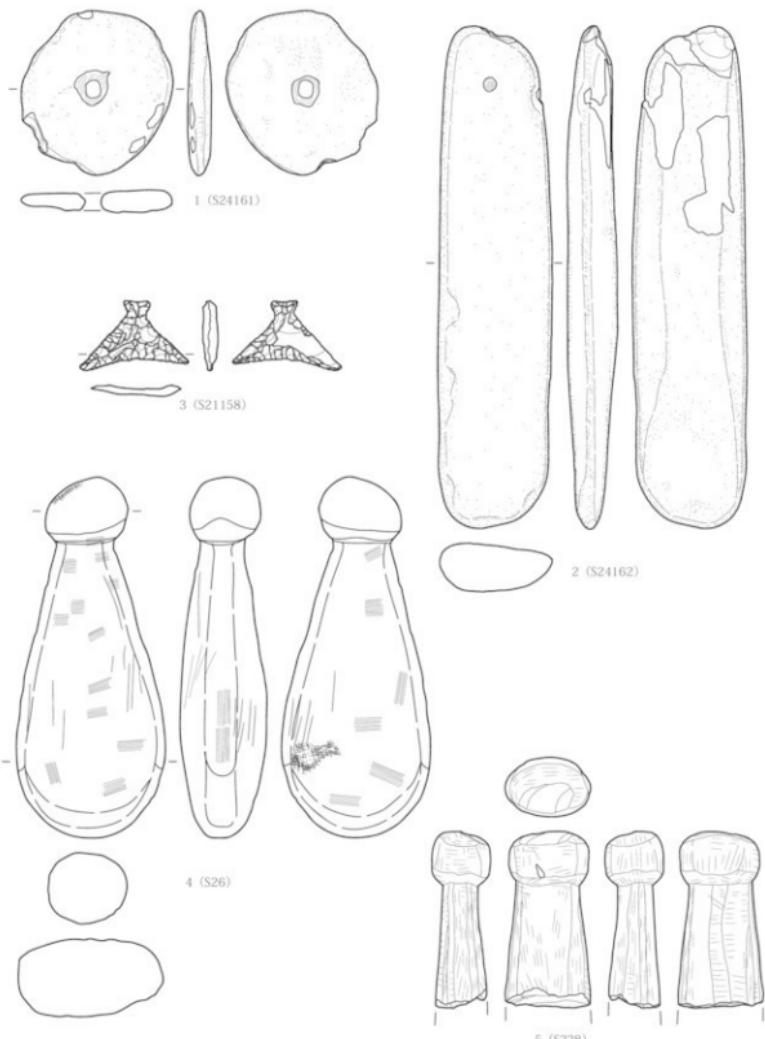
図版 4-180 SX3 出土石器・石製品 (6)

3 ~ 4 層



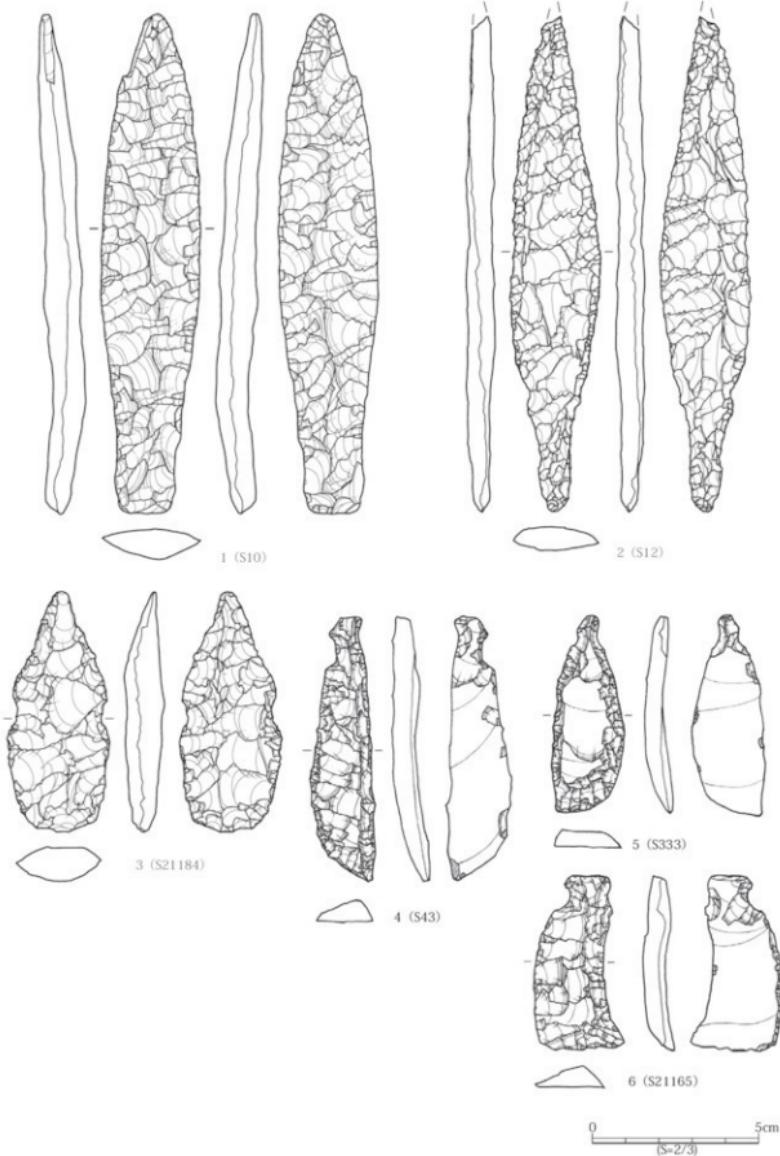
図版 4-181 SX3 出土石器・石製品 (7)

3~4層



図版 4-182 SX3 出土石器・石製品 (8)

5~6層



図版 4-183 SX3 出土石器・石製品 (9)

5~6層



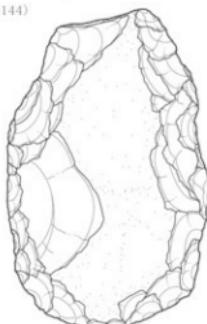
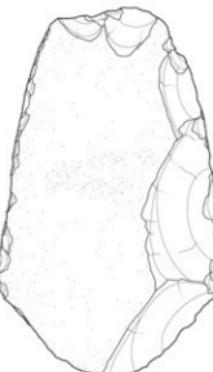
1 (S21192)



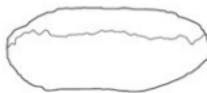
2 (S21186)



3 (S24144)



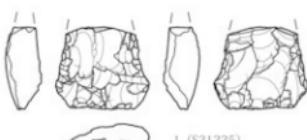
4 (S24141)



(5-2/3)

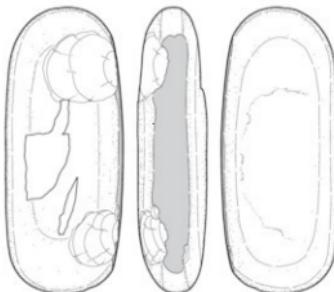
図版 4-184 SX3 出土石器・石製品 (10)

5~6層

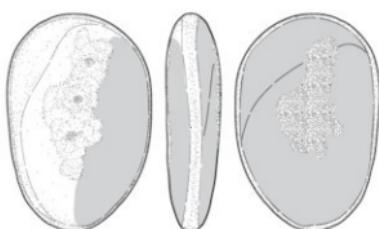


1 (S21225)

0
(1:S=2/3) 5cm



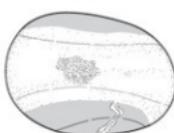
2 (S24297)



3 (S24425)



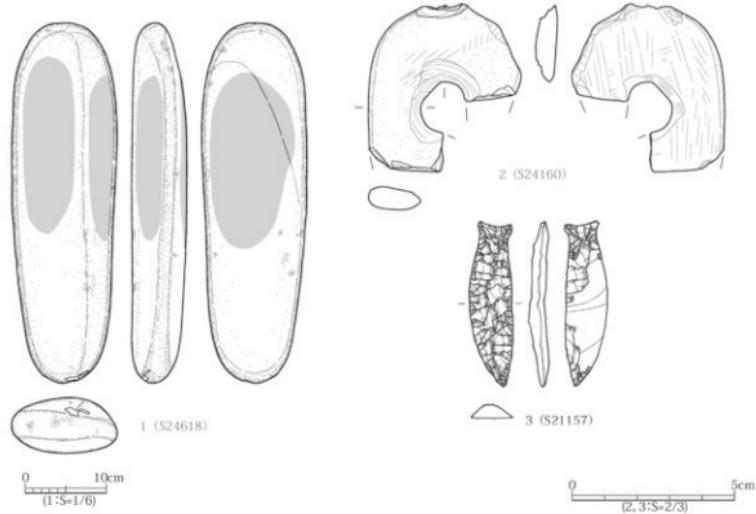
4 (S24625)



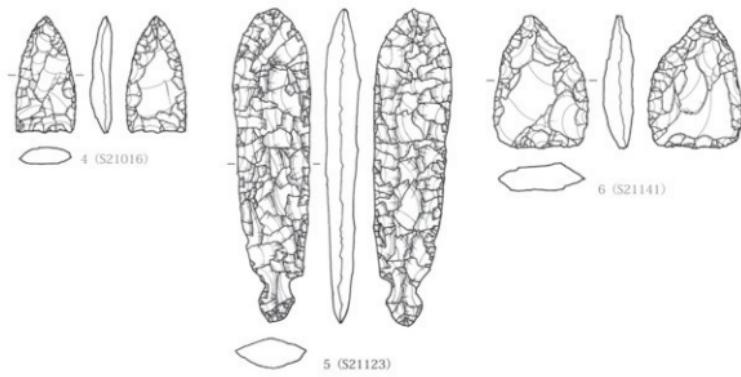
0
(2-4:S=1/3) 5cm

図版 4-185 SX3 出土石器・石製品 (11)

5 ~ 6 層



層不明その他



図版 4-186 SX3 出土石器・石製品 (12)

(SX)出土器観察表

図	登録番	Y'φ'd'	層位	器種類型	装飾類型	部位	形態(法量)	装飾・調整	議題	写真 枚数	
149-1	286	東	表土	深鉢B	V-M C	口縁部	平縁	【外面】 横位斜腹状沈文、斜位知腹横列	109-1		
149-2	293	東	表土	不明	L1	口縁部-底縁	波状縁(上縁、底縁ともらへ型)	【外面】 ナデ	含	109-2	
149-3	314	E-1~4 E-2~3 E-3~3	桃出	深鉢 B3	IX	口縁部	波状縁	【外面】 横位・横位弧状沈文(平底竹背)	109-3		
149-4	242~4~4	242(鉢) SX2(242は SX2 3 個) C-3	桃出	深鉢 B3	IX	口縁部	平縁	【外面】 横位斜腹付文、横位弧状付文+斜突。横系文(Ⅲ)	109-4~5		
149-6	299	東	桃出	深鉢 B	V-I 壁 B	口縁部	平縁+斜腹文	【口部】 波状斜腹付文【外面】 ナデ【内部】 波状斜腹付文	109-6		
149-7	316	E-6~7 E-6~7 E-6~7	桃出	深鉢 B3	V-E B2	口縁部-底縁	平縁	【外面】 斜位・横位斜腹付文、斜位・弧状斜腹付文+斜突、斜行横文(RL)	109-8		
149-8	306	東北	桃出	深鉢 C	V-E B1	口縁部	平縁+斜腹文	【口部】 波状斜腹付文【外面】 横位斜腹付文、斜行横文(丘筋)	109-9		
149-9	317	E~1~3	桃出	深鉢 C	N~V I A1F	口縁部	平縁	【外面】 横位斜腹付文+斜突、横位弧状沈文(平底竹背)、斜行横文(Ⅲ段)(粘土の時代は結構にない可能性あり)	含	109-10	
149-10	294	E-6~7 E-6~7 E-6~7	桃出	深鉢 A2	V~V D1	口縁部-体部	波縁(上縁 16.2 下縁 15.0cm)	【外面】 横位・縱位・山形沈文(平底竹背)、斜行横文(RL)	109-7		
150-1	318	中	桃出	深鉢 A1	V~V I A1a	口縁部	平縁	【外面】 横位斜腹付文+斜突(Ⅲ段)、S字状連續横系文(Ⅰ段)	含	109-12	
150-2	315	E-6~7 E-6~7	桃出	深鉢 A	V~V C	体部	平縁	【外面】 斜位・横位斜沈文、S字状連續横系文(Ⅰ段)	含	109-11	
150-3	341	D-4~6 D-4~6	1~2 層	深鉢	VII~I 壁 B	口縁部	波状縁+斜腹付文 起突	【口部】 波状斜腹付文【外面】 橫位波状斜腹付文、斜行横文(L)	110-1		
150-4	365	C-4	1~2 層	深鉢 B	V~V I M	口縁部	平縁	【外面】 横位(上縁 15cm)	110-2		
150-5	333	C-6	1~2 層	深鉢 B	V~V D2	口縁部	平縁+斜腹文	【口部】 波状斜腹付文【外面】 横位波狀、斜位斜腹付文、斜行横文(LR)	110-3		
150-6	336	C-5	1~2 層	深鉢 A2	V~V D2	口縁部-体部	平縁	【外面】 橫位波狀(平底竹背)、斜行橫文(RL)	110-4		
150-7	334	D-3	1~2 層	深鉢 B	N~V I A1F	口縁部	平縁	【外面】 横位斜腹付文+斜突、横位斜刻溝(Ⅲ段竹背)、斜行横文(RL)	110-5		
150-8	351	E-6	1~2 層	深鉢 B	N~V I A1F	口縁部	波縁(上縁 15cm)	【外面】 横位斜腹付文+斜突、S字状連續横系文(Ⅰ段)	含	110-6	
151-1	330	C-4	1~2 層	深鉢 B2	V~V I C1	口縁部	平縁	【外面】 横位・縱位・山形沈文(平底竹背)、斜行横文(RL)	110-7		
151-2	329	B-5	1~2 層	深鉢 B3	V~V D2	口縁部	波状縁	【外面】 横位斜付文、斜位知腹横列	111-1		
151-3	337~ 356	C-5, E-4	1~2 層	深鉢 B	N~V I A1	口縁部	波状・小斜肚	【外面】 波状斜腹付文+斜突、横位斜腹付文+斜突(Ⅲ段)、S字状連續横系文(Ⅰ段)	含	111-2	
151-4	349	E-6	1~2 層	深鉢 N	V~V I A1	口縁部	波状	【外面】 橫位波狀(平底竹背)、斜位斜腹付文+斜突	111-3		
151-5	325	B-3	1~2 層	深鉢 N	I~II B	口縁部	波状	【外面】 波状斜腹付文+斜突(Ⅲ段)、横位斜刻溝(Ⅲ段竹背)、斜行横文(RL , RL)	含	111-4	
151-6	367	C-4	1~2 層	深鉢 C	J II B	口縁部-体部	波状縁+斜腹付文+斜突(Ⅲ段)、波状斜腹付文+斜突(Ⅲ段竹背)、斜行横文(RL)	【その他】 著	111-5		
152-1	430	H-7	3~4 剥上部	深鉢 A1	N~V I A1B	口縁部-体部	波縁(上縁 15cm)	【外面】 橫位斜腹付文+斜突(Ⅲ段竹背)、横位・斜位斜腹付文+斜突(Ⅲ段)、波状斜腹付文(平底竹背)、斜行横文(RL)	含	111-6	
152-2	308	C-6	3~4 剥上部	深鉢	V~V I D2	口縁部-体部	波状縁	【外面】 橫位斜腹付文+斜突(Ⅲ段竹背)、波状斜腹付文(平底竹背)	含	111-7	
152-3	384	BC-5~1~3 E-5~1~3	3~4 剥上部	深鉢 B2	V~V I A1	口縁部-体部	波状縁(上縁 15cm)	【外面】 橫位斜腹付文+斜突(Ⅲ段竹背)、横位・斜位斜腹付文+斜突(Ⅲ段)、斜行横文(RL)	含	111-8	
153-1	362~ 422	C-5~4 剥上部	下部	深鉢 B3	N~V I C2	口縁部	波状縁	【外面】 斜位・纵位・山形沈文(平底竹背)、斜行横文(RL)	112-1		
153-2	411	D-5	3~4 剥上部	深鉢 B3	N~V I D1	口縁部-体部	波状縁+斜腹付文+斜突(上半)	【外面】 横位・縱位・山形沈文(平底竹背)、S字状連續横系文(Ⅰ段)	含	112-2	
153-3	413	D-6	3~4 剥上部	深鉢 A2	N~V A1a	口縁部-体部	波状縁+斜腹付文+斜突(上半)	【外面】 横位斜腹付文+斜突(Ⅲ段)、波状斜腹付文+斜突(Ⅲ段竹背)、斜行横文(RL)	含	112-3	
153-4	471	C-6	3~4 剥上部	深鉢	N~V I A1f	口縁部	平縁	【外面】 横位斜腹付文+斜突(Ⅲ段)、波状斜腹付文+斜突(Ⅲ段竹背)、斜行横文(RL)	含	112-4	
153-5	350	C-6	3~4 剥上部	深鉢	N~V I D1	口縁部	小斜状	【外面】 横位斜腹付文+斜突(Ⅲ段)、波状斜腹付文(平底竹背)	含	112-5	
154-1	370	E-6	3~4 剥上部	深鉢 C1	N~V A1a	口縁部-体部	波状縁	【外面】 斜位(上縁 24.4cm)、平縁	【その他】 横位斜腹付文+斜突(Ⅲ段)、斜行横文(RL)	含	113-1
154-2	424	E-6	3~4 剥上部	深鉢 A2	N~V A1a	口縁部-体部	波状縁	【外面】 斜位・纵位・山形沈文(平底竹背)、斜行横文(RL)	含	113-2	
154-3	400	C-6	3~4 剥上部	深鉢 B3	N~V A1f	口縁部-体部	波状縁	【外面】 斜位・纵位・山形沈文(平底竹背)、斜行横文(RL)	含	114-1	
154-4	366	D-6	3~4 剥上部	深鉢 A2	N~V A1e	口縁部-体部	波状縁(底底 18cm)	【外面】 斜位(上縁 24.4cm)、平縁	【その他】 斜位斜腹付文+斜突(Ⅲ段)、波状斜腹付文+斜突(Ⅲ段竹背)、斜行横文(RL)	含	114-2
155-1	420	E-6	3~4 剥上部	深鉢 C2	N~V D1	口縁部-体部	波状縁(底底 18cm)	【外面】 斜位(上縁 24.4cm)、平縁	【その他】 斜位斜腹付文+斜突(Ⅲ段)、斜行横文(RL)	含	114-3
155-2	421	E-6	3~4 剥上部	深鉢 A2	N~V I	口縁部-体部	波状縁	【外面】 斜位(上縁 25.0cm)	【その他】 ナデ(口縁)	含	114-4
155-3	470~ 474	C-6	3~4 剥上部	深鉢 B3	N~V I A1f	口縁部-体部	波状縁	【外面】 斜位(上縁 25.0cm)	【その他】 斜位斜腹付文+斜突(Ⅲ段)、波状斜腹付文(平底竹背)、斜行横文(RL)	含	114-5
155-4	396	C-5	3~4 剥上部	深鉢 B	H G	口縁部-体部	波状縁	【外面】 重脛末端ループ文(RL , 左側のみ)、対位斜刻溝(隕端)、非対位斜刻溝(RL)	含	114-6	
155-5	397	C-6	3~4 剥上部	深鉢	I~II G	体部	波状縁	【外面】 斜位斜刻溝、横位コシバズ文(平底竹背)	含	114-7	
155-6	394	C-5	3~4 剥上部	深鉢 C	J II B	口縁部-体部	波状縁+突起(上縁 52cm)	【外面】 重脛末端ループ文(RL)、非対位斜刻溝(RL , RL)	含	114-8	
156-1	123	B-5~6	3~4 剥上部	深鉢 C2	J II J5	口縁部-体部	波状縁+突起(上縁 54cm)	【外面】 非対位斜刻溝(RL)	含	115-2	
156-2	382	BC-5~1~3~4 剥上部	深鉢	J II J6	口縁部	波状縁	【外面】 重脛末端ループ文(RL)、買方通施文	含	115-1		
156-3	399	E-6	3~4 剥上部	深鉢 A2	J II J5	口縁部-体部	波状縁(底底 7cm)	【外面】 並結來羽絞彌文(RL , RL)、【外面】 斜行横文(RL)	含	115-3	
157-1	369	B-5	3~4 剥上部	深鉢 B	J II J7	口縁部-体部	波状縁(底底 7cm)	【外面】 並結來羽絞彌文(RL)、斜行横文(RL)	含	115-4	
157-2	402	D-3	3~4 剥下部	深鉢 B3	VII A1	口縁部-体部	平縁	【外面】 細位・横位斜腹付文+斜突(Ⅲ段)、斜行横文(RL , RL)	含	115-5	
157-3	376	B-3	3~4 剥下部	深鉢 B	V~V D2	口縁部	平縁	【外面】 縱位(口縁)	115-6		
157-4	373	A-3	3~4 剥下部	深鉢 B	V~V E	口縁部	平縁	【外面】 斜位斜腹付文+斜突(Ⅲ段)、斜行横文(RL)	含	116-1	
157-5	423~ 3+6	E-6	3~4 剥下部	深鉢 B	H D	口縁部	平縁	【外面】 斜位斜腹付文+斜突(Ⅲ段)、斜行横文(RL)	含	116-2~3	
158-1	388	C-3	3~4 剥下部	深鉢 C3	H C	口縁部-体部	波状縁(底底 17cm)	【外面】 並結來羽絞彌文(RL)、斜行横文(RL)	含	116-4	
158-2	406	D-4	3~4 剥下部	深鉢 B	H C	口縁部	波状縁(底底 30cm)	【外面】 並結來羽絞彌文(RL , RL)	含	116-6	

図	登録年	Y (m)	解説	基準類型	装飾制限	部位	相應 (法量)	装飾・調整	識別	写真 URL
159-1	393	C-4	3～4層下部	深鉢C3	B-J3c	口縁部～底部 上半	平縫+突起 (推 長18.6cm)	【外観】垂幕末端ループ文 (R), 製方向施文, 并結束羽状綱文 (R, RL)	合	116-5
159-2	407	D-4	3～4層下部	深鉢	B-J3a	全体	波状縫 (幅 約8cm)	【外観】垂幕末端ループ文 (R), 并結束羽状綱文 (R, RL)	合	116-7
159-3	416-2	E-3～4 トレンチ	3～4層下部	深鉢 C3	B-D	口縁部～全体 下半	波状縫	【外観】垂幕末端ループ文 (R), 并結束羽状綱文 (R, RL), 一部横紋	合	117-1 1-2
160-1	372	C-3～4	3～4層下部	深鉢 C3	B-J3b	口縁部～全体 下半	波状縫+突起 (幅13.8cm)	【外観】垂幕末端ループ文 (R), 并結束羽状綱文 (R, RL)	合	117-3
160-2	377	B-4	3～4層下部	深鉢 B2	B-J3b	口縁部～全体 下半	波状縫 (幅 約5cm)	【外観】垂幕末端ループ文 (R), 并結束羽状綱文 (R, RL)	合	117-4
161-1	385	C-3	3～4層下部	深鉢 B3	B-J3b	口縁部～全体 下半	平縫+突起	【外観】垂幕末端ループ文 (R), 并結束羽状綱文 (R, RL)	合	117-5
161-2	389	E-3～4 B-4	3～4層下部	深鉢 B2	B-J3b	口縁部～全体 下半	波状縫 (幅 約42cm)	【外観】垂幕末端ループ文 (R), 絞糸羽状綱文 (R, RL)	合	118-1
162-1	408	D-4	3～4層下部	深鉢 B2	B-J3b	口縁部～全体羽状縫 (幅 約26cm) 下半	【外観】垂幕末端ループ文 (R), 并結束羽状綱文 (R, RL)	合	118-3	
162-2	409	D-4	3～4層下部	深鉢 B2	B-J3b	口縁部～全体羽状縫 (幅 約42cm)	【外観】垂幕末端ループ文 (R), 并結束羽状綱文 (R, RL)	合	118-2	
163-1	2450	D-4	3～4層下部	深鉢 B2	B-J3b	口縁部～全体 下半	波状縫+突起	【外観】垂幕末端ループ文 (R), 并結束羽状綱文 (R, RL)	合	118-4
163-2	417	E-3	3～4層下部	深鉢	I-J3a	底部	平縫	【外観】羽状綱文 (R)	合	119-1
163-3	383	C-2	3～4層下部	深鉢 C3	B-J3b	口縁部	波状縫	【外観】垂幕末端ループ文 (R), 并結束羽状綱文 (R, RL)	合	119-2
163-4	2452	D-4	3～4層下部	深鉢	B-J5	口縁部～全体羽状縫 下半	【外観】并結束羽状綱文 (R, RL), 口縁部のみ開閉あり、幅狭施文	合	119-3	
163-5	419	E-4トレ ンチ	3～4層下部	鉢 A2	B-J1a	口縁部～底部 上半 (幅 約1cm)	波状縫 (幅 約6.9cm)	【外観】羽状綱文 (R) 【底面】網文 (原体不明)	合	119-4
163-6	401	D-3	3～4層下部	深鉢 B	B-J7	口縁部～全体 下半	波状縫+突起 (幅23cm)	【外観】羽状綱文 (R) +斜節 【その他】補修孔	合	119-5
164-1	391	C-4	3～4層下部	深鉢 A2	B-J5	口縁部～全体 下半	平縫 (幅25cm)	【外観】并結束羽状綱文 (R, RL)	合	119-6
164-2	2454	E-4トレ ンチ	3～4層下部	深鉢	I-A1	口縁部	平縫	【外観】横筋付手+斜節, 并結束羽状綱文 (R, RL)	合	119-7
164-3	428	F-4	3～4層下部	深鉢 A2	I-H1a	口縁部～全体 下半	平縫	【外観】横筋付手+斜節, (R), 消音孔・調子孔・電子装置系直糸 文 (R), 并結束羽状綱文 (R, RL)	合	119-8
164-4	446	E-5トレ ンチ	4層	深鉢 C3	N-A1e	口縁部～全体羽状縫 (幅 約1.8cm) 下半	【外観】垂幕末端ループ文 (R), 製方向施文, 并結束羽状綱文 (R, RL)	合	120-2	
165-1	435	C-5	4層	深鉢	B-J3c	口縁部	平縫	【外観】垂幕末端ループ文 (R), 并結束羽状綱文 (R, RL)	合	120-3
165-2	433	B-4	4層	深鉢 C3	B-J3b	口縁部～全体羽状縫 (幅 約32cm) 下半	【外観】垂幕末端ループ文 (R), 并結束羽状綱文 (R, RL)	合	120-3	
165-3	449	D-5	4層	深鉢 B2	B-J2b	口縁部～全体 下半	平縫+突起	【外観】垂幕末端ループ文 (R), 并結束羽状綱文 (R, RL)	合	120-4
165-4	440	D-5	4層	深鉢 B	B-J3b	口縁部～全体 下半	波状縫	【外観】垂幕末端ループ文 (R), 并結束羽状綱文 (R, RL)	合	120-5
166-1	390*	C-4	4層	鉢 D	B-J3b	口縁部～全体羽状縫 (幅 約17.2cm), 上 半	【外観】垂幕末端ループ文 (R), 并結束羽状綱文 (R, RL)	合	121-1	
166-2	371	E-6	4層	深鉢 C3	B-J5	口縁部～全体羽状縫 (幅 約20cm)	【外観】并结束羽状綱文 (R, RL)	【その他】補修孔	合	121-2
166-3	450	D-5	4層	深鉢 B2	B-J5	口縁部～全体羽状縫+突起 (幅 約30cm) 下半	【外観】并结束羽状綱文 (R, RL)	【その他】補修孔	合	121-3
166-4	368	E-5トレ ンチ	4層	鉢 A2	B-J1a	口縁部～底部 (幅 約1cm), 平底 (底径 約12cm)	【外観】羽状綱文 (R) 【部分的に】R 【底面】斜行綱文 (R)	合	121-4	
167-1	431	A-5	4層	深鉢 B2	B-J1a	口縁部～全体羽状縫 (幅 約12cm)	【外観】斜行綱文 (R, RL) 【その他】補修孔	合	121-5	
167-2	445	E-5トレ ンチ	4層	鉢 A2	B-J1a	口縁部～底部 (幅 約1cm), 平底 (底径 約12cm)	【外観】斜行綱文 (R) 【底面】斜行綱文 (R) 【その他】補修孔	合	121-6	
167-3	448	C-2	5～6層	深鉢	I-H1b	口縁部	平縫	【外観】横筋・羽状燃然直糸文 (R), 刻目	合	122-1
167-4	7204	B-2	5～6層	深鉢	I-H1b	体部～平 上半	【外観】羽状・消音装置直糸文 (R), 刻目, 并結束羽状綱文 (R, RL)	合	122-2	
167-5	454	C-2	5～6層	深鉢 B	H-I2	口縁部～全体 下半	平縫	【外観】羽状燃然直糸文 (R), 刻目, 并結束羽状綱文 (R, RL)	合	122-3
167-6	7203	C-4	5～6層	深鉢 B	I-J5	口縁部～全体羽状縫 (幅 約10cm), 上 半	【外観】横筋付文+刻目, 斜行綱文 (R)	合	122-4	
168-1	451	E-5	5～6層	深鉢 B	I-J5	口縁部～全体羽状縫 (幅 約10cm)	【外観】横筋付文 (E) 【外観】施位階条体圧綱文 (E), 横糸文 (E)	合	122-5	
168-2	359	A5トレ ンチ	1～4層	深鉢	V-W4	口縁部	平縫	【外観】横筋付文+刻目, 斜行綱文 (R)	合	122-6
168-3	357	D-5ペル ンチ	1～4層	深鉢	III-B	全体	平縫	【外観】横筋直糸文, 橫筋付文+刻目, 橫位施位直糸文 (一部コント ラス), 横筋直糸文	合	122-7
168-4	361	E-Bトレ ンチ	1～4層	深鉢	I-E	口縁部	小波状縫 (幅12cm)	【外観】横筋 (R), (底面) 【外観】横筋波状直糸文 (脚筋)	合	122-8
168-5	360	A5トレ ンチ	1～4層	深鉢	B-J3c	口縁部	平縫	【外観】垂幕末端ループ文 (R), 製方向施文	合	122-9
168-6	442	E-6～9 トレンチ	3～6層	深鉢 A3	N-A1f	口縁部～全体 下半	波状縫 (幅33cm)	【外観】横筋直糸文+刻目, 橫位施位直糸文, 橫筋第1種羽状綱文 (R, RL)	合	123-1
168-7	447	E-6トレ ンチ	3～6層	深鉢 C3	N-A1d	口縁部～全体羽状縫+把手 (幅15cm)	【外観】横筋・羽状付文+把手, 斜位施位横筋, 弧状施位 (脚筋), 橫位波状直糸文 (一部コントラス, 横筋直糸文)	合	123-2	
168-8	455	W-Bトレ ンチ	層不明	深鉢	I-J-J4	口縁部～全体 下半	平縫	【外観】街面ループ文 (RL) 【その他】補修孔	合	122-10
169-1	477	E-3～5 トレンチ	表土	深鉢	N-A1a	口縁部～底部 上半	平縫 (幅 約25cm), 平底 (底径 約2.2cm)	【外観】横筋波状直糸文 (脚筋), 施位直糸文	合	123-3
169-2	476	地割れ (C128)	深鉢	A-J1a	口縁部～底部 上半	波状縫 (幅 約4cm), 上底 (底)	【外観】斜位直糸文 (R)	合	123-4	
169-3	475	地割れ (C128)	深鉢	N-A1a	口縁部	平縫	【外観】横筋付文+押庄	合	123-5	
169-4	473	地割れ (C128)	深鉢	B-J3b	口縁部	平縫	【外観】垂幕末端ループ文 (R), 并結束羽状綱文 (R, RL)	合	123-6	
170-1	289	E-3～5 トレンチ	表土	深鉢	W-B	口縁部～全体 下半	平縫	【外観】底付文, 斜行綱文 (LR)	-	-
170-2	288	E-3～5 トレンチ	表土	深鉢	V-W-D	口縁部	平縫	【外観】斜行綱文 (底付竹), 刺突文 (円筒竹), 斜行綱文 (L3)	-	-

回	登録年	グリッド	層位	器種 形態	装飾類型	部位	形態 (法華)		装飾・調整	識別	写真 図版
170-3	319	E-1-3-4	検出	深鉢	口縁部-全体	口縁部	小波状縞・把手(内側)・脚付(脚去)・織文(原体不明)・微透孔	【外】脚付文+脚突(脚去)・織文(原体不明)・微透孔			
170-4	300	中	検出	深鉢	口縁部	口縁部	小波状縞(口縁部-全体)	【外】脚付文+脚突(脚去)・織文・燃糸文(RL)			
170-5	311	A-D-5	検出	深鉢	彌~IX-B	口縁部	波状縞・把手	【外】脚付文・脚突(脚去)・織文			
170-6	305	B-7-208	検出	深鉢	V~VIII-B	口縁部	手縞・把手	【脚付】脚付文・外蓋・ナデ			
170-8	307	北東	検出	深鉢	V~VI-A	口縁部-全体	手縞	【外】脚付文+脚突・脚突文・S字状透顯織文(0段)		洋	
170-9	299	北	検出	深鉢	JII-B3b	口縁部	手縞	【外】重透端ループ文(規)・斜行織文(RL)		洋	
170-10	301	北東	検出	深鉢	I-II-J4	全体	手縞	【外】脚付文+脚突(規)		洋	
170-11	205	D-3	1-2層	深鉢	IX	口縁部	波状縞・把手(脚付)・手縞	【脚付】脚付文+朝日(脚去)・【外】脚付文・織文(原体不明)			
170-12	332	C-2	1-2層	深鉢	彌~III-B	口縁部	手縞・把手	【脚付】脚付文・脚突(脚去)・斜行織文(規)			
170-13	338	E-5-ペルト	1-2層	深鉢	V~VIII-B	口縁部	手縞・把手	【脚付】脚付文+脚突・斜行織文(規)			
170-14	344	E-4	1-2層	深鉢	V~VI-A	口縁部-全体	手縞(脚去)	【外】脚付文・脚突・斜行織文(規)・脚付文・斜行織文(規)			
170-15	345	E-6-ドレン	1-2層	深鉢	V~VI-C	口縁部	手縞	【外】脚付文+脚突		洋	
170-16	354	E-4	1-2層	深鉢	V~V-C	口縁部	手縞	【外】脚付文+脚突		洋	
170-17	344	E-6-ドレン	1-2層	深鉢	V~VI-G	口縁部	手縞	【外】脚付文+脚突・斜行織文(規)・S字状透顯織文(0段)		洋	
170-18	355	E-4	1-2層	深鉢	V~VI-G	口縁部	手縞	【外】脚付文		洋	
170-19	323	A-4	1-2層	深鉢	II-G	口縁部	手縞	【外】脚付文・S字状透顯織文(東北)		洋	
170-20	340	D-4	1-2層	深鉢	JIIa	口縁部-全体	手縞・突起	【外】斜行織文(規)・脚付(規)・【その他】補修孔		洋	
171-1	374	AB-5-ペルト	3-4層下	深鉢	V~V-C	口縁部-全体	手縞	【脚付】脚突・斜行(規)・斜行織文(原体不明)			
171-2	375	AB-5-3-ペルト	3-4層下	深鉢	V~V-B	全体	手縞	【外】脚付文(断面三角形)・斜行織文(規)			
171-3	7209	C-5	3-4層下	深鉢	V~V-B	全体	手縞	【外】脚付文(断面・方形)・斜行文(半截竹管)・斜行織文(規)			
171-4	412	D-6	3-4層下	深鉢	N/A	口縁部-全体	手縞	【外】脚付文+脚突・斜行(規)		洋	
171-5	472	C-2	3-4層下	深鉢	N/A	口縁部	手縞	【外】脚付文+脚突(規)・S字状透顯織文(0段)		洋	
171-6	414	D-6	3-4層下	深鉢	N/A	口縁部	手縞	【外】脚付文+脚突・朝日(規)・神引文(半截竹管)・【その他】補修孔		洋	
171-7	425	FJ-5-ドレン	3-4層下	深鉢	III-D	全体	手縞	【外】脚付文(半截竹管)・燃糸文(規)		洋	
171-8	7207	E-6	3-4層下	深鉢	II-B	口縁部	手縞	【外】脚付文・粘附織文		洋	
171-9	379	B-5	3-4層下	深鉢	VII-3c	全体	手縞	【外】重透端ループ文(規)・質方向物文・【その他】補修孔		洋	
171-10	395	E-4	3-4層下	深鉢	VII-15	口部上-下平	手縞	【外】新結束目織文(規)・RL		洋	
171-11	418	E-4	3-4層下	深鉢	IV	口縁部	手縞	【外】脚付文・燃糸文(規)		洋	
171-12	415	E-3-4-ペルト	3-4層下	深鉢	VII-13b	全体下-底部	手縞	【外】脚付文・燃糸文(規)・【その他】内面炭化物付着(年代測定失敗)		洋	
171-13	7206	F-4	3-4層下	深鉢	II-B	口縁部	手縞	【外】脚付文・斜行文(半截竹管)・重透端ループ文(規)・RL		洋	
171-14	7200	C-3-4	3-4層下	深鉢	VII-3b	口縁部-全体	手縞	【外】脚付文+脚突(規)・斜行(規)・RL		洋	
171-15	7201	B-3	3-4層下	深鉢	VII-3b	口縁部-全体	手縞	【外】重透端ループ文(規)・井筋斜引羽根文(規)・RL		洋	
172-1	7202	D-4	3-4層下	深鉢	II-B	口縁部-全体	手縞	【外】脚付文・重透端ループ文(規)・井筋斜引羽根文(規)・RL		洋	
172-2	403	D-3	3-4層下	深鉢	VII-15	口部下-底部	手縞(底径11.2cm)	【外】新結束目羽根文(規)・RL		洋	
172-3	429	G-4	3-4層下	深鉢	VII-17	口部下-底部	手縞(底径不明)	【外】斜行織文(規)・脚付(規)・【その他】内面炭化物付着		洋	
172-4	7206	B-4	3-4層下	深鉢	VII-15	口縫部-底部	手縞	【外】新結束目羽根文(規)・RL		洋	
172-5	387	E-3-4-C-4	3-4層下	深鉢	VII-15	体部	手縞	【外】新結束目羽根文(規)・RL		洋	
172-6	409	D-4	3-4層下	深鉢	II-1	体部	手縞	【外】燃糸文(規)・脚付(規)		洋	
173-1	437	C-6	4層	深鉢	IX	口縁部	手縞	【外】脚付文+脚突(脚去)・織文・斜行織文(規)			
173-2	436	C-6	4層	深鉢	VII-B	口縁部-全体	手縞	【外】脚付文+脚突(脚去)・織文・斜行織文(規)			
173-3	441	E-5	4層	深鉢	N/A	口縁部-全体	手縞	【外】脚付文・S字状透顯織文(0段)		洋	
173-4	438	C-6	4層	深鉢	N/C	全体	手縞	【外】脚付文・脚突文		洋	
173-5	439	D-4	4層	深鉢	II	口縁部	手縞	【外】斜行織文(規)・脚付(規)		洋	
173-6	444	D-5-西	4層	深鉢	VII-3b	全体	手縞	【外】重透端ループ文(規)・井筋斜引羽根文(規)・RL		洋	
173-7	432	B-3	4層	深鉢	VII-15	底部下-底部	手縞(底径12.0cm)	【外】新結束目羽根文(規)・RL		洋	
173-8	452	E-5	5~6層	深鉢	N/A	口縁部-全体	手縞	【外】脚付文+脚突(規)・S字状透顯織文(0段)		洋	
173-9	453	E-5	5~6層	深鉢	N/A	口縁部-全体	手縞	【外】脚付文+脚突(規)・斜行文・斜行織文(規)・RL		洋	
173-10	7204	K-5-ドレン	5~6層	深鉢	II-1	口縁部	手縞	【外】燃糸文(規)・脚付(規)		洋	

(SY3 出土十製品觀察表)

団	登録番号	グリッド	層位	器種	形態(法量)	装飾・調整	識別
174-1	4005	IP	織田	大型円錐底土器	最大 diameter 10.1cm, 厚さ 9.7cm, 深さ 1cm	【表面】側面横溝 (LR) / 【縁部】打ち欠き、崩れ	古
174-2	4016	I-6	3～4層	大型円錐底土器	最大 diameter 12.8cm, 厚さ 12.5cm, 深さ 9.0cm	【表面】側面横溝 (LR) / 【縁部】打ち欠き、崩れ	古
174-3	4007	IP	織田	円錐底土器	最大 diameter 4.5cm, 和 4.2cm, 厚さ 0.8cm	【表面】側面横溝 (LR) / 【縁部】打ち欠き、崩れ	古
174-4	4008	A-4	1～2層	円錐底土器	最大 diameter 3.6cm, 厚さ 3.1cm, 深さ 1cm	【表面】側面横溝 (LR) / 【縁部】打ち欠き、崩れ	古
174-5	4006	A-D-5	織田	板状土器	最大 diameter 8.6cm, 厚さ 6.7cm, 深さ 1.5cm (XRF)	【表面】沈殿による斑状、内部に網目	古
174-6	4013	C-5	1～2層	大型円錐底土器	最大 diameter 12.5cm, 厚さ 10.4cm, 深さ 9.8cm (一部欠損部) / 側面横溝 (LR)	【表面】底部の凹凸不規則、側面横溝 (LR)	古

SX3 出土石器觀察表

國	登録 No.	グリッド 座標	部位	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重量 (g)	被熱	自然面	残存	備考	写真 箇所
175-1	S21065	E4	表土	石器	I b1A	珪化麻耶岩	31.7	13.7	4.4	1.9	0	0	完形		180-1
175-2	S21092	-	表土	石器	I b2A	白羽	31.4	16.3	4.1	1.0	0	0	完形	褐色の付着物	180-1
175-3	S21151	-	樹ぬ	石器	I a5	安山岩	91.6	19.3	9.6	17.4	0	0	ほぼ完形		180-1
175-4	S21175	-	樹ぬ	石器	II a2	碧玉	41.4	20.2	5.6	3.3	0	0	完形		180-3
175-5	S24373	-	樹ぬ	磨石・研石類	I e	玄武岩質安山岩	178.0	72.5	5.7	1070.0	0	1	ほぼ完形		180-5
175-6	S24557	-	表土	磨石・研石類	I a	ハンセンイレ岩	87.7	83.1	6.5	780.0	0	1	完形		180-6
175-7	S24156	-	樹ぬ	研状工具	I d	千羽岩	37.0	(21)0.8	5.0	3.9	0	0	一部欠		180-7
176-1	S324	D6	1~2	石器	I b1A	珪化麻耶岩	19.2	13.5	3.7	0.8	0	0	完形		180-8
176-2	S21309	D3	1~2	石器	B c1	白羽	30.7	26.4	5.7	4.5	0	1	完形		180-9
176-3	S21153	C4	1~2	石器	I b1	珪化麻耶岩	30.9	16.3	6.2	3.0	0	0	完形		180-10
176-4	S335	C6	1~2	石器	II a6	碧玉質白羽	51.2	46.2	7.6	11.8	0	0	ほぼ完形		180-11
176-5	S21319	C4	1~2	打削石斧	2	安山岩	185.0	82.7	48.9	1040.0	0	1	完形	刃部磨滅	180-12
-	S24275	1~2	漆器	B a1	玄武岩質安山岩	11.0	8.4	21.7	27.8	0	1	完形		181-1	
177-1	S26410	D6	1~2	砾石	-	玄武岩質安山岩	(21)0.8	19.0	6.0	2260.0	0	1	一部欠		181-2
177-2	S24609	C2	1~2	砾石	-	細粒安山岩	19.0	11.5	4.4	920.0	0	1	完形	右端(Ⅱ層)からの発見	181-3
177-3	S22	C5	1~2	男刷毛石製品	-	闊葉灰岩	138.7	37.4	20.8	115.8	0	0	完形		181-4
178-1	S21017	D6	3~4	石器	I b1A	珪化麻耶岩	32.6	17.0	5.1	2.3	0	0	完形		182-1
178-2	S21038	D2	3~4	石器	B 2A	珪質白羽	26.6	14.8	3.7	1.2	0	0	完形		182-2
178-3	S21061	B6	3~4	石器	I a1A	珪質白羽	16.9	14.2	3.6	0.7	0	0	一部欠		182-3
178-4	S21063	B6	3~4	石器	I b1A	珪質白羽	18.7	16.3	4.1	0.8	0	0	完形		182-4
178-5	S21105	B4	3~4	石器	B 2A	玉髓	21.1	15.9	3.9	0.9	0	0	完形		182-5
178-6	S2	S6	3~4	尖頭器	B b1	碧玉質白羽	140.3	25.5	11.8	36.0	0	1	完形	先端に縦状の凹	182-6
178-7	S4	N65	3~4	尖頭器	I b5	碧玉質白羽	170.0	31.3	12.1	52.3	0	0	完形		182-7
178-8	21121~ 21125	E6	3~4	尖頭器	B b5	碧玉質白羽	(128)8.7	27.5	9.5	28.8	0	0	一部欠		182-10
178-9	S11	N25	3~4	尖頭器	B a1	白羽	104.0	32.3	9.6	28.4	0	0	完形		182-9
179-1	S325	C5	3~4	尖頭器	III g6~V1	珪質白羽	140.1	29.3	14.3	20.8	0	0	完形		182-8
179-2	S49	D5	3~4	石器	II a6	碧玉質白羽	43.2	16.6	7.6	5.0	0	0	完形		182-11
179-3	S59	No.46	3~4	石器	I b3	珪化麻耶岩	77.8	24.9	10.8	18.0	0	1	完形		182-12
179-4	S21149	D4	3~4	石器	I a2	珪化麻耶岩	55.6	17.6	6.9	6.7	0	0	完形		182-14
179-5	S320	D4	3~4	石器	I b3	珪質白羽	52.7	18.2	7.0	6.1	0	0	完形		182-15
179-6	S21171	D6	3~4	石器	I a4	珪質白羽	45.7	12.5	5.4	3.1	0	0	完形		183-3
179-7	S21159	D5	3~4	石器	I c2	碧玉質白羽	53.7	29.8	10.7	12.0	0	0	完形		183-1
179-8	G4	3~4	石器	I a2	碧玉質白羽	47.0	19.4	6.4	5.6	0	0	完形		182-15	
179-9	S21156	C4	3~4	石器	I a5	碧玉質白羽	47.1	15.5	3.9	3.7	0	0	完形	刃部磨滅	182-16
179-10	S21161	D4	3~4	石器	III a2	碧玉質白羽	40.6	20.9	3.0	2.6	0	0	完形	刃部磨滅	182-2
179-11	S80	B4	3~4	隕状石器	I b2	碧玉質白羽	46.5	19.3	8.3	8.3	0	1	完形		183-3
179-12	S334	D5	3~4	隕状石器	I a	碧玉質白羽	44.8	18.5	7.3	5.8	0	1	完形		183-5
179-13	S21189	D4	3~4	隕状石器	I a	碧玉質白羽	74.2	38.9	21.1	33.3	0	0	完形		183-6
180-1	S21203	G7	3~4	隕状石器	I a	珪化麻耶岩	28.8	29.5	9.0	8.3	0	0	完形		183-7
180-2	S23242	A9	3~4	隕状石器	I a2	碧玉質白羽	47.0	19.4	6.4	5.6	0	0	完形		183-11
180-3	S24342	D5	3~4	隕状石器	I c	碧玉質白羽	110.6	80.6	42.4	605.0	0	1	完形		183-9
180-4	S24407	D6	3~4	隕状石器	I c	碧玉質白羽	86.3	72.4	28.5	213.2	1	1	完形		183-12
180-5	S24450	C5	3~4	隕状石器	II b	玄武岩質安山岩	151.0	77.9	49.9	960.0	0	1	完形		183-14
180-6	S24227	D6	3~4	隕状石器	III b	碧玉質白羽	56.6	47.3	20.7	81.2	0	1	完形		183-8
181-1	S24487	B3	3~4	隕状石器	I a	玄武岩質安山岩	110.9	82.8	41.3	586.5	0	1	完形		183-13
181-2	S24339	P670	3~4	隕状石器	II a	碧玉質白羽	108.0	83.2	43.6	245.0	0	1	完形		183-10
181-3	S24354	I9	3~4	隕状石器	-	細粒安山岩	118.8	77.9	36.0	434.5	0	1	ほぼ完形	刃部からの発見	183-15
181-4	S24153	B3	3~4	隕状石器	1	隕状石器	45.0	41.8	14.9	36.8	0	1	完形		183-16
181-5	S24153	E6	3~4	隕状石器	-	未確認	63.1	55.9	8.1	34.9	0	0	完形		183-17
182-1	S24161	C4	3~4	有孔石器	-	千羽岩	50.2	43.7	7.2	17.0	0	0	完形		184-1
182-2	S24162	J5	3~4	△状石器	-	粘板岩	15.0	37.9	15.3	125.1	0	0	完形		184-2
182-3	S21158	G4	3~4	圓形石器	-	メノウ	20.9	33.3	4.4	1.7	0	0	完形		184-5
182-4	S26	C5	3~4	男刷毛石器	-	珪質白羽	111.0	46.3	26.9	139.3	1	0	完形		184-3
182-5	S328	-	3~4	男刷毛石器	-	ホルンフェルス	(53)8.0	26.0	18.2	27.0	0	0	破片		184-4
183-1	S10	5~6	尖頭器	B b1	碧玉質白羽	147.7	29.6	13.0	46.8	0	0	完形	先端に縦状の凹	184-7	
183-2	S12	5~6	尖頭器	I a1	珪質白羽	148.5	26.8	8.8	28.4	0	0	完形	先端部に衝撃的凹	184-6	
183-3	S21184	5~6	尖頭器	III a1	碧玉質白羽	72.2	30.3	12.3	23.8	0	0	完形		184-6	
183-4	S43	C4	5~6	石器	I b3	碧玉質白羽	78.8	19.4	8.7	11.5	1	0	完形		185-2
183-5	S33	I7	5~6	石器	I b5	白羽	57.6	21.5	5.2	7.6	0	0	完形		185-1
183-6	S21165	B2	5~6	石器	I d4	碧玉質白羽	52.3	26.3	7.8	9.0	0	0	完形		185-3
184-1	S21192	G6	5~6	隕状石器	I b1	碧玉	62.7	41.7	18.4	47.7	0	1	完形		185-4
184-2	S21186	C2	5~6	隕状石器	I b1	珪化麻耶岩	82.0	48.4	23.0	88.8	1	0	完形		185-5
184-3	S24144	D7	5~6	打削石斧	II 2	南羽	112.4	66.9	36.2	313.5	1	0	完形	刃部磨滅	185-7
184-4	S24141	H7	5~6	打削石斧	I a3	安山岩	98.2	62.4	25.0	219.1	0	1	完形		185-6
185-1	S21225	B2	5~6	隕状石器	II a	珪質白羽	(28)5.0	25.5	8.4	6.7	0	0	一部欠		185-8
185-2	S24297	D4	5~6	隕状石器	II b	碧玉質白羽	175.0	72.3	41.3	850.0	0	1	ほぼ完形		185-9
185-3	S24425	D5	5~6	隕状石器	II b	玄武岩質安山岩	133.9	88.2	33.1	500.0	0	1	完形		185-10
185-4	S24625	D1	5~6	隕状石器	IV b	玄武岩質安山岩	28.0	104.4	74.2	3210.0	0	1	完形		186-1
186-1	S24618	H7	5~6	石器	I b	玄武岩質安山岩	44.0	125.1	64.1	6000.0	0	1	完形		186-2
186-2	S24160	-	5~6	隕状石器	未確認	千羽岩	51.4	46.3	7.1	14.7	0	0	一部欠		186-3
186-3	S21157	H7	5~6	圓形石器	-	碧玉質白羽	49.4	12.8	3.9	2.6	0	0	完形		186-4
186-4	S21016	E6	不明	石器	II 1B	珪化麻耶岩	35.8	18.1	6.2	4.4	0	0	完形		186-5
186-5	S21123	不明	不明	天板器	B b2	碧玉質白羽	96.3	22.8	9.8	22.4	0	0	完形	多段削表面変化	186-6
186-6	S21141	不明	不明	天板器	IV 1	玉髓	41.0	28.9	9.0	10.6	0	0	完形		186-6

【SX4 遺物包含層】

(1) 堆積状況と分布範囲

7・9 区の丘陵南西部の南斜面に位置し、南から北に向かって入る浅い谷地形に形成されている（図版 4-187）。遺物包含層は 5 層に大別されるが、遺物を含むのは主に 1～4 層で、5 層は上部から少量出土するのみのため、基本的には包含層形成前の旧表土（基本層 III 層）と考えられる。6 層は地山漸移層である。

中央に東西方向の造成による段があり、段より下方では上層の 1～3 層が大きく削平され、谷筋に近い部分に下層堆積土が残存する。幅 39 m、奥行きは 27 m 以上で、南側は調査区外に及んでいる。段の周辺の 4 か所で立木による擾乱を受けている。なお、SX4 では遺物出土地点の記録は行なっていない。

[1 層]

36 × 10m の広い範囲に最大 60cm の厚さで分布する黒色土層で、炭化物・地山礫を含む。a・b の上下に細分され下層の 1b 層では、地山礫が多くなる。層中から土器埋設炉（SL19・20・22）が検出されている。

[2 層]

包含層中央部の 23 × 11m の範囲に最大 40cm の厚さで分布する層で、分布の東半部では下面が落ち込むか所がある。焼土粒・炭化物粒を含み径 5～10mm の地山礫を多く含む土層で、色調により a・b の上下に細分され、2a 層は極暗褐色、2b 層は黒褐色を呈する。本包含層において最も遺物の含有量が多い。また、丘陵頂部に分布する住居跡・柱穴群の埋土と特徴が似ておりこれらの機能時に形成された包含層とみられる。

[3 層]

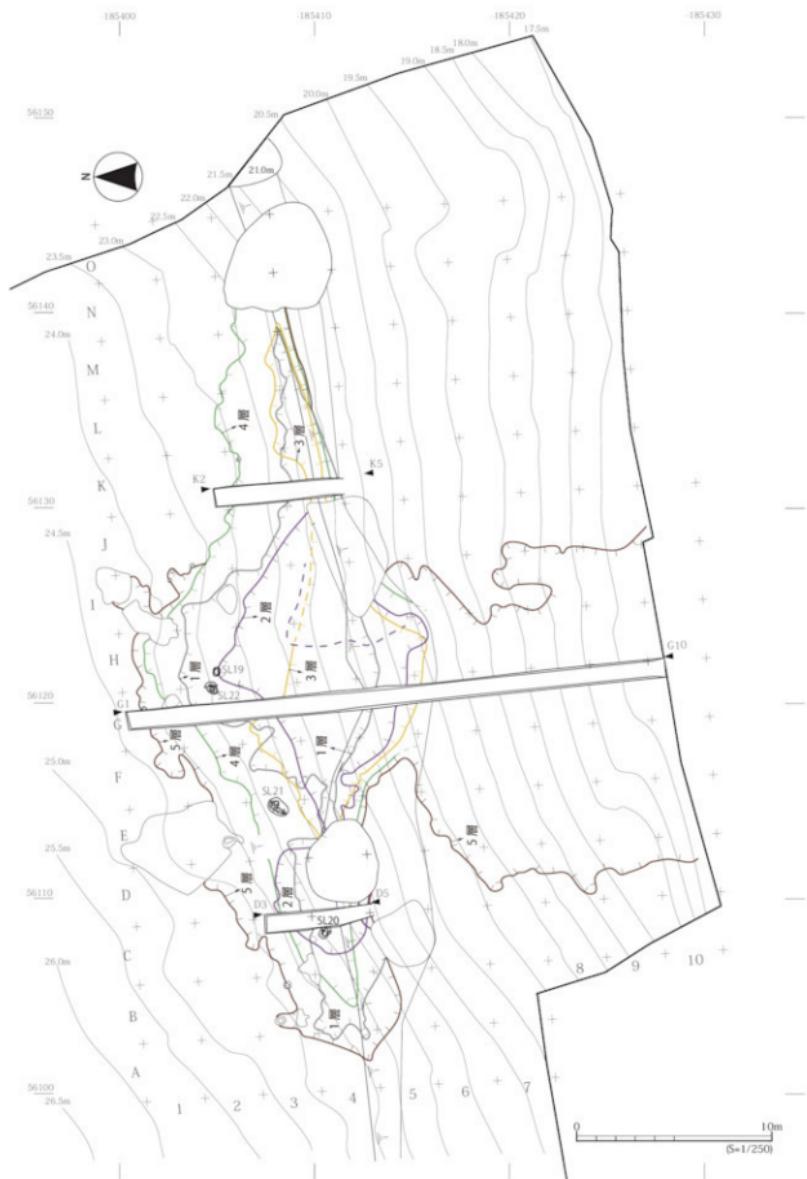
遺物包含層の中央部～東側の 27 × 9m の範囲に、5cm ほどの厚さで分布する。火山灰ブロック主体の灰黄褐色で火山灰の二次堆積層と考えられる。層中に遺物を含む。

[4 層]

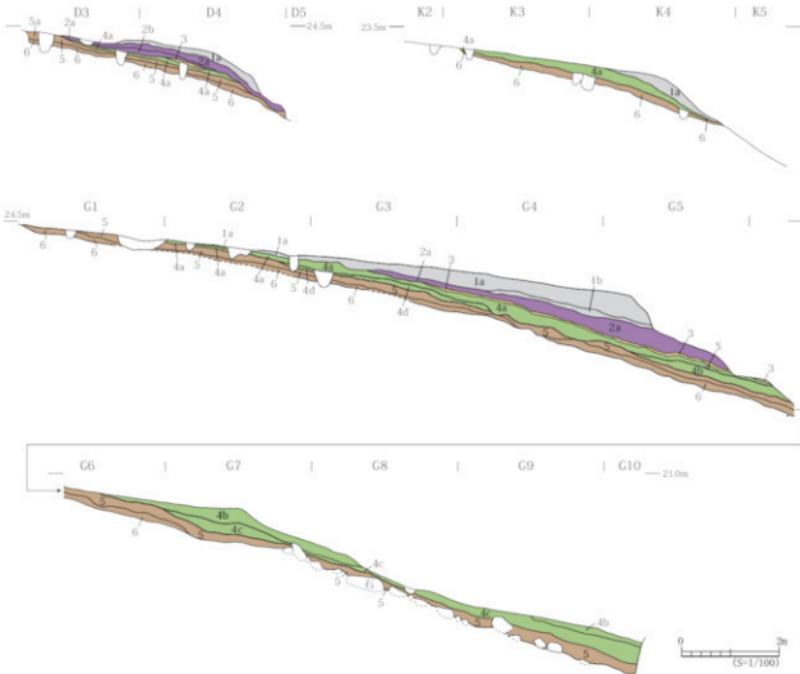
36 × 25m の広い範囲に最大 60cm の厚さで分布し、南側は調査区外に及ぶ。焼土粒・炭化物粒・地山礫を含む黒褐色土である。含有物の多寡により 4 層に細分される。4c・4d 層では地山礫がやや少くなり遺物の量が減少し、4c 層では遺物をほとんど含まない。

[5・6 層]

包含層範囲全体に分布する。上部の 5 層は焼土粒・炭化粒・地山礫を少量含む黒褐土で、上半部に遺物を若干含む。下部の 6 層は地山漸移層である。



図版 4-187 SX4 遺物包含層平面図



層	土色	土質	見人物性		性質
			地盤・炭化物類を含む・縦・径 2 ~ 5mm の風化礫を多く含む	地盤・炭化物類の含有量が増す	
1a	黒 (10YR2/1)	シルト	地盤・炭化物類を含む・縦・径 2 ~ 5mm の風化礫を多く含む		
1b	黒 (10YR2/1)	シルト	地盤・炭化物類の含有量が増す		
2a	褐色褐沢 (7.5YR2/3)	シルト	地盤・炭化物類を含む・縦・径 2 ~ 5mm の風化礫を多く含む	地盤・炭化物類を含む・縦・径 5 ~ 10mm の風化礫を多く含む	
2b	黒褐 (10YR2/3)	シルト	地盤・炭化物類を含む・縦・径 2 ~ 5mm の風化礫を多く含む	地盤・炭化物類を含む・縦・径 5 ~ 10mm の風化礫を多く含む	
3	灰黃褐 (10YR2/2)	シルト	地盤・ブロック (10YR5/3) に沿う・淡褐色・土体・堅		火山灰・二次堆積
4a	黒褐 (10YR2/2)	シルト	地盤・炭化物類を含む・縦・径 10mm 程の風化礫多く含む		
4b	黒褐 (7.5YR3/1)	シルト	地盤・炭化物類を少量含む・縦・径 10mm 程の風化礫多く含む		
4c	黒褐 (10YR2/3)	シルト	地盤・炭化物類を少量含む・縦・径 5mm 程の風化礫を含むが地盤より含有量が少なめ		
4d	黒褐 (7.5YR2/2)	シルト	地盤・炭化物類を少量含む・縦・径 4mm 程の風化礫を含むが地盤より含有量が少なめ		
5	黒褐 (7.5YR3/2)	シルト	地盤・炭化物類を少量含む・縦・径 5 ~ 10mm の粗粒風化礫を含むが地盤より含有量が少なめ		旧表土
6	褐 (7.5YR4/4)	シルト	地盤・炭化物類を含む・縦・径 5mm 程の風化礫を含むが地盤より含有量が少なめ		薄砂層
7	褐褐・褐 (7.5YR5/6) ~ 7.5YR4/6	シルト	地盤・風化礫混じり (部分的に砂質シルト層が認められる)		地山

図版 4-188 SX 遺物包含層断面図

(2) SX4 出土土器

〔表土・検出〕(図版 4-189、図版 4-195、写真図版 124)

検討対象土器は 137 点で、5 点を掲載した。図版 4-189-1 は、体部上半に加飾のない貼付文と刻目のある貼付文が連携して展開する。図版 4-189-2 は、半截竹管による押引きで頸部が横位に区画され、口縁部に縦位鋸歯状文が施される。図版 4-189-3 は、体部が膨らみ、頸部でくびれ、口縁部が外反する深鉢で、口縁部を中心に半截竹管の横位・縦位の刺突列と鋸歯状沈線文が施される。

〔1 層〕(図版 4-189 ~ 4-190、図版 4-195、写真図版 124 ~ 125)

検討対象土器は 202 点で、14 点を掲載した。いくつか特徴の異なる土器群が出土している。図版 4-189-4 ~ 6、4-190-1 ~ 3 は、加飾のある貼付文、半截竹管等の沈線文、刺突文などが施される。図版 4-195-4 ~ 7 は、隆線文、沈線文、刺突文が施され、縄文はこれらの区画内に見られる。図版 4-195-9 は口唇部が鋸歯状になり、頸部に刺突を加えられた貼付文がめぐる。類似する横位貼付文が図版 4-195-8 にも見られる。

〔2 層〕(図版 4-190 ~ 4-192、図版 4-195、写真図版 125 ~ 126)

検討対象土器は 202 点で、18 点を掲載した。

図版 4-190-4、5 は加飾のない貼付文を主とする土器で、4 は口唇部が鋸歯状になり、体部上位に鋸歯状の貼付文が施される。5 は波状など曲線的な貼付文が施される。

図版 4-191-1 ~ 7 は、加飾のある貼付文や半截竹管の沈線文、押引文等による文様が施される土器である。図版 4-191-8、9 にも加飾のある貼付文が用いられる。他に、図版 4-192-1 は、棒状工具の沈線に刺突を加えるもの、図版 4-192-2 は横位刺突列が口縁部にめぐる。

〔3 層〕(図版 4-192 ~ 図版 4-193、図版 4-195 ~ 4-196、写真図版 127)

検討対象土器は 170 点で、13 点を掲載した。図版 4-192-3 ~ 5、4-193-1 ~ 6 は、口縁部を中心には加飾のある貼付文、棒状工具の沈線文、刺突列等を単独または組み合わせた文様が展開する。

〔4 層〕(図版 4-194、図版 4-196、写真図版 128)

検討対象土器は 214 点で、11 点を掲載した。図版 4-194-1 は、沈線文の区画内に撚糸文が施される。口縁部に弧状の隆線が加えられる。他に、粘土紐貼付文(図版 4-196-2 等)、沈線文(図版 4-194-2 等)、刺突文(図版 4-194-3 等)、撚糸圧痕文(図版 4-194-4 等)など、多様な文様の土器が出土している。

〔その他〕(図版 4-194、図版 4-196、写真図版 128)

上記以外に、SX4 出土で出土層を詳細に捉えられない土器を補足資料として 10 点掲載した。1 ~ 4 層、2 ~ 3 層、2 ~ 4 層、3 ~ 4 層、4 ~ 5 層、5 ~ 6 層、層不明の土器がある。

(3) SX4 出土土製品(図版 4-196、写真図版 128)

土製品と見られる 1 点を掲載した。図版 4-196-17 は、1 層から出土した板状土偶の一部と見られる無文の破片である。

(4) SX4 出土石器・石製品

SX4 では、石器・石製品が 1669 点出土している。器種別の点数は、石鏹 63 点、尖頭器 19 点、石錐 3 点、石匙 18 点、鎧状石器 7 点、打製石斧 13 点、礫器 1 点、磨製石斧 2 点、板状石器 6 点、楔形石器 4 点、不定形石器 55 点、磨石・敲石類 269 点、砥石 6 点、石皿・台石類 70 点、剥片 1063 点、石核 27 点、円盤状石製品 1 点、石錐 1 点、块状耳飾 6 点、扁平円形状石製品 10 点、ヘラ状石製品 1 点、石棒・石劍類 21 点、岩偶 1 点、石器模造品 1 点である。

〔表土・検出〕(写真図版 187)

表土・検出からは 108 点出土し、石鏹 8 点、尖頭器 2 点、鎧状石器 1 点、礫器 1 点、磨製石斧 1 点、不定形石器 1 点、磨石・敲石類 39 点、石皿・台石類 20 点、剥片 30 点、石棒・石劍類 5 点である。

石鏹は、基部の形態が凹基で抉りが深いもの(写真図版 187-1)と浅いものが主体的にみられる。

〔1 層〕(図版 4-197 ~ 4-198、写真図版 187)

1 層からは 348 点出土し、石鏹 6 点、尖頭器 2 点、石錐 1 点、石匙 2 点、鎧状石器 2 点、打製石斧 2 点、板状石器 2 点、楔形石器 2 点、不定形石器 13 点、磨石・敲石類 64 点、砥石 1 点、石皿 13 点、剥片 213 点、石核 10 点、円盤状石製品 1 点、扁平円形状石製品 4 点、石棒・石劍類 9 点、石器模造品 1 点である。

図版 4-197-1 の石匙は、つまみ部に対して先端部が斜方向に長いものである。鎧状石器は、左右対称で刃部がやや開くものと全体の形状が楕円形を呈するもの(図版 4-197-2)がある。楔形石器は、対になる 2 辺 1 組に両極剥離痕がみられるもの(図版 4-197-3)である。不定形石器は、剥片等の縁辺に二次加工を施すものが主体を占めており、図版 4-197-4 と図版 4-197-5 はともに縁辺の大半に連続的な二次加工を施すものである。磨石・敲石類は、円礫・楕円礫を素材とし、磨面や敲打痕、凹痕、剥落痕を複合的に持つもの(図版 4-197-6、7、図版 4-198-1)が主体を占めている。図版 4-198-2 の石器模造品は、尖頭部をもち、先端が薄く扁平なもので、全面的に研磨による丁寧な調整がなされている。基部の形態は、浅い抉りが入れられており、2 個の逆刺が作出されている。尖頭器の模造品と考えられる。

〔2 層〕(図版 4-198 ~ 4-199、写真図版 187 ~ 188)

2 層からは 594 点出土し、石鏹 23 点、尖頭器 4 点、石錐 2 点、石匙 4 点、鎧状石器 2 点、磨製石斧 1 点、楔形石器 1 点、不定形石器 21 点、磨石・敲石類 47 点、砥石 2 点、石皿・台石類 10 点、剥片 457 点、石核 6 点、石錐 1 点、块状耳飾 3 点、扁平円形状石製品 3 点、ヘラ状石製品 1 点、石棒・石劍類 5 点、岩偶 1 点である。

石鏹は、基部の形態が抉りの浅い凹基(図版 4-198-4)が主体を占めているが、抉りの深い凹基(図版 4-198-3)もみられる。また点数は凹基よりも少ないが平基(図版 4-198-5)もみられる。図版 4-198-6 の尖頭器は、基部を直線的に調整しているものである。石匙は、つまみ部に対して先端部が縦型のものと斜め方向に長いもの(図版 4-198-7)がみられる。不定形石器は、剥片等の縁辺に二次加工を施すものが主体を占めており、図版 4-198-8 と図版 4-198-9 は、縁辺の大半に連続的な二次加工を施しているものである。磨石・敲石類は、円礫・楕円礫を素材とし、磨面や敲打

痕、凹痕、剥落痕を複合的に持つものが最も多い以外に、側面稜部に幅の狭い磨面をもつもの（図版 4-198-10）や 70mm 以下の小形の礫を素材として、磨面をもつもの（図版 4-198-11）がみられる。図版 4-199-1 の砥石は、側面稜部に幅の狭い磨面をもつ磨石の片面に多数の溝をもつものであり、磨石・敲石類からの転用と考えられる。図版 4-199-2～4 の玦状耳飾は、全て平面形が長方形を呈するものである。図版 4-199-5 のヘラ状石製品は、全面を研磨により成形されており、特に下半部は薄く成形されている。縦の断面をみると、全体的に若干湾曲した形状を呈している。一端に貫通孔がみられる。貫通孔は、両面からの穿孔により加工されている。貫通孔より上部は欠損している。石棒・石剣類は、剥離や敲打により角棒状にしたものや、敲打や研磨により成形されているもの（図版 4-199-6）、ほぼ全面が研磨により成形されているものがみられる。図版 4-199-7 の岩偶は、板状を呈しており、剥離と研磨によって成形されている。平面形は、両側辺が直線的で、下部に向かって若干開く長方形状を呈している。2種類の幅で横位・縦位・斜位などの沈線による文様が描かれている。表面の上部には複数の斜位の沈線によって「V」字状の文様が描かれており、裏面の上部には縦位と横位の沈線の連続によって網目状の文様が描かれている。

[3 層] (図版 4-200、写真図版 188)

3 層からは 156 点出土し、石鎌 2 点、石匙 6 点、打製石斧 1 点、楔形石器 1 点、不定形石器 2 点、磨石・敲石類 18 点、砥石 1 点、石皿・台石類 4 点、剥片 114 点、石核 5 点、玦状耳飾 2 点である。

石匙は、つまみ部に対して先端部が縦型のもの（図版 4-200-1～3）である。玦状耳飾は、平面形が円形で断面形が扁平なもの（図版 4-200-5）と未成品（図版 4-200-4）である。

[4 層] (図版 4-200～4-201、写真図版 189)

4 層からは 293 点出土し、石鎌 17 点、尖頭器 9 点、石匙 5 点、打製石斧 6 点、板状石器 1 点、不定形石器 7 点、磨石・敲石類 56 点、石皿・台石類 10 点、剥片 175 点、石核 2 点、玦状耳飾 1 点、石製品素材 3 点、石棒・石剣類 1 点である。

尖頭器は、基部を半円形に調整しているもの（図版 4-200-6）と基部に浅い抉りを入れ、2 個の逆刺を作出しているものがみられる。石匙は、つまみ部に対して先端部が縦型のものと斜め方向に長いもの（図版 4-200-7、図版 4-201-1）がみられる。磨石・敲石類は、円礫・楕円礫を素材とし、磨面や敲打痕、凹痕、剥落痕がみられるものが主体を占め、図版 4-201-3 と図版 4-201-4 は凹痕を有するものである。図版 4-201-5 の玦状耳飾は、平面形が円形のもので、切れ目の部分に貫通孔がみられる。図版 4-201-2 の石棒・石剣類は、全面研磨され、断面形が楕円形を呈し、柄頭を沈線で区画して両端に貫通孔を有するものである。

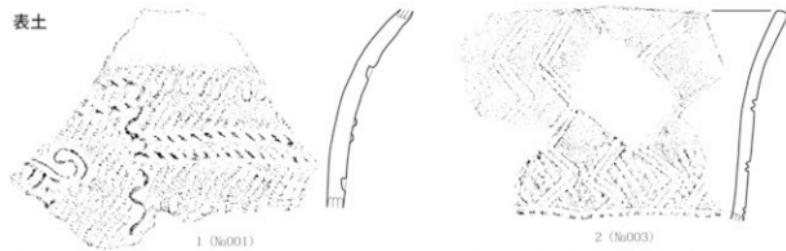
[5 層]

5 層からは磨石・敲石類 3 点が出土している。

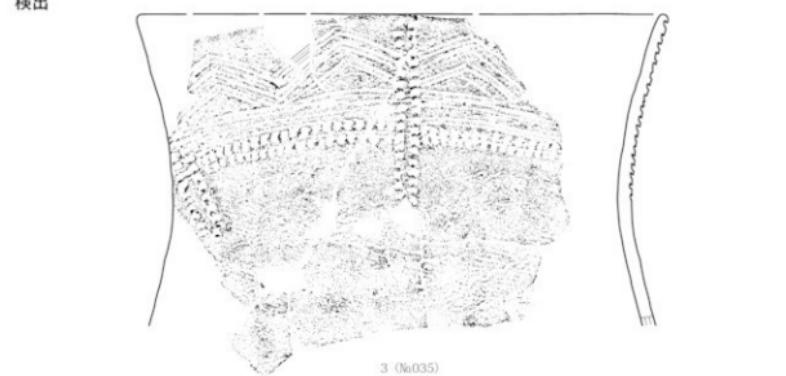
[層不明・攪乱]

層不明・攪乱からは 101 点が出土し、石鎌 1 点、尖頭器 2 点、打製石斧 3 点、板状石器 3 点、不定形石器 7 点、磨石・敲石類 30 点、砥石 2 点、石皿・台石類 7 点、剥片 42 点、石核 3 点、石錘 1 点である。

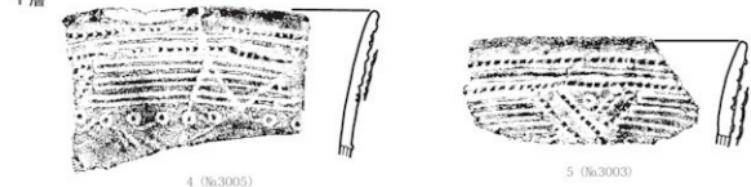
表土



検出

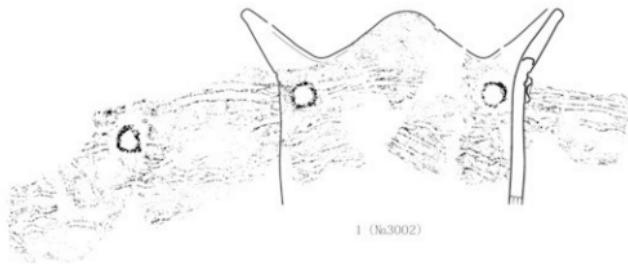


1層

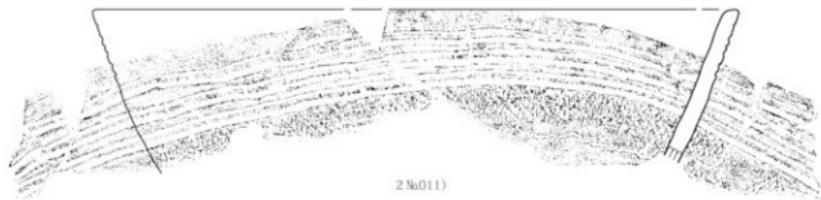


図版 4-189 SX4 出土土器 (1)

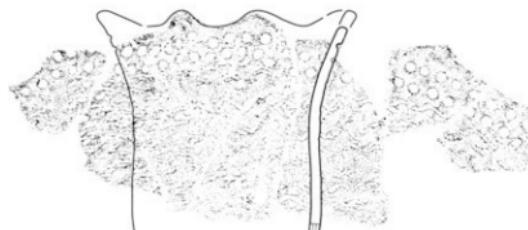
1層



1 (No3002)



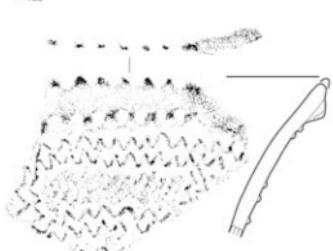
2 No011)



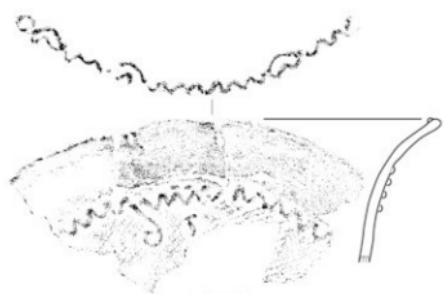
3 (No3001)

0
10cm
(S=1/3)

2層



4 (No032)



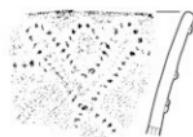
5 (No021)

図版 4-190 SX4 出土土器 (2)

2層



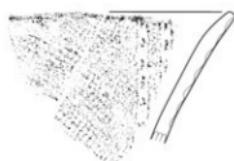
1 (No026)



2 (No034)



3 (No024)



4 (No040)



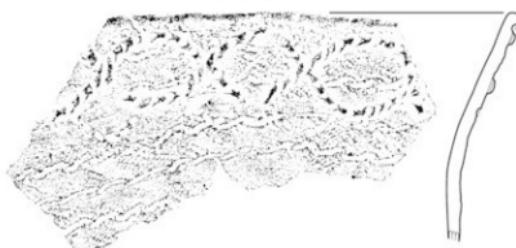
5 (No041)



7 (No029)



6 (No023)



8 (No022)

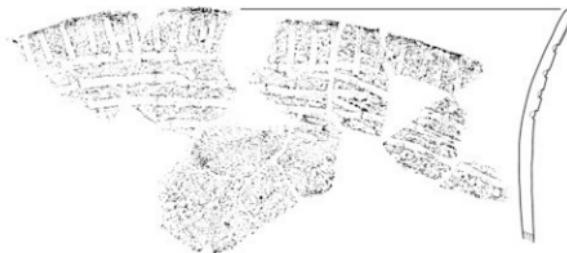


9 (No039)



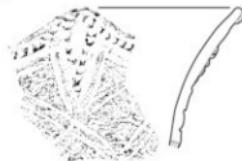
図版 4-191 SX4 出土土器 (3)

2層



1 (No.036)

3層



3 (No.060)



4 (No.046)

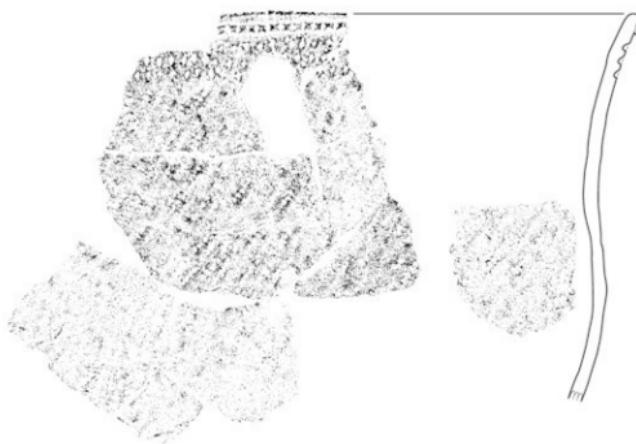


5 (No.031)

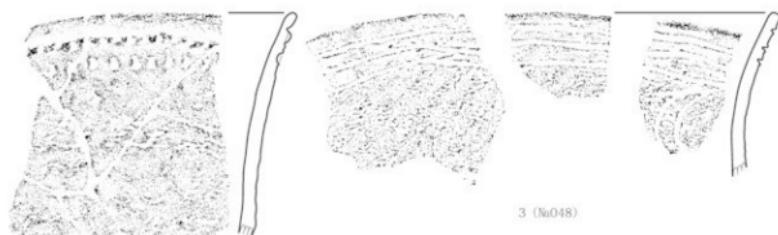
0 10cm
(S=1/3)

図版 4-192 SX4 出土土器 (4)

3層

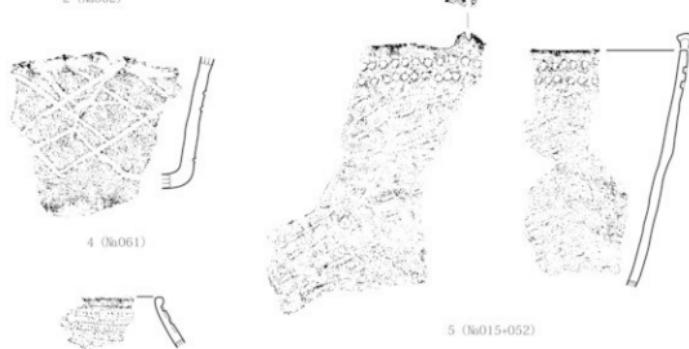


1 (No.051)



3 (No.048)

2 (No.062)



4 (No.061)

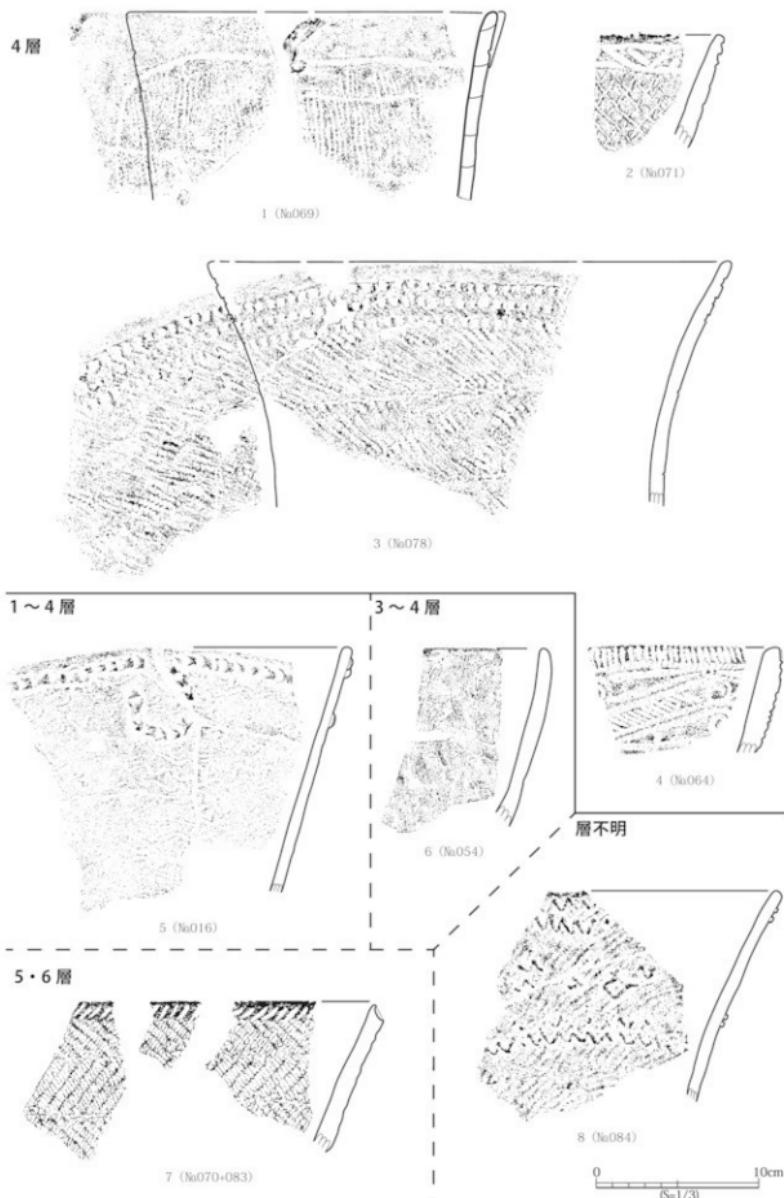


6 (No.058)

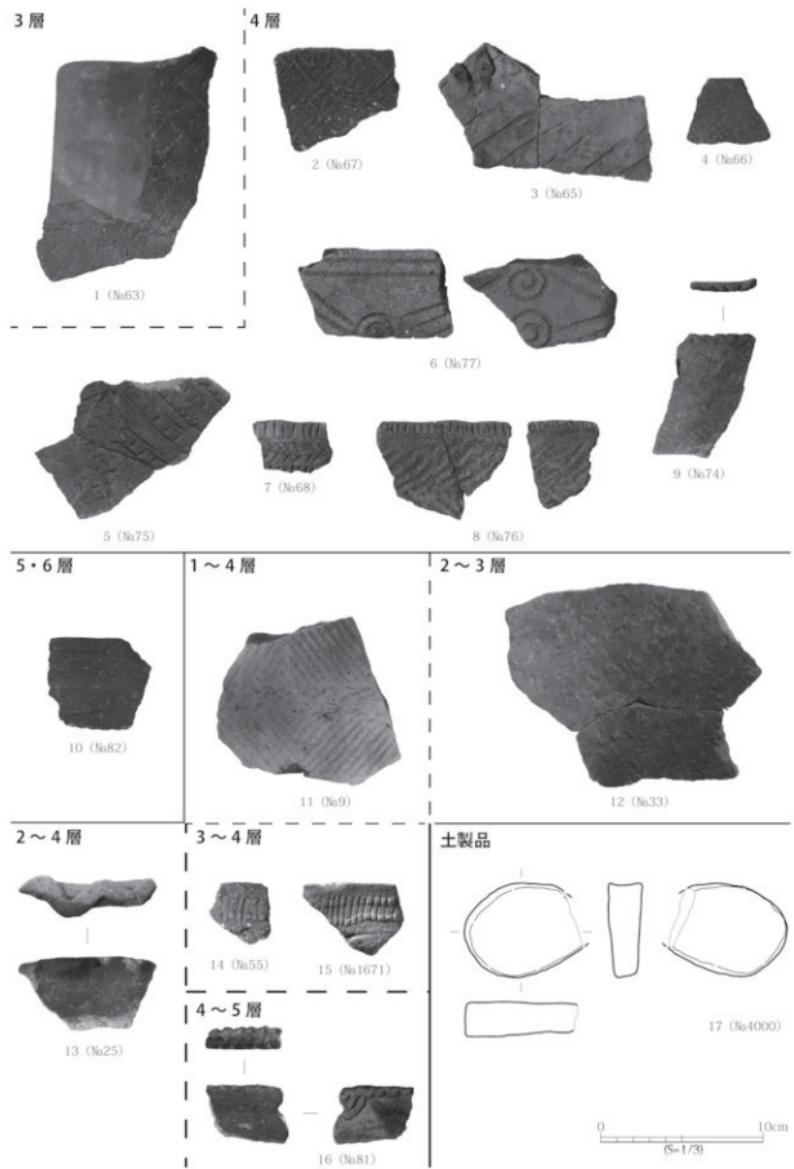
5 (No.015+052)



図版 4-193 SX4 出土土器 (5)

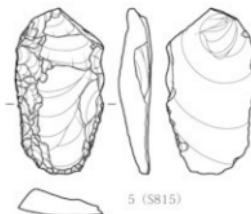
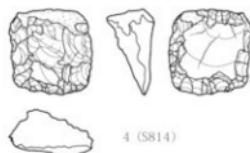
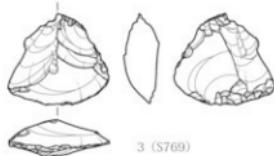
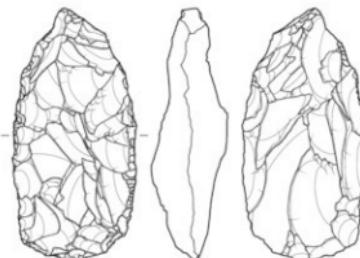
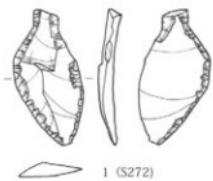


図版 4-194 SX4 出土土器 (6)

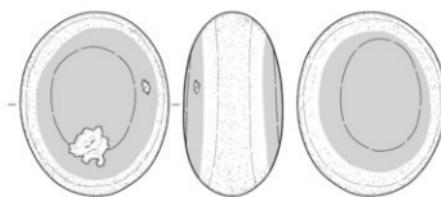
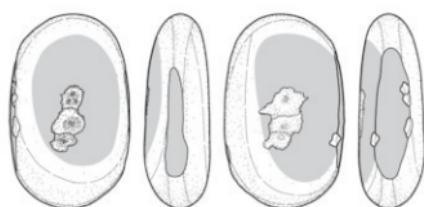


図版 4-196 SX4 出土土器 (8)・土製品

1層



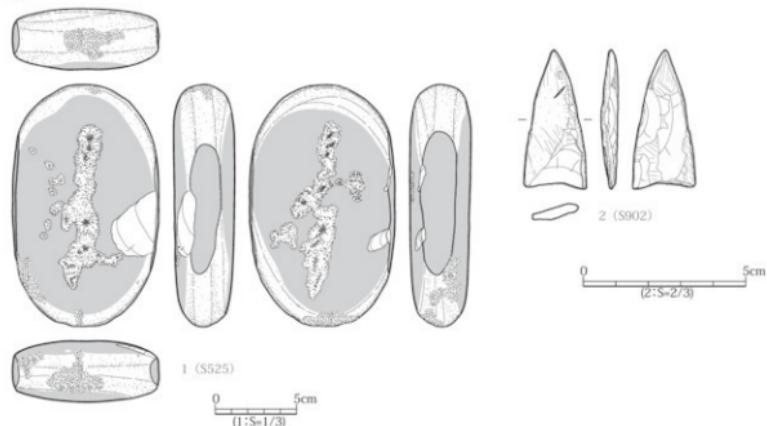
0 5cm
(1~5.5=2/3)



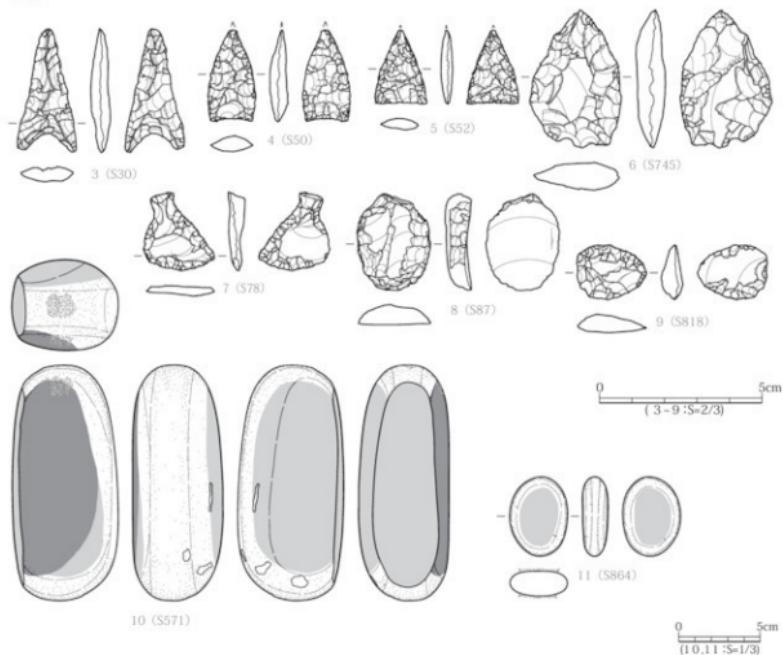
0 5cm
(6, 7:S=1/3)

図版 4-197 SX4 出土石器・石製品 (1)

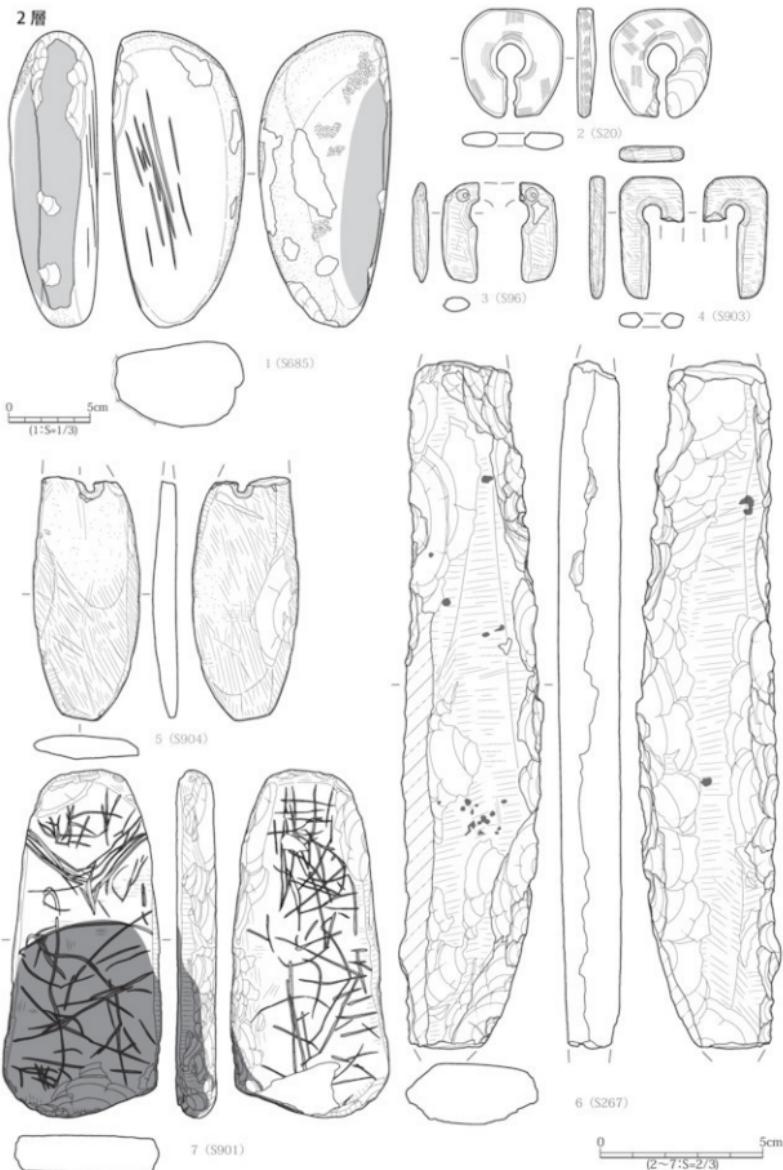
1層



2層

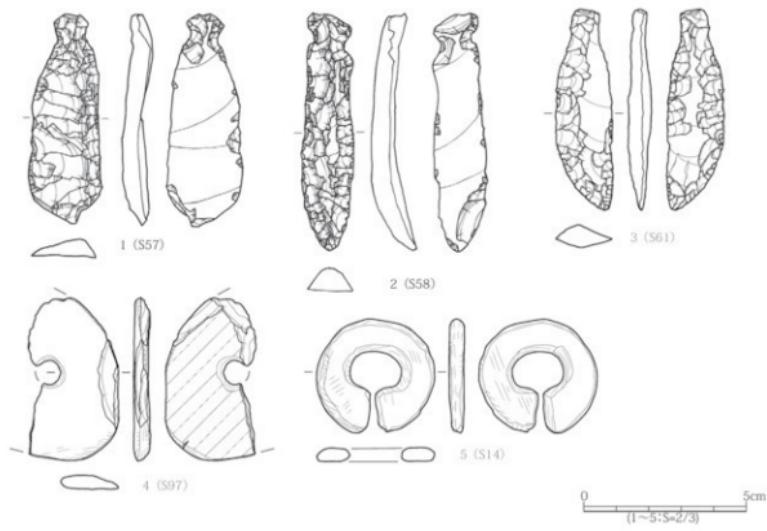


図版 4-198 SX4 出土石器・石製品 (2)

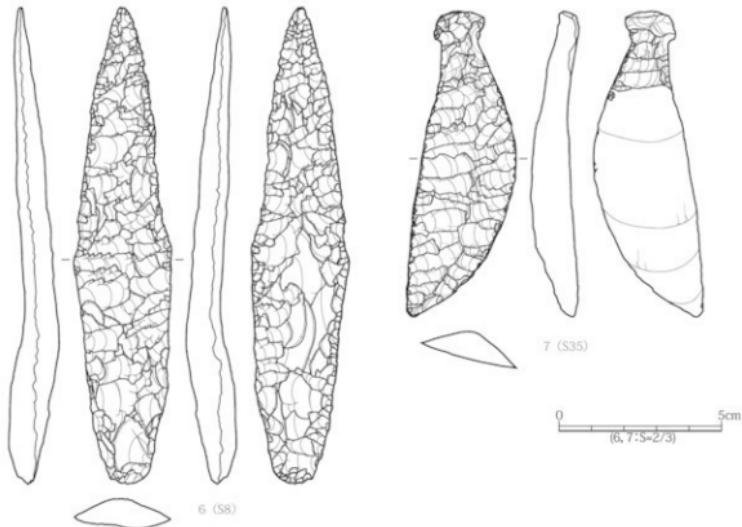


図版 4-199 SX4 出土石器・石製品 (3)

3層

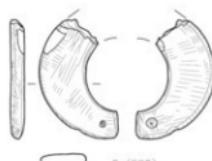
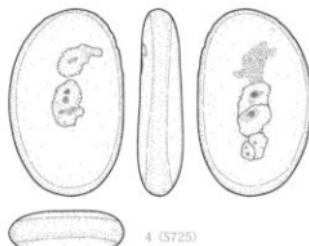
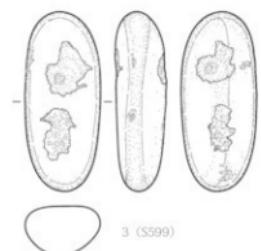
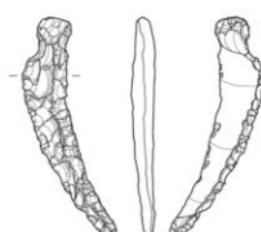


4層



図版 4-200 SX4 出土石器・石製品 (4)

4層



0 5cm
(3, 4:5=1/3)



0 5cm
(1, 2, 5:5=2/3)

図版 4-201 SX4 出土石器・石製品 (5)

図 番 号	登録 番 号	グリッド	層位	器種 類型	装飾類型	部位	相應(法量)	装飾・調整	織機	写真 回数	
189-1	1	中央	表土	深鉢	V-B2	全体上半	【外】縦籠波状・横子状波文・横位斜付+刺目、縦位斜付横列、斜行獨立	-	124-1		
189-2	3	中央	表土	深鉢	V-VB D	全体上半	平縞	【外】縦籠波状斜波文(平裁竹竹)、縦位斜付文(平裁竹竹)、斜行獨立	124-2		
189-3	35	中央トレン ジ	抽出	深鉢	B3	V-VI D	口縫部-全体	平縞(幅約1.5cm)	【外】横・横位斜波状斜波文(平裁竹竹)、横位、縦位斜列(平裁竹竹)	124-3	
189-4	3005	3	中央トレン ジ	1層	深鉢	N-VI A2	口縫部	平縞(幅約1.5cm)	【外】横・横位斜波文(平裁竹竹)、縦位斜波文(平裁竹竹)、刺突(平裁竹竹)	124-4	
189-5	3003	5	中央トレン ジ	1層	深鉢	N-VI A1c	口縫部	平縞(幅約1.5cm)	【外】横・横位斜波文+刺目、縦位斜波文+斜行、斜位斜波文(平裁竹竹)、刺突(平裁竹竹)	124-5	
189-6	13	中央トレン ジ	1層	深鉢	N-VI A1c	口縫部	平縞(幅約1.5cm)	【外】横・横位斜波文(平裁竹竹)	124-6		
190-1	3002	試験	1層	深鉢	B2	N-VI C1	口縫部-全体	波状波(口縫 20cm)	【外】横位斜波文、横位斜波文、斜行獨立(0段)	124-7	
190-2	11	L-4	1層	深鉢	N-VI D1	口縫部	平縞(幅約1.5cm)	【外】横位斜波文、5字状通路網文系(0段)	124-8		
190-3	3001	試験	1層	深鉢	B3	N-VI G1	口縫部-全体	波状波(口縫 16cm)	【外】横位斜波文、刺突(平裁竹竹)、横位斜波状・縦位斜波斜列付文、斜行獨立	124-9	
190-4	32	H-4	2層	深鉢	B	IX	口縫部-全体	波状波(幅約1.5cm)	【外】横位斜波文+刺突(平裁竹竹)、横位斜波状・縦位斜波斜列付文(0段)	125-1	
190-5	21	I-5オチ	2層	深鉢	B2	IX	口縫部-全体	平縞(幅約1.5cm)	【外】横位斜波・弧形波文(「环面」)、横位波状・横子状波文(斜行獨立)	125-2	
191-1	26	J-4	2層	深鉢	B	V-VI A2	口縫部-全体	平縞	【外】横位通路・縦位通路斜波文+刺目(平裁竹竹)、刺突文(平裁竹竹)	125-3	
191-2	34	H-4オチ	2層	深鉢	B	V-VI A2	口縫部-全体	平縞	【外】横位斜波文+刺目(平裁竹竹)、斜行獨立(0段)	125-4	
191-3	24	H-5	2層	深鉢	B	V-VI A3	口縫部-全体	平縞	【外】横位斜波文+刺目(平裁竹竹)、斜行獨立(0段)	125-5	
191-4	40	G-5	2層	深鉢	B	V-M D2	口縫部	平縞	【外】横位斜波文+刺突(平裁竹竹)、斜行獨立(0段)	125-6	
191-5	41	G-5	2層	深鉢	B	V-VI A1	口縫部-全体	平縞(幅約1.5cm)	【外】横位斜波文+刺突(平裁竹竹)、横位斜波状斜波文(平裁竹竹)、斜行獨立(0段)	125-7	
191-6	23	H-5	2層	深鉢	B	V-VI D1	口縫部	平縞	【外】横位斜波文+刺突(平裁竹竹)、斜行獨立(0段)	125-8	
191-7	29	H-3ペクト	2層	深鉢	B	V-VI A4c	口縫部-全体	平縞	【外】横位斜波・縦位斜波斜列引文(平裁竹竹)、刺突文(平裁竹竹)、斜行獨立(0段)	125-9	
191-8	22	H-5	2層	深鉢	B	N-VI A1	口縫部-全体	平縞	【外】横位斜波斜列引文+刺目、刺突文、斜行獨立(0段) +斜行	126-1	
191-9	39	G-5	2層	深鉢	B	N-VI A1b	口縫部	波状波	【外】横位斜波文+刺突(0段)、斜行獨立(0段)	126-2	
192-1	36	F-4	2層	深鉢	B3	N-VI C1	口縫部-全体	平縞	【外】横位・縦位斜波文+刺突(0段)、斜行獨立(0段)	126-3	
192-2	38	F-4	2層	深鉢	B	N-VI G1	口縫部-全体	平縞(幅 26cm)	【外】横位斜波文+刺目(0段)	126-5	
192-3	60	H-4	3層	深鉢	B	N-VI A1	口縫部-全体	波状波	【外】横位斜波文+刺突(0段)、斜行獨立(0段)	127-1	
192-4	46	F-4	3層	深鉢	B	N-VI A1	口縫部	波状波	【外】横位斜波文+刺突(0段)、斜行獨立(0段)	127-2	
192-5	31	H-4	3層	深鉢	B	N-VI A1a	口縫部-全体	波状波	【外】横位斜波文+刺目(0段)、斜行獨立(0段)	127-3	
193-1	51	H-4	3層	深鉢	B	N-VI A1b	口縫部-全体	平縞	【外】横位斜波文+刺突(0段)、斜行獨立(0段)	127-4	
193-2	62	M-4	3層	深鉢	B	N-VI A1b	口縫部-全体	平縞	【外】横位斜波文+刺突(0段)、斜行獨立(0段)	127-5	
193-3	48	H-5	3層	深鉢	B	N-VI C1	口縫部-全体	平縞	【外】横位・縦位斜波斜列引文(0段)	127-6	
193-4	61	L-4	3層	深鉢	B	N-VI C3	全体-底部	平底(幅 約8cm)	【外】斜子状波文	127-7	
193-5	15・52	E-4	3層	深鉢	B	N-M G1	口縫部-底部	平縞(幅 約8cm)	【外】横位斜波文(0段) +斜行(0段)、斜行獨立(0段)、斜行獨立(0段)、斜行獨立(0段)	127-8	
193-6	58	L-4	3層	深鉢	B	N-VI D3	口縫部	平縞	【外】横位斜波文+刺突(0段)、斜行	127-9	
194-1	69	F-3	4層	深鉢	X	上半	平縞(幅 21.5cm)	【外】横位斜波文、斜波、斜行獨立	-	128-1	
194-2	71	H-3	4層	深鉢	X	N-VI C1	口縫部-全体	平縞	【外】横位斜波文+刺目(0段)、斜行獨立(0段)	128-2	
194-3	78	K-3	4層	深鉢	B	N-VI G1	口縫部-全体	平縞(幅 32cm)	【外】横位斜列(平裁竹竹)、斜行獨立(0段) +斜行	128-4	
194-4	64	F-2	4層	深鉢	I	IIB	口縫部	平縞	【外】横位・斜子状波文+刺目(0段) +斜行獨立(0段)	128-5	
194-5	16	東トレンジ	1~4	深鉢	N-VI A1a	口縫部-全体	平縞	【外】横位斜波文+刺目(0段)、斜行獨立(0段)	128-6		
194-6	54	D-3	3~4	深鉢	L1	口縫部-全体	平縞、内面斜 江戸切(0段)	【外】横位斜波文(0段) +斜行(0段)、斜行獨立(0段)	128-6		
194-7	70-83	中央トレンジ	5~6	深鉢	I F	口縫部-全体	平縞	【外】横位斜波文+刺目(0段)、斜行獨立(0段)	128-7		
194-8	84	不明	深鉢	I	口縫部-全体	平縞	【外】横位斜波文+刺目(0段)、斜行獨立(0段)	128-8			
195-1	4	中央	表土	抽出	N-VI A	全体	【外】横位斜波文+刺目(0段)、斜行獨立(0段)	-	-	-	
195-2	7	南	表土	抽出	N-VI A	口縫部	平縞	【外】横位斜波文+刺目(0段)、斜行獨立(0段)	-	-	
195-3	8	H-4	抽出	I I	口縫部	平縞	【外】横位斜波文(0段) +斜行獨立(0段)	-	-	-	
195-4	7004	F-3	1層	深鉢	X	口縫部	波状波+把手	【外】斜行文、斜波文、斜突文、【内面】斜行文	-	-	-
195-5	7003	H-2	1層	深鉢	X	口縫部	平縞	【外】斜行文、斜波文、斜突文	-	-	-
195-6	7005	東トレンジ	1層	深鉢	X	口縫部	波状波	【外】斜行文、斜波文、斜突文(0段)	-	-	-
195-7	7001	L-4	1層	深鉢	X	口縫部上半	平縞	【外】斜波文、斜突文(0段)	-	-	-
195-8	20	G-4	1層	深鉢	IX	口縫部	平縞	【外】横位斜波文+刺目(0段)、斜行獨立(0段)	-	-	-
195-9	7002	中央トレン ジ	1層	深鉢	IX	口縫部	小波狀波(0段) 【外】斜行文+刺目(0段)	【外】斜行文+刺目(0段)、【外】斜行文+刺突	-	-	-
195-10	10	H-4	1層	深鉢	N-VI A	口縫部	平縞	【外】斜行文+刺突	-	-	-
195-11	14	東トレンジ 西側K-4	1層	深鉢	N-VI A	口縫部	平縞	【外】横位斜波文+刺目、斜行獨立(0段)	食	-	-
195-12	19	G-3	1層	深鉢	N-VI D	口縫部-全体	平縞	【外】沈波文(平裁竹竹)、5字状通路網文系(0段)	食	-	-
195-13	30	H-3	2層	深鉢	IX	口縫部	波状波	【外】斜行文、斜波文(0段)	-	-	-
195-14	7007	H-4	2層	深鉢	IX	口縫部-全体	波状波	【外】横位斜波文(0段) +斜行獨立(0段)	-	-	-
195-15	7006	H-4	2層	深鉢	IX	口縫部上半	平縞	【外】斜波文(平裁竹竹)	-	-	-
195-16	37	F-4	2層	深鉢	N-VI A	全体	波状波	【外】斜波文+刺目、斜行獨立(0段) +粘附【その他】補修孔	食	-	-
195-17	42	G-4	2層	深鉢	N-VI C	口縫部	平縞	【外】沈波文	食	-	-
195-18	56	M-4	3層	深鉶	N-VI A	口縫部	波状波	【外】斜波文+刺目、5字状通路網文系(0段)	食	-	-

図 番 号	登録 No.	グリッド	層位	器種	類型	鉱物類型	部位	形態(法量)	装飾・調整				写真 回数
									幅	高さ	厚さ	重さ	
195-19	47	H-5	3 層	深鉢	N~VI B	口縁部	平縁	【外】縦付文、斜行縞文(原体不明) + 斜加条(0段)	食	-	-	-	-
195-20	49	H-4	3 层	深鉢	N~VI C	口縁部	平縁	【外】縦付文 + 刺突、縞文(原体不明)	食	-	-	-	-
195-21	43	F-4	3 层	深鉢	N~VI D	口縁部	平縁	【外】沈縮文(半截竹背)、直孔、5字状連続縞文(0段)	食	-	-	-	-
196-1	63	L-4	3 层	深鉢	N~VI C	体部		【外】沈縮文、斜行縞文(原体不明) + 斜加条(0段)	食	-	-	-	-
196-2	67	H-13	4 层	深鉢	VI B	体部		【外】縦付文、斜行縞文(LR)	食	-	-	-	-
196-3	65	G-4	4 层	深鉢	N~VI A	体部		【外】縦付文 + 刺突、斜行縞文(R) + 斜加条(0段)	食	-	-	-	-
196-4	66	C-4	4 层	深鉢	N~VI D	口縁部	平縁	【外】沈縮文(半截竹背)	食	-	-	-	-
196-5	75	M-3	4 层	深鉢	N~VI A	口縁部	平縁	【外】貫通文、縦付文 + 刺突、沈縮文 + 刺突(半截竹背)、粘附縞文(R)	食	-	-	-	-
196-6	77	L-3	4 层	深鉢	II	口縁部～体部	平縁	【外】直孔と瓶文(L)	食	-	-	-	-
196-7	68	D~G	4 层	深鉢	II	口縁部	平縁	【外】燃起伝瓶文(R) + 刺目	食	-	-	-	-
196-8	76	M-3	4 层	深鉢	II	口縁部	平縁	【外】燃起伝瓶文(R) + 刺目、非粘附斜状縞文(LR, RL)	食	-	-	-	-
196-9	74	H-4.5	4 层	深鉢	I F	口縁部	平縁	【口縁部】刻目 【外】非粘附斜状縞文(LR, RL)	食	-	-	-	-
196-10	82	中央トレーナー 5~6 層	深鉢	N~VI D	口縁部	平縁	【外】沈縮文(半截竹背)、斜行縞文、斜行縞文(LR) + 斜節	-	-	-	-	-	-
196-11	9	東トレーナー 1~4 層	深鉢	II J13a	体部			【外】非粘附斜状縞文(R, RL)、粘附縞文(L)	食	-	-	-	-
196-12	33	H-4	3~5 层	深鉢	II J13c	体部		【外】S型透通縞文系(0段)	食	-	-	-	-
196-13	25	D~4	2~4 层	深鉢	VII~VIII B	口縁部	平縁 + 縦付文	【口縁部】縦付文 【外】ナデ	-	-	-	-	-
196-14~ 15	55~ 1671	DS~SN 1671 地盤	3~4 層	深鉢	N~VI A	口縁部	平縁	【外】縦付文 + 刺目、刺突文(半截竹背)	食	-	-	-	-
196-16	81	南北カク 4~5 层	深鉢	VII B	口縁部	平縁 + 縦付文	【口縁部】縦付文 【外】ナデ 【内面】縦付文	-	-	-	-	-	-

(SX4 出土石製品觀察表)

図 番 号	登録No.	グリッド	層位	器種	法量	装飾・調整				誠通	写真 回数
						長	幅	厚	重		
196-17	4000	H-2	1 層	板状土偶	頭大長 6.6cm、幅 5.4cm、厚さ 2.1cm (欠損)					ナデ	128.9

(SX4 出土石器観察表)

図 番 号	登録 No.	グリッド	層位	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	被熱	自然面	残存	備考	写真 回数
-	S396			石器	I a3A	経貫貝岩	38.4	22.1	4.5	2.5	0	0	一部欠	187.1	
197-1	S272	G4	1	石器	III a5	經化凝灰岩	41.9	19.8	4.6	3.2	0	0	完形	187.2	
197-2	581	B4	1	盤状石器	I b1	月化凝灰岩	76.6	38.3	21.4	51.6	0	1	完形	187.3	
197-3	S769	I2	1	規形石器	I b	社貫貝岩	30.6	27.7	10.9	7.1	0	0	完形	187.4	
197-4	S814	1	不定形石器	III c	碧玉	25.1	23.4	12.0	7.1	0	1	完形	187.5		
197-5	S815	F3	1	不定形石器	III c	碧貫貝岩	50.3	27.0	8.9	13.7	0	1	完形	187.6	
197-6	S515	G4	1	碧玉	III c	碧貫貝岩	117.8	72.4	40.3	50.6	0	1	完形	187.7	
197-7	S533	J4	1	碧玉	III c	碧貫貝岩	111.0	89.9	59.9	867.5	0	1	完形	187.8	
198-1	S525	H2	1	碧玉	III c	火武川質碧玉	148.0	89.3	36.7	707.0	0	1	完形	187.9	
198-2	S902	14	2	石器	III b5	碧板岩	42.4	18.9	4.2	3.3	0	0	完形	187.10	
198-3	S30	2	石器	III a2A	碧玉	37.9	18.1	6.5	2.3	0	0	完形	187.11		
198-4	S50	F4	2	石器	III b1A	碧貫貝岩	28.1	14.5	5.3	1.9	0	0	完形	187.12	
198-5	S52	G3	2	石器	III b1A	碧貫貝岩	22.4	15.5	3.6	0.9	0	0	完形	187.13	
198-6	S745	F4	2	尖頭器	IV 1	碧貫貝岩	42.2	27.4	8.8	10.4	0	0	完形	187.14	
198-7	S78	G5	2	石器	III b5	碧玉	23.3	21.9	4.8	2.1	0	0	完形	187.15	
198-8	S87	4	2	不定形石器	III c	碧貫貝岩	29.5	22.2	7.0	5.8	0	0	完形	187.17	
198-9	S818	F4	2	不定形石器	III c	碧玉	21.4	16.7	6.3	2.1	0	0	完形	187.16	
198-10	S571	H4	2	磨石	III b2	碧板岩	143.9	62.6	55.8	680.5	1	1	完形	187.18	
198-11	S864	H3	2	磨石	III b2	碧板岩	41.8	35.3	15.8	40.5	0	1	完形	187.19	
199-1	S685	I3	2	磨石	-	火武川質碧玉	176.0	79.8	53.8	898.5	0	1	完形	187.20	
199-2	S29	I3	2	块狀刮削器	III	碧板岩	33.5	31.3	6.0	6.7	0	0	完形	187.21	
199-3	S96	G4	2	块狀刮削器	III	碧板岩	(30.3)	11.5	4.8	2.2	0	0	礫片	187.22	
199-4	S903	2	块狀刮削器	III	蛇紋岩	37.1	19.3	4.7	4.3	0	0	一部欠	187.23		
199-5	S904	H4	2	△形状石器	III a	碧板岩	74.0	32.5	7.4	22.9	0	0	一部欠	188.1	
199-6	S267	H4	2	石器	III a	碧板岩	207.0	43.2	19.0	235.9	0	1	完形	188.2	
199-7	S901	H4	3	石器	IV a	碧板岩	106.0	47.3	12.3	92.3	1	1	ほぼ完形	188.3	
200-1	S57	H4	3	石器	I b3	碧貫貝岩	63.1	22.4	8.1	9.4	0	0	ほぼ完形	188.4	
200-2	S58	L4	3	石器	I a2	碧貫貝岩	70.4	15.9	11.6	10.0	0	0	完形	188.5	
200-3	S61	I4	3	石器	I b1	碧玉	62.1	17.7	7.6	7.0	0	1	完形	188.6	
200-4	S97	L4	3	块狀刮削器	III c	シルト岩	149.7	27.1	4.7	8.4	0	0	礫片	188.7	
200-5	S14	L4	4	块狀刮削器	I b	火武川質碧玉	34.4	36.2	4.7	6.4	0	0	完形	188.8	
200-6	S8	J4	4	尖頭器	III a5	碧貫貝岩	146.4	30.3	15.5	45.4	0	0	完形	189.0	
200-7	S35	C4	4	石器	III a2	碧貫貝岩	93.7	33.6	13.9	23.9	0	0	完形	189.2	
201-1	S38	S4	4	石器	III a4	碧貫貝岩	67.1	28.9	7.7	4.9	0	0	完形	189.3	
201-2	S24	G3	4	石器	III c	安山岩	287.0	38.0	19.4	261.5	0	0	ほぼ完形	189.4	
201-3	S599		4	磨石	III b2	碧板岩	110.6	45.4	30.7	240.5	0	1	完形	189.5	
201-4	S725	I4	4	磨石	III c	碧板岩	114.0	70.1	27.1	316.5	0	1	完形	189.6	
201-5	S95	G3	④	块狀刮削器	I a	蛇紋岩	(36.8)	(24.0)	4.3	4.5	0	0	礫片	189.7	

【SX10 遺物包含層】

(1) 堆積状況と分布範囲

丘陵の南東斜面、10区に形成された幅54m以上、奥行き38m以上の遺物包含層である(図版4-202)。立地は南西から北東方向に入る緩やかな谷地形の北西側上方に当たる。傾斜は緩やかで、斜面下方の末端近くでは水平に近くなる。斜面中腹は高低差1.5~2mほどの段により大きく削平され、包含層が斜面上方と下方に分断されている。南東側は調査区外へと伸びる。

層は大きく9層に分かれ。9層は包含層形成以前の旧表上(基本層III層)で、谷地形を全体的に覆っていた。その上部の8層から遺物を含む層が堆積する。7層は主に北西方向に入る小規模な谷筋より東側に、SX42・48 遺物集中を覆うように堆積し、6層はその東側、斜面や下方に分布する。6・7層の前後関係は堆積状況からは捉えられていない。5層以降は北西方向に入る小規模な谷全体を埋めるように形成されている。5層は斜面下方では薄い層の重なりとして認識される。この箇所を除いた2~5層は比較的均質な厚みのある層である。

なお、斜面上部において包含層中から竪穴遺構、炉跡、石器埋納、剝片集中、一括土器などが検出された。また、斜面上半の地山面で多数のピットが検出されているが、ピットの平面図は第2分冊に掲載する。

[1層]

斜面上方の38×11mの範囲に分布し、厚さは最大70cmである。炭化物・焼土粒を多く、地山礫を若干含む黒褐色土である。古代竪穴SI25・27が掘り込まれる。層直下からSK30土坑、SL38・71炉跡が検出されている。

[2層]

斜面上方の20×8mの範囲に分布し、厚さは最大30cmである。径5mm以下の炭化物、径5~30mmの地山礫を含むにぶい黄橙～にぶい褐色土である。中央ベルトでは焼土粒を極めて多く含む部分や、やや淡色で砂質の部分がある。層中からSL75炉跡、層下部からSL77炉跡が検出されている。

[3層]

44×32m以上の広い範囲に斜面上半と下半に分かれて分布し、厚さは最大45cmである。径3~5mmの炭化物や焼土粒を多く含む暗褐～黒褐色を基調とする土層で、地山礫の多寡などにより細分される。下半部では焼骨粒を極めて多く含む箇所がある。層中・層直下からSX63炭層、SU164石鎌集中、SU55・166・167剝片集中、SI46竪穴建物跡、SK36土坑、SL34・41・56炉跡が検出されている。

[4層]

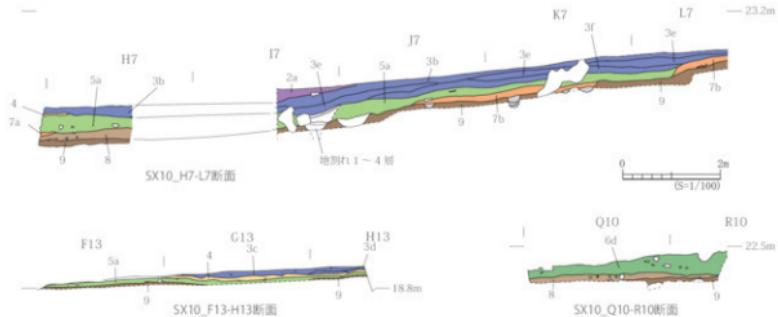
火山灰層である。主な分布は、斜面下半南東部の傾斜が水平に近いか所、22×7mの範囲で、厚さは10cm程である。斜面上方から中程では径0.5m以下の小規模な層がまばらに分布する状況であるが、SI43竪穴内では厚い堆積が認められる。また、SL154炉跡が検出されている。

[5層]

43×38m以上の広い範囲に斜面上半と下半に分かれて分布し、厚さは最大40cmである。径3~30mmの炭化物・焼土粒を多く含む褐色～黒褐色の土層で、斜面上方では地山礫を含む。斜面下

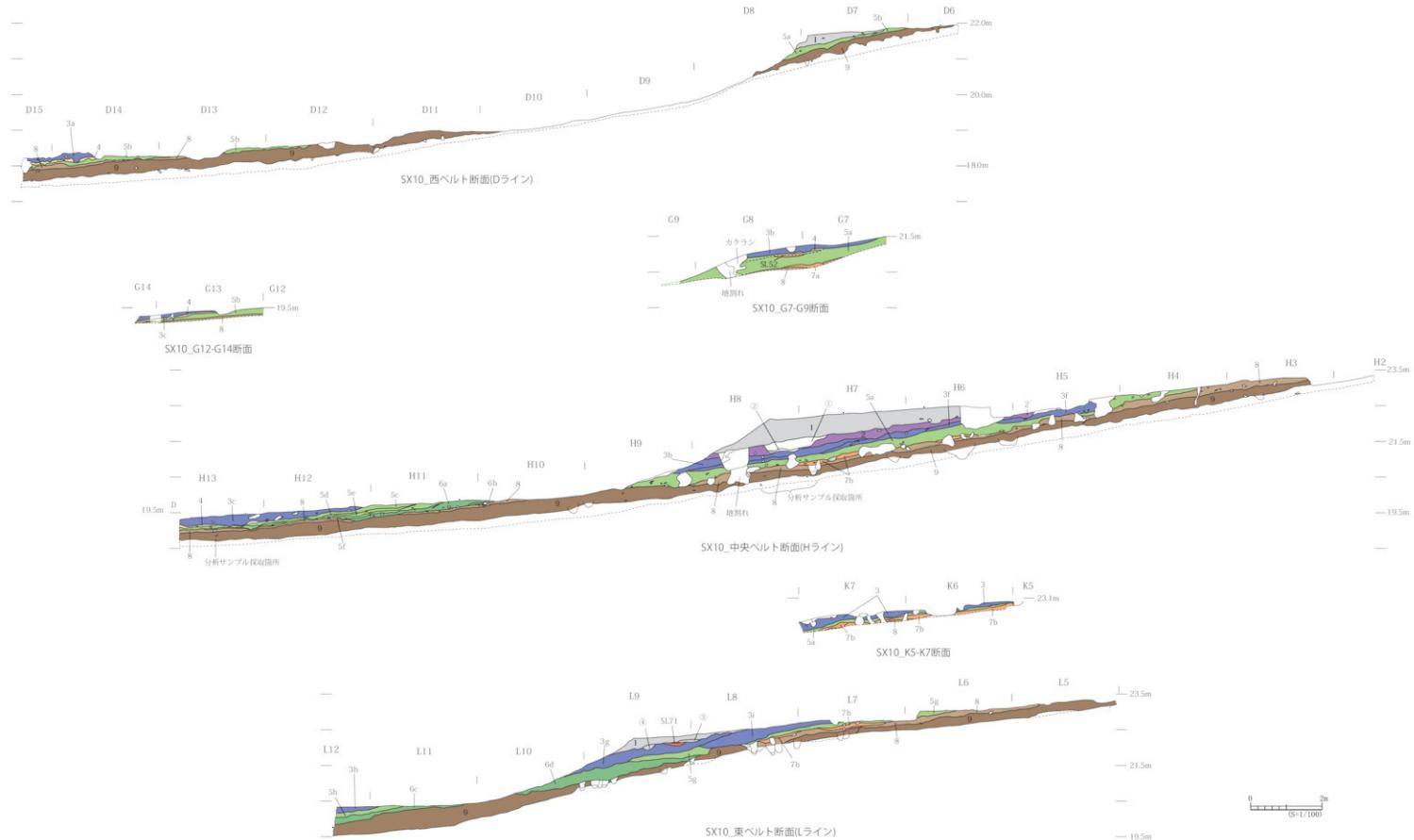


図版 4-202 SX10 遺物包含層平面図



層	土色	土質	埋入物等	性格
1	黒褐色 (7.5YR3/1)	シルト	径 5mm の炭化物・焼土粒・径 1cm の地山礫を多く含む。黄褐色土 (地山) が径 5mm のブロックに若干混入する。	
2	にぶい褐色 (7.5YR5/4)	シルト	ほぼ均一な土層。径 5mm の炭化物を多く、焼土粒・径 3cm の地山礫を若干含む。層上位を中心に 1 層がしみ状・ブロック状に若干混入する。	
3a	暗褐色 (10YR3/4)	シルト	炭酸・焼土粒を微量含む。	
3b	にぶい褐色 (7.5YR5/4)	シルト	径 3mm の炭化物・焼土粒を多く、5mm の地山礫を若干含む。	
3c	黒褐色 (7.5YR3/2)	シルト	ほぼ均一な土層。径 5mm の炭化物・焼土粒・骨粉を極めて多く。径 1cm の地山礫を若干含む。	
3d	暗褐色 (10YR3/3)	粘土質シルト	炭酸・焼土粒を微量含む。このたった火山灰由来? 4 层の火山灰ブロックの間にに入る土に近い。	
3e	にぶい 黄褐色 (10YR5/4)	シルト	径 3cm の炭化物・焼土粒を多く、径 1cm の地山礫を若干含む。火山灰がしみ状・ブロック状に若干混入する。3b 層より炭化物が大きい。	
3f	暗褐色 (7.5YR3/4)	シルト	径 5mm の炭化物を極めて多く。焼土粒・5mm の地山礫を多く含む。	
3g	黒褐色 (7.5YR3/2)	シルト	径 3mm の炭化物・焼土粒・5mm の地山礫を極めて多く含む。	
3h	灰褐色 (7.5YR4/2)	シルト	径 5mm の炭化物・焼土粒を多く、径 1cm の地山礫を若干含む。	
3i	にぶい褐色 (7.5YR5/3)	シルト	径 5mm の炭化物・焼土粒・径 1cm の地山礫を多く含む。5a 層とはほぼ同質だが、色調が暗い。3b・e 層に対応。	
4	灰褐色 (10YR8/1)		3 層がしみ状に若干混入する。	火山灰層
5a	褐 (7.5YR4/3)	粘土質シルト	径 3mm の炭化物・焼土粒・5mm の地山礫を極めて多く含む。	
5b	暗褐色 (10YR3/3)	粘土質シルト	炭酸・焼土粒を微量含む。地山粒 (細粒) を少し含む。	
5c	黒褐色 (7.5YR3/2)	粘土質シルト	径 1cm の炭化物・焼土粒・骨粉を極めて多く、径 1cm の地山礫を多く含む。黄褐色土 (丘陵部の山地) のアロッカ状・3a 層に少しあくと見入る。	
5d	黒褐色 (7.5YR3/2)	粘土質シルト	径 1cm の炭化物・焼土粒・骨粉を極めて多く、径 1cm の地山礫を多く含む。5c 層より炭化物・焼土粒の含有量が少し。	
5e	褐 (7.5YR4/3)	粘土質シルト	径 5mm の炭化物・焼土粒・骨粉を若干含む。5c 層より色調が明るい。	
5f	褐 (7.5YR4/3)	粘土質シルト	径 3cm の炭化物・焼土粒を多く含む。層上位に炭化物が集中する。	
5g	褐 (7.5YR4/3)	粘土質シルト	径 5mm の炭化物を多く、焼土粒を極めて多く含む。粘性あり。	
5h	黒褐色 (7.5YR3/2)	粘土質シルト	径 3cm の炭化物・焼土粒を多く、径 1cm の地山礫を若干含む。3h 層がしみ状に多く混入。	
6a	暗褐色 (7.5YR3/3)	粘土質シルト	径 5mm の炭化物を極めて多く含む。焼土粒・径 3cm の地山礫を若干含む。5c 層より色調が暗い。	
6b	褐 (7.5YR4/3)	粘土質シルト	部分堆積層。径 3mm の炭化物・焼土粒を若干含む。	
6c・6d	極暗褐色 (7.5YR2/3)	粘土質シルト	径 5mm の炭化物・焼土粒を極めて多く、径 1cm の地山礫を多く含む。粘性あり。	
7a	暗褐色 (10YR3/4)	粘土質シルト	炭酸・焼土粒を含む。地山粒を少量含む。	
7b	暗褐色 (7.5YR3/3)	粘土質シルト	径 3mm の炭化物・焼土粒・5mm の地山礫を多く含む。3a 層がしみ状・ブロック状に多く混入。SX48 の 2 層を含む。	
8	黒褐色 (7.5YR3/1)	粘土質シルト	径 5mm の炭化物・焼土粒・径 1cm の地山礫を多く含む。	
9	暗褐色 (7.5YR3/3)	粘土質シルト	径 3cm の地山礫を極めて多く含む。鉄分を多く含む。両側では色調がより濃色となる。	
10	明黄褐色 (10YR6/6)	粘土質シルト	3cm 以上の地山礫を極めて多く含む。鉄分を多く含む。9 層から 10 層へは漸位的に変化する。	
地割れ-1 層	にぶい 黄褐色 (10YR5/3)	粘土質シルト	径 5mm の炭化物を若干含む。暗褐色土がしみ状・ブロック状に多く混入する。	
地割れ-2 層	暗褐色 (10YR3/3)	粘土質シルト	5 層と近似。	
地割れ-3 層	灰黄褐色 (10YR5/2)	砂質シルト	層下部は暗褐色土が主体となる。砂性あり。	
地割れ-4 層	灰褐色 (7.5YR4/2)	砂	砂利を土体とする。細道～拳大の円錐が若干混入する。	

図版 4-203 SX10 遺物包含層断面図(1)



図版 4-204 SX10 遺物包含層断面図 (2)

方では焼骨粒を含み、それらの多寡により薄い層に細分される。これらは傾斜に沿った縞状構造をなし自然堆積状を呈する。直上には火山灰が堆積しており、窪地・谷地であった可能性がある。層中ないし層下部から SX47・72・159 焼土層、SU165 石器集中、SU33・54・168・169・170・171・172 剝片集中、SL35・74・73・40・50・52・53・64 炉跡が検出されている。

〔6層〕

北東寄りの $32 \times 16m$ 以上の範囲に斜面上半と下半に分かれて分布し、厚さは最大 35cm である。径 5mm の炭化物を極めて多く、径 3mm の焼土粒、径 10 ~ 30mm の地山礫を含む暗褐色～極暗褐色の土層で比較的粘性が強い。特に、調査区南東壁際の I12 ~ K12 グリッドにかけて、炭・焼土を多く含む部分がある (SX162・163)。東ベルト付近以東では 5 層、8 層との区別が付きにくい。層下部から SL79 炉跡が検出されている。

〔7層〕

F ~ L グリッドの斜面上半部に分布し、厚さはおよそ 20cm である。径 3mm の炭化物・焼土粒を多く、径 5 ~ 30mm の地山礫を含む褐色土層である。層下部から SX42・48 遺物集中が検出された。中央ベルト・東ベルト間では 8 層との区別は明瞭でない。J-K-6-7 グリッド周辺では、この層の直下に地山ブロックを比較的多く含む層が分布する。

〔8・9層〕

8 層は、径 2 ~ 5mm の炭化物・焼土粒・径 10 ~ 30mm の地山礫を含む黒褐色土層で、遺物を含む。厚さは最大 20cm である。

9 層は、径 5mm の炭化物・焼土粒を若干、径 30mm の地山礫を多く含む層で、斜面上方では灰褐色、斜面下方では暗褐色～黒褐色を呈し、層下部は漸位的に黄色化する。遺物をほとんど含まない。

(2) SX10 内の炭・焼土層

〔SX44 焼土層〕 (図版 4-206、写真図版 24) [グリッド] K6 [層] 7 層上部～上面

焼土粒、炭化粒を含むにぶい黄褐色土層で、 $1.7 \times 1.4m$ の不整形に分布する。SX42・48 遺物集中より新しい。底面はやや凹凸のある皿状で若干傾斜し、厚さは最大 5cm である。図版 4-227-2 の繩文土器が出土した。

〔SX47 焼土層〕 (図版 4-206、写真図版 24) [グリッド] K6 [層] 5 層中

径 5 ~ 20mm の焼土ブロック・炭化物を含む褐色土層で、 $0.6 \times 0.2m$ の不整な楕円形に分布する。底面は若干傾斜する。厚さは不明である。岩偶 (図版 4-288-2) が出土した。

〔SX63 炭層〕 (図版 4-205、写真図版 24) [グリッド] L8 [層] 5 層上面～3 層直下

径 10 ~ 50mm の炭化物を非常に多く含む褐色土で、 $1.0 \times 0.6m$ の不整形に分布する。底面は皿状で南にやや傾斜し、厚さは最大 5cm である。土器 (図版 4-264-15)、磨石・敲石類 (図版 4-288-1)、その他の石製品 (図版 4-288-3) が出土した。

〔SX72 焼土層〕 (図版 4-202、写真図版 24) [グリッド] I5 [層] 5 層中

径 5 ~ 20mm の焼土ブロック・焼土を含む暗褐色土層で、 $0.6 \times 0.5m$ の歪な楕円形に分布する。

1層(グレー)
2層(紫)



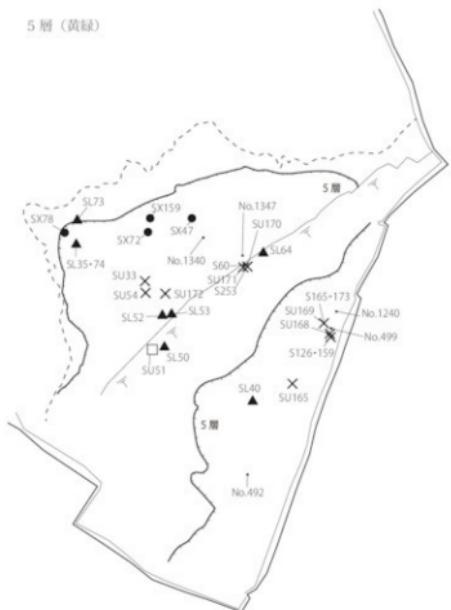
- 壤・燒土層
- ▲ 切跡
- 球集中
- × 石器・剥片集中
- 土坑

0 20m
(S=1/500)



図版 4-205 SX10 層別分布図 (1)

5層(黄緑)



6層(緑)
7層(オレンジ)



図版 4-206 SX10 層別分布図(2)



図版 4-207 SX10 層別分布図 (3)

底面は皿状、ほぼ水平で、厚さは 2cm である。遺物は縄文土器数点が出土した。

[SX78 炭層] (図版 4-202、写真図版 24) [グリッド] G3・H3 [層] 8 層上～5 層下

$3.7 \times 1.4m$ の帯状の範囲に広がる薄い炭層で、被熱した礫群 (SU261) を伴う。付近の同一面から検出した SL35・SL73 灼跡と一連の遺構群の可能性がある。

[SX159 焼土層] (図版 4-206、写真図版 24) [グリッド] J5 西・I5 東 [層] 5 層中

径 5～10mm の焼土ブロックをまだらに多く、炭化物を含む暗褐色土層で、 $1.8 \times 1.2m$ の不整形に分布する。底面は皿状で若干傾斜し、厚さは最大 8cm である。

[SX162・163 炭・焼土層] (図版 4-206) [グリッド] K12・J12 [層] 6 層下部

隣り合って検出された。SX162 は炭化物・焼土粒を多く含む黒色土層で、径 1.5m の不整梢円形に分布する。底面は皿状でわずかに傾斜し、厚さは最大 7cm である。遺物は縄文土器片がまとまって出土しており、3 点 (図版 4-264-16～18) を掲載した。非結束羽状縄文等が見られる。

SX163 は径 2cm 以下の大粒炭化物・焼土粒を多く含む黒褐色土層で、 $1.6 \times 1.3m$ の梢円形に分布する。底面は皿状でわずかに傾斜し、厚さは最大 5cm である。剥片がまとまって出土しており、18 点登録され、珪質頁岩と珪化凝灰岩 A が 4：6 ほどの比率でみられる。



図版 4-208 SX42・48 遺物分布状況

(3) SX10 内の遺物集中

[SX42・48 遺物集中] (図版 4-206・208) [グリッド] SX42:J5・6、SX48:K7 [層] 7 層下

縄文土器・礫石器・石皿・礫などの面的な広範囲の分布である。包含層分布斜面上方、中央トレンチ・東トレンチ間の 8 層上面で 7 層に覆われる状況で検出した。大きく西と東の 2 か所のまとまりがあり、西を SX42、東を SX48 とした。

SX42 の密な分布範囲は 4 × 3m で、潰れた状態ないし大破片の土器が 5 個体以上 (図版 4-225-3 ~ 図版 4-227-1)、30 ~ 40cm 程の大型の石皿などが認められる。小型礫にはまとまりが認められ、J5 グリッドの南西半、2 × 1.5m の範囲に 5 ~ 15cm 程度の礫が比較的密に分布する。構成礫には礫石器を含む円礫が目立つ。

SX48 の密な分布範囲は 6m 以上 × 5.2m で、東トレンチ部へと延びる。潰れた状態ないし大破片の土器が 8 個体以上認められる (図版 4-227-1 ~ 図版 4-233-3)。礫は、礫石器を含む 10 ~ 20cm の円礫ないし角礫が主体で、20 ~ 30cm の石皿を含み、土器と同じような分布状況を示す (図版 4-282-1 ~ 3、図版 4-282-5・6、図版 4-283-1・2、図版 4-284-1・2)。

SX42・48 ともに、土器は共通した特徴を持つ同時期のものであり、個体ごとのまとまりを保つものが多く、限定された期間における廃棄の状況を示すものと捉えられる。

(4) SX10 内の石器集中

[SU164 石鐵集中] (図版 4-205) [グリッド] K6 [層] 3 層

石鐵 4 点が一か所からまとまって出土した (図版 4-273-8 ~ 11)。いずれも大きさと形態が類似する。

[SU165 石器集中] (図版 4-206、写真図版 26) [グリッド] H12 [層] 5 層

包含層断面において石鐵 2 点、尖頭器 1 点が一か所からまとまって出土した (図版 4-276-8・9、図版 4-277-1)。

(5) SX10 内の剥片集中

[SU33 剥片集中] (図版 4-206、写真図版 26) [グリッド] H6 [層] 5 層上面付近

0.2 × 0.2m の円形の範囲に 5cm ほどの厚みを持って剥片・チップが集中する。剥片を中心に 2471 点を登録しており、うち石核 3 点、不定形石器 2 点が含まれる。99% が同一石材 (珪化凝灰岩) である。埋存状態が塊状を呈していることから、ピットの底ないし袋に入った状態で埋存したと考えられる。

[SU54 剥片集中] (図版 4-206、写真図版 26) [グリッド] H7 [層] 5 層上面付近

0.2 × 0.2m の円形の範囲に 5cm ほどの厚みを持って剥片・チップが集中する。チップが大半を占める。極微細なチップを除いた内訳は、剥片 21 点、チップ 2 点、石鐵 (図版 4-276-14)・石鐵未製品・不定形石器が 1 点ずつである。これらは剥片 3 点を除き同一石材 (珪化凝灰岩) である。埋存状態が塊状を呈していることから、ピットの底ないし袋に入った状態で埋存したと考えられる。

〔SU166・167 剥片集中〕（図版 4-205、写真図版 26）〔グリッド〕H7・H8〔層〕3層上面付近
隣接する剥片・チップ集中範囲である。規模は南西側（S269）が $0.6 \times 0.4\text{m}$ 、北東側が $0.4 \times 0.3\text{m}$ である。取り上げ時に両者を一括した。合わせて 190 点からなる。石材は珪化凝灰岩が大半を占めるが、珪質頁岩など他の石材も含む。

〔SU168・169 剥片集中〕（図版 4-206、写真図版 26）〔グリッド〕K12〔層〕5層中

隣接する剥片集中範囲である。平面規模は S22 が $1.6 \times 0.6\text{m}$ 、S23 が $1.3 \times 0.8\text{m}$ である。ほぼ平坦な面上に平面的に分布する。取り上げ時に両者を一括した。石材はほぼ同一（珪化凝灰岩）である。

〔SU170 剥片集中〕（図版 4-206、写真図版 26）〔グリッド〕K9〔層〕5層

剥片・チップが $0.6 \times 0.5\text{m}$ の範囲に 2 ~ 3cm の厚みで分布する。微細なチップを除いた点数は 3015 点で大半がチップである。全て同一石材（珪化凝灰岩）である。

〔SU171 剥片集中〕（図版 4-206）〔グリッド〕K9〔層〕5層中

分布範囲の一部を記録したのみで本来の規模・分布状況は不明である。点数は 289 点で、珪化凝灰岩の剥片・チップを主体とし、一部ツールを含む（うち磨石・砥石類を 4 点含む）。

〔SU172 剥片集中〕（図版 4-206、写真図版 26）〔グリッド〕H7 ベルト内〔層〕5層中

0.3 × 0.2m の範囲に剥片・チップが分布する。微細なチップを除くと、剥片・チップが 120 点、不定形石器が 1 点で、ほとんどが同一石材（珪化凝灰岩）であるが、他の石材も少量含む。

（6）SX10 内の地割れ痕跡（図版 4-205、写真図版 27）

G9-K6 グリッド間に屈曲しながら 14m に渡って延びる。上幅は最大 80cm、深さは最大 50cm 以上で下端は地山に達する。南端部では堆積土中に小礫が多く含まれていた。多くの場合 5 層以下で検出された。SX10 では地割れ堆積土と包含層堆積土との違いがわかりにくく、断面観察によっても、2 層より下層、5 層を切りこんでいることは確認できたが 3・4 層との前後関係は明確にできなかった。5 層より新しく 2 層より古いと捉えておく。

出土土器 7 点を掲載した。貼付文に刻目や刺突が加えられる土器（図版 4-264-19 ~ 24）等が見られる。また、石匙（図版 4-288-4）は、つまみ部に対して先端部が横方向のものである。

（7）SX10 出土土器（図版 4-209 ~ 4-264、写真図版 129 ~ 150）

〔表土・検出〕（図版 4-244）

検討対象土器は 126 点で、表土 3 点、検出 4 点を掲載した。加飾のない貼付文（図版 4-244-4）、刻目を加えられた貼付文（図版 4-244-5）、沈線文（図版 4-244-2）、半截竹管の沈線文（図版 2-244-1）などの土器が出土している。

〔1 層〕（図版 4-209、図版 4-244 ~ 4-245、写真図版 129）

検討対象土器は 822 点で、20 点を掲載した。様々な土器が出土しており、図版 4-244-8 は、隆線文と沈線文による楕円形等の区画が縦に接する。図版 4-244-10 は、鋸歯状の貼付文が施される。図版 4-209-1 は、半截竹管の刺突が加えられた貼付文が頸部にめぐり、口縁部には半截竹管による縦位、斜位沈線文が展開する。図版 4-209-2 は、口唇部が軽く内屈する波状口縁の深鉢で、波頂部の刺突

を加えられた貼付文を中心に、刺突列が連携して文様が構成される。図版 4-209-3 は、木目状撚糸文が横方向に回転施文される。

〔2 層〕(図版 4-209、図版 4-245、写真図版 129)

検討対象土器は 463 点で、8 点を掲載した。図版 4-245-5 は細い鋸歯状の貼付文、図版 4-245-6、7 は幅広い貼付文が施される。図版 4-209-4 は、口唇部に波状の貼付文、口縁部に幅広い粘土帯が貼付され、その上に刺突が加えられて梯子状に似た状態になる。図版 4-209-5 は、梯子状、蕨手状等の貼付文が施される。他に半截竹管の沈線文(図版 4-209-6)等も見られる。

〔3 層〕(図版 4-210 ~ 4-214、図版 4-245 ~ 4-248、写真図版 130 ~ 133)

検討対象土器は 1443 点で、72 点を掲載した。

器種は深鉢が主体で、少量の浅鉢が伴う(図版 4-214-5、6)。

深鉢の器形は、体部から直線的に外傾するもの(図版 4-213-3 等)、体部が直線的に外傾し、口縁部が軽く外反するもの(図版 4-210-8)、体部が膨らみ、頸部でくびれ、口縁部が外反するもの(図版 4-211-1・2 等)などが見られる。浅鉢は、体部から口縁部が内彎しながら強く聞く器形が確認される(図版 4-214-5)。口縁部形態は、平縁がほとんどで、波状口縁が少量ある。底部は基本的に平底で、軽く上底となるものがある。

文様は、粘土紐貼付文と沈線文を主とする。

粘土紐貼付文は、刻目等の加飾のあるものがほとんどで、沈線文や刺突文と組み合わせて用いられるものも多い。口縁部を中心にして展開し、口縁部に横線等の横位文様がめぐるものは、貼付文のみの場合(図版 4-213-2、3 等)と、刺突文や盲孔等が平行する場合(図版 4-213-1 等)がある、口縁部から体部にかけて縱位文様が展開するもの(図版 4-211-1・2)は、半截竹管の横位沈線文に刺突を加える文様が伴う。横位と縱位の貼付文が施されるものもある(図版 4-212-3)。加飾のない貼付文を主とする土器も出土している(図版 4-210-1 等)。

沈線文は、棒状工具で 1 条ずつ引かれるものと、半截竹管による 2 条 1 組のものがある。1 条単位の沈線文は、口縁部に縱線が施されるもの(図版 4-210-4・5)が見られる。なお、この土器は、SI46 で同一個体破片が出土し、口縁部に刻目のある貼付文が施される。半截竹管の沈線文は、横線(図版 4-210-8)、横線と縱位文様(図版 4-210-2、3)、縱位山形文(図版 4-212-1)等が見られ、沈線文と押引文を併用した文様が口縁部に展開するもの(図版 4-210-6・7)もある。

浅鉢には、半截竹管による横位押引文(図版 4-214-5)、半截竹管による横位沈線文(図版 4-214-6)が確認される。

縄文は、ほとんどの土器に施され、斜行縄文、斜行縄文に結節が伴うもの(図版 4-210-3 等)、網目状撚糸文(図版 4-210-2 等)、S 字状連鎖撚糸文(図版 4-212-4 等)などがあり、斜行縄文、結節を伴う斜行縄文、網目状撚糸文が多い。体部を中心に施文され、口縁部には施されない場合がある。縄文だけで、他の文様を持たない土器は少ない。

胎土に纖維を含む土器と含まない土器がある。含む場合も少量である。

[4 層] (図版 4-214、図版 4-248、写真図版 133)

検討対象土器は 95 点で、3 点を掲載した。図版 4-214-7 は、口縁部が緩やかに外反する深鉢で、刻目を加えられた横線と縦位に連携する貼付文が施される。図版 4-248-2 には刻目のある貼付文、図版 4-248-3 には半截竹管の刺突文が見られる。

[5 層] (図版 4-215～4-221、図版 4-248～図版 4-252、写真図版 133～138)

検討対象土器は 3372 点で、100 点を掲載した。

器種はほとんどが深鉢で、少量の浅鉢（図版 4-220-4）が伴う。深鉢には小型土器（図版 4-220-3）がある。

深鉢の器形は、体部から口縁部にかけてほぼ直立するもの（図版 4-219-2）、体部から口縁部にかけて直線的に外傾するもの（図版 4-217-2 等）、体部が緩やかに開きながら立ち上がり、口縁部が外反するもの（図版 4-218-1 等）、体部から口縁部にかけて緩やかに内彎しながら立ち上がるもの（図版 4-220-3）などがある。口縁部は平縁が多いが、波状口縁（図版 4-216-2 等）や、平縁に突起を有するもの（図版 4-215-4）もある。底部は基本的に平底で、軽く上底になるものがある。浅鉢は、体部が丸く膨らみ、口縁部が内彎してすぼまるもの（図版 4-220-4）が見られる。

文様は、粘土紐貼付文、沈線文、刺突文が主で、それらを単独または組み合わせて文様が構成される。

粘土紐貼付文は、刻目、刺突、押圧等の様々な加飾のあるものがほとんどである。貼付文の横位文様が基調となるものが多く、貼付文の横線のみのもの（図版 4-216-6 等）、貼付文の横線に刻目文、刺突文、盲孔等の他の要素が組み合わせて用いられるもの（図版 4-215-6、4-216-1～5 等）、貼付文の横線に縦線、弧線、渦巻状等が連携あるいは垂下するもの（図版 4-215-1～5 等）等がある。他に、向かい合う弧線と小さな円形の貼付文を配するもの（図版 4-218-1）、縦位あるいは環状等の貼付文に横位沈線文、横位刺突文等が伴うもの（図版 4-217-2～4）もある。

沈線文は、棒状工具で 1 条ずつ施されるもの（図版 4-217-5、6、4-219-3）と、半截竹管で 2 条平行して施されるもの（図版 4-219-1、2）がある。口縁部を中心に展開し、横線、環状、山形等の意匠が組み合わされ、刺突を伴う場合もある。沈線文が体部全体に広がるものもある（図版 4-219-3）。

刺突文は、1～3 列の横列をなして口縁部にめぐるもの（図版 4-219-5、6 等）が多く、波状口縁の波頂下を中心に縦位にも展開するもの（図版 4-220-1）も見られる。

小型土器（図版 4-220-3）は、縄文が施されず、口縁部に刺突文がめぐる。浅鉢には、半截竹管の沈線に刺突を加えた文様が施される（図版 4-220-4）。

縄文は、ほとんどの土器に施される。斜行縄文、斜行縄文に結節が伴うもの（図版 4-218-1 等）、S 字状連鎖燃糸文（図版 4-216-6 等）が多い。他に斜行縄文に附加条を伴うもの（図版 4-221-1）もある。体部を中心に施され、口縁部には施されない、もしくはやや施文が浅くなる場合がある。縄文だけで、他の文様を持たない土器（図版 4-221-1）は少ない。

多くの土器は、胎土に纖維を含む。ただし量はあまり多くない。

[6 層] (図版 4-222 ~ 4-224、図版 4-252 ~ 4-254、写真図版 138 ~ 140)

検討対象土器は 740 点で、28 点を掲載した。

器種は深鉢が確認される。深鉢の器形は、体部が緩やかに開きながら立ち上がり、口縁部が外反するもの（図版 4-222-1 等）、口縁部が緩やかに内彎するもの（図版 4-224-4 等）などがある。口縁部は平縁が多いが、波状口縁（図版 4-224-5 等）もある。

文様は、粘土紐貼付文、沈線文、刺突文等が見られる。

粘土紐貼付文は、刻目、刺突、押圧等の様々な加飾のあるものがほとんどである。貼付文の横線に沈線文、刻目文、刺突文等の他の要素が平行して施文されるもの（図版 4-222-1、4-223-1 ~ 3 等）、環状の貼付文に刺突列が伴うもの（図版 4-224-1・3）等がある。

沈線文は、棒状工具で 1 条ずつ施されるもの（図版 4-223-5）と、半截竹管で 2 条平行して施されるもの（図版 4-223-6）、櫛歯状工具による複数条平行のもの（図版 4-224-5）がある。口縁部から体部上半に施され、刺突文（図版 4-223-5）、半截竹管の押引文と盲孔（図版 4-224-5）が伴うものもある。

刺突文は、1 ~ 4 列の横列をなして口縁部にめぐるもの（図版 4-224-1・3 等）がある。

縄文は、ほとんどの土器に施される。斜行縄文、斜行縄文に結節が伴うもの（図版 4-223-1 等）、S 字状連鎖撚糸文（図版 4-222-1 等）が多い。体部を中心に施文され、口縁部には施されない、もしくはやや施文が浅くなる場合がある。縄文だけで、他の文様を持たない土器は少ない。

ほぼすべての土器は、胎土に纖維を含む。ただし量はあまり多くない。

[7 層] (図版 4-225 ~ 4-233、図版 4-255 ~ 図版 4-256、写真図版 140 ~ 144)

検討対象土器は 826 点で、31 点を掲載した。遺物集中の SX42、SX48、燒土層の SX44 を含む。

器種は深鉢を主体とし、少量の鉢（図版 4-230-2、4-233-3）を伴う。

深鉢の器形は、体部が緩やかに開きながら立ち上がり、くびれて口縁部が外反するもの（図版 4-225-3 等）、体部が膨らみ、くびれて口縁部が外反するもの（図版 4-233-1 等）体部が緩やかに開きながら立ち上がり、口縁部が内彎するもの（図版 4-232-2）、体部が緩やかに開きながら立ち上がり、くびれて口縁部が内彎して聞くもの（図版 4-226-1 等）、体部が膨らみ、くびれて口縁部が内彎するもの（図版 4-226-2 等）などが見られる。鉢は、体部から口縁部にかけて外傾するもの（図版 4-230-2）と、体部中位でくびれ、口縁部にかけて直立するもの（図版 4-233-3）が認められる。口縁部は平縁と波状口縁があり、小さな突起や凹みを伴うものも見られる。底部形態は、平底（図版 4-227-3 等）、上底（図版 4-230-2）がある。

文様は、円形竹管の刺突文（図版 4-225-2）等が見られるが少なく、回転施文の縄文のみの土器が多い。なお、別の遺物包含層 SX1 の 7 層出土として図版 4-66-4・5 に掲載した個体のうち、4(No.1466) の破片は、この SX10 7 層から出土した同一個体破片で、刺突列による菱形や渦巻状の意匠が見られる。

縄文は、斜行縄文（図版 4-233-1 等）、非結束羽状縄文（図版 4-227-1 等）、末端ループ文（図版 4-225-3 等）が主で、他に結節縄文（図版 4-225-1）等がある。末端ループ文は、ループの部分

だけを重層施文するものがほとんどで、無文部を残して方向を変えて施文する装飾的なもの（図版4-225-2、4-227-2）もある。縄文は底面にも施文される（図版4-233-1等）。

これらの全ての土器の胎土に纖維が含まれる。

[8層]（図版4-234～4-236、図版4-256～4-257、写真図版144～145）

検討対象土器は2022点で、26点を掲載した。8層上部、8層として取り上げられたものがある。器種は深鉢が確認され、図版4-234-1は、刻目を加えられた貼付文が口縁部にめぐり、さらに刻目の横列が平行して施文される。図版4-234-3・4は、刻目を加えられた2条の横位貼付文（上下で連携する部分がある）に沈線文が伴う。図版4-236-5は、口縁部に刺突列がめぐる。図版4-236-1は末端ループ文と非結束羽状縄文、図版4-236-7は結節縄文と非結束羽状縄文が施される。図版4-236-2は撚糸圧痕文が施される。

[9層]（図版4-236、図版4-257、写真図版145）

検討対象土器は163点で、4点を掲載した。図版4-236-8は、口唇部に押圧が加えられて小波状となり、外側に非結束羽状縄文、内側に斜行縄文が施される深鉢である。

[その他]（図版4-237～4-243、図版4-257～4-264、写真図版145～150）

上記以外に、SX10出土で出土層を詳細に捉えられない土器を補足資料として130点掲載した。1～7層、1～9層、2～7層上面、2～7層、2～9層、3～7層、3～9層、4・5層、5・7層、5～8層、6層？、8～9層、カクラン層、層不明の土器がある。

図版4-237-1・2は、口縁部が強く内屈する土器で、横位沈線文が施される。図版4-237-3は、細い粘土紐貼付文が施される。図版4-237-5は、曲線的な粘土紐貼付文が連携して単位文をなし、周間に横位沈線文、刺突列が展開する。図版4-240-4は、半截竹管の沈線および沈線に刺突を加えた文様が施される。図版4-242-2、3は、加飾のある横位貼付文と半截竹管の押引文が施される。図版4-242-4は、口縁部の縱位・弧状貼付文の末端および貼付文の周間に円形の刺突が加えられ、体部にかけて葺瓦状燃糸文が施される。

(8) SX10出土土製品（図版4-265、写真図版150）

土製品と見られる8点をすべて掲載した。土偶と見られるもの、袖珍土器の可能性のあるもの、円盤状土製品がある。図版4-265-1～3は、土偶もしくはその可能性のある破片である。図版4-265-1、3は、沈線の区画内に刺突が加えられる。図版4-265-2は、沈線が施される。図版4-265-7は、袖珍土器の可能性がある。丸底で、上部に刺突文が加えられる。全体的に指頭圧痕の凹凸で不整な形状となる。図版4-265-4～6、8は土器片を加工した円盤状土製品で、図版4-265-4、8は最大長が10cmを超える大型品である。他に、焼土塊（焼成粘土塊）が遺物収納箱で少なくとも約1箱分出土している。

(9) SX10 出土石器・石製品

SX10 では、石器・石製品が 16,575 点出土している。器種別の点数は、石鎌 188 点、尖頭器 41 点、石錐 20 点、石匙 58 点、鎧状石器 10 点、打製石斧 24 点、礫器 13 点、磨製石斧 25 点、板状石器 4 点、楔形石器 59 点、不定形石器 317 点、磨石・敲石類 631 点、砥石 26 点、石皿・台石類 149 点、その他の礫石器 3 点、剥片 14,509 点、石核 375 点、円盤状石製品 20 点、石錘 10 点、玦状耳飾 7 点、扁平円形状石製品 7 点、有孔石製品 3 点、男根状石製品 1 点、石棒・石劍類 50 点、岩偶・線刻礫 15 点、石器模造品 3 点、その他の石製品 7 点である。

〔表土・検出〕(図版 4-266 ~ 4-268、写真図版 190 ~ 191)

表土・検出では 135 点出土し、石鎌 7 点、石錐 1 点、石匙 2 点、鎧状石器 1 点、楔形石器 1 点、不定形石器 8 点、磨石・敲石類 32 点、砥石 2 点、石皿・台石類 8 点、その他の礫石器 1 点、剥片 53 点、石核 9 点、石棒・石劍類 9 点、線刻礫 1 点である。

石鎌は、基部の形態が凹基のもの(図版 4-266-1)と平基のもの(図版 4-266-2)である。石匙は、つまみ部に対して先端部が縦型になっているものと斜方向に長いもの(図版 4-266-3)がみられる。図版 4-266-4 の鎧状石器は、左右対称で両側辺が内湾するように開き、全体の形状が撥形を呈するものである。不定形石器は、剥片の縁辺の一部に二次加工を施すものが主体を占めるが、鋸歯状の二次加工を施すもの(図版 4-266-5)や二次加工により尖頭部を作り出しているもの(図版 4-266-6)などもみられる。磨石・敲石類は、円礫・楕円礫を素材とし、磨面や敲打痕、凹痕、剥落痕がみられるものが主体を占め、図版 4-266-7 は磨面と剥落痕を有するものである。図版 4-267-1 のその他の礫石器は、棒状の自然礫を素材とし、平面形が二等辺三角形状を呈するものである。表面の風化は激しい。図版 4-268-1 の石棒・石劍は、ほぼ全面研磨により成形されているもので、断面が扁平で刃先と柄頭の区別が明瞭ではないものである。図版 4-268-2 の石棒・石劍は、同じくほぼ全面研磨により成形されているもので、断面形は楕円形で瘤状の突起をもつものである。石棒・石劍類では、それ以外には剥離により角棒状にしたもので断面形が扁平のものもみられる。

〔1 層〕(図版 4-268 ~ 4-269、写真図版 191)

1 層からは 202 点出土し、石鎌 3 点、尖頭器 2 点、石匙 1 点、鎧状石器 1 点、打製石斧 1 点、磨製石斧 2 点、楔形石器 2 点、不定形石器 17 点、磨石・敲石類 56 点、石皿・台石類 7 点、剥片 87 点、石核 13 点、石錘 1 点、石棒・石劍類 8 点、線刻礫 1 点である。

尖頭器は、基部を半円形に調整しているもの(図版 4-268-3)である。図版 4-268-4 の石匙は、つまみ部に対して先端部が縦型になっているものである。図版 4-269-2 の鎧状石器は、刃部の加工が明確ではない未成品である。図版 4-269-1 の楔形石器は、対になる 2 辺 1 組に両極剥離痕が観察されるものである。図版 4-269-3 の線刻礫は、小楕円礫の表面に二条の沈線が描かれており、側面にも縦位と横位の組み合わせによる十字状の文様が描かれているものである。ただし、側面と表面では沈線の幅が異なっている。

〔2 層〕(図版 4-269 ~ 273、写真図版 192 ~ 194)

2 層からは 1729 点出土し、石鎌 42 点、尖頭器 6 点、石錐 5 点、石匙 12 点、鎧状石器 2 点、打